



その他の関係様式

行政視察結果報告書

行政視察結果報告書

令和6年6月19日

高島市議会議長
廣本 昌久 様

会派名 真志会
会派代表者名 磯部 亜希
(高島市議会議員)

行政視察の結果について(報告)

行政視察の結果について下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和6年5月20～22日
- 2 視 察 先 秋田県由利本荘市 秋田県湯沢市
- 3 視察目的 公共施設再編計画の進め方、進捗等を研修し、高島市の公共施設再編計画の推進につなげるため
- 4 調査内容 別紙参照
- 5 参 加 者 磯部 亜希 澤本 長俊

令和6年度 真志会 視察調査内容

1. 秋田県由利本荘市 令和6年5月20日 公共施設等総合管理計画について



由利本荘市総務部行財政改革推進監 [redacted] 様

由利本荘市総務部行政改革推進課 課長 [redacted]

[redacted] 様

由利本荘市総務部行政改革推進課参事兼課長補佐兼
行政改革班長 [redacted] 様

由利本荘市総務部行政改革推進課行政改革推進班主
査 [redacted] 様

由利本荘市議会議長 [redacted] 様

(1) 由利本荘市について

由利本荘市は、秋田県の南部に位置し、日本海に面しており、秋田県と山形県の県境にある鳥海山を望むことができます。面積は1,210km²と県内最大の広さがあり、平成17年に1市7町が合併して誕生しました。人口は令和6年3月時点で7万1,285人、高齢化率39.1%となっています。

高島市より面積が広く、人口も多い自治体ですが、同じ年に合併が行われ、合併前の旧市町にあった公共施設の管理や、20年以上の建物が多く、その老朽化への対策等、共通する課題が多いと考え、視察をさせていただきました。

(2) 公共施設等総合管理計画について

平成27年度末の時点で約2,100施設あり、平成29年3月に公共施設等総合管理計画が策定され、20年間4期の計画で、令和8年度に2期の最終年度を迎えます。4期で面積の37%縮減を目指しており、現在12.1%の減となっています。

この計画の進め方として、注目した点は、公共施設の譲渡・廃止・解体の方針をホームページ上で公表が行われ、議会を含めて早い段階での周知により理解が得られているということでした。さらに

鳥海山を望む風景

秋田県

由利本荘





これまでに市長自ら、様々な地域へ出向き、パワーポイントを用いながら行財政改革の必要性について説明をされ、今年は特に力を入れられているところです。また、総合支所（高島市で言うところの支所）が果たす役割も大きいと感じました。住民と直接関わる事が多く、地元の方のことをよく理解している総合支所から、整理すべき

公共施設についての情報提供がなされ、本庁の職員と総合支所の職員が一緒になって、地元の意向の確認や説明会に取り組まれているようでした。調整が必要である事柄等も、総合支所からあがってくる内容をかなり参考にされているようで、進まないことがあれば、何が課題かの確認が行われます。

目標通りにならないこともあるが、財政面や、職員数、人口などの現在と将来の数字を示すと共に、住民サービスが保てなくなる、利便性を維持できなくなるなども含めて、10年後、この自治体がどうなるのかを市民と共有することが重要だということでした。

学校施設については、各地域1中学校1小学校の方針が進められており、文化施設については、クラウドファンディング等での文化財修理・修復が模索されているところです。

（3）鳥海山木のおもちゃ美術館

公共施設の1つを現地視察したいと考えていたため、由利本荘市の方に教えていただき、鳥海山木のおもちゃ美術館を視察しました。この施設は旧鮎川小学校を活用されており、カフェや木のおもちゃに触れられる場となっています。施設内には大型の木製遊具もあり、雨の日でも子どもたちが遊べる場となっています。

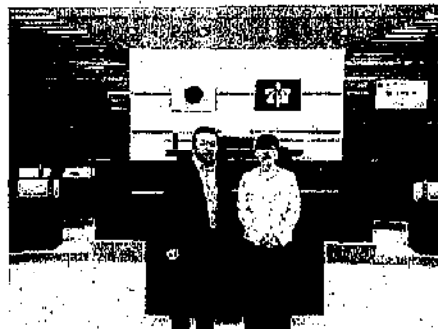


（4）考察

公共施設の整理を進めていくにあたり、市長が率先して市民の理解を深めておられることや、総合支所自体が担っている役割の大きさを感しました。そして本庁と総合支所との連携がかなり取られている印象を受けました。

住民との調整が丁寧に行われており、住民の認識の形成がなされていく過程を築き上げられており、このような全庁的な取り組みが必須だと考えます。

さらに、行財政や住民サービスの低下等、住民に危機感を抱かせることはなかなか避けたいと考えられるところですが、このままだと将来のビジョンとしてそういったことも起こり得るのだと、みなさんに理解していただく必要性についても考えさせられました。高島市においても、このままだとこんな将来像になるけれど、この計画を進めていけばこういう風になる、というビジョンを多くの市民の方々と共有していくことが、これからの公共施設再編計画を進める上で鍵をにぎっているのではないかと考えます。



2. 秋田県湯沢市 令和6年5月21日 公共施設再編計画について

湯沢市総務部企画課 課長 [redacted] 様
湯沢市総務部企画課企画政策班 班長 [redacted] 様
湯沢市総務部企画課企画政策班 主任 [redacted] 様
湯沢市総務部財政課管財班 班長 [redacted]
湯沢市教育部教育総務課総務班 班長 [redacted] 様



(1) 湯沢市について

湯沢市は由利本荘市の南東部に位置します。面積は約791km²、人口40,364人（令和6年2月時点）でと高島市に似た状況と言えます。また平成17年に1市2町1村の合併で発足しました。稲庭うどんで知られ、小野小町の生誕地、生涯を閉じた地という伝説が残っている地です。一般会計予算規模も高島市に近く、どのように公共施設の再編が進められているのかを調査することで、高島市での進め方のヒントがあると考え、視察しました。

(2) 公共施設再編計画について

湯沢市では、平成28年からの湯沢市公共施設等総合管理計画、令和2年から

湯沢市公共施設 再編計画について

令和6年5月21日

企画課企画政策班

の湯沢市公共施設再編計画に加え、個別の建物の保全・保存、改修の優先度や概算額が示された湯沢市公共施設保全計画が策定されています。

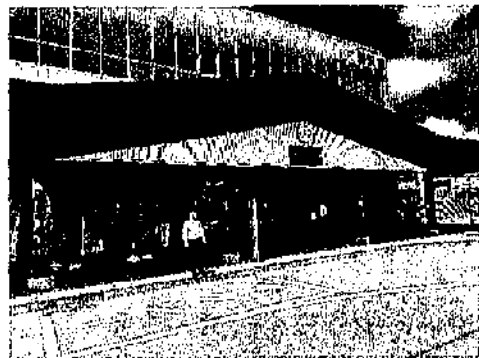
人口減少が進むことに加え、築30年以上の公共施設が全体の半数であり、改修や建替えを迎える時期が重なることや、多くの施設で利用率が3割を下回るなど

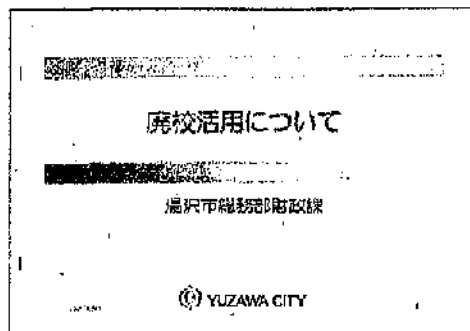
の課題があげられます。そのような状況の中、再編計画については、市民アンケートや市民討論会、意見交換会に出前講座など様々な機会を設けた上で市民の意見を反映させて策定されました。

計画においては、エリア別に再編方針が示されており、優先的に再編を進めるエリアが設定されています。総合支所に生涯学習センター機能や診療所機能を併せるなど、施設の複合化が進められているところです。現在は湯沢駅周辺での複合公共施設の建設に向けて事業が進められています。そこでは子育て支援や図書館、歴史資料展示、市民活動支援、立体駐車場、生涯学習と多くの機能が集約される予定です。DBO方式による民間提案で20年の指定管理により、民間経営力を発揮し、「利用できる」から「利用したい」と思ってもらえる施設を目指されています。さらに、集約の観点から規模の抑制や維持管理費の削減と財政負担の削減にもつながると考えられています。

計画を進めるにあたり、湯沢市では、財政的側面からの削減目標を定めるのではなく、サービス（機能）と施設の性能に着目した評価から判断していくことが重要視されています。ニーズの低い施設においては、議会や市民の方の理解が得られないケースは少ないとのこと。ただ、団体の法人化（認可地縁団体の設立等）や費用負担が課題となる施設の譲渡に関しては未了となっている施設も存在します。

学校施設においては、1小1中を基本とし、複式学級が解消される適正な学校規模を進める方針が示されています。これは検





討委員会が設置され、その答申から策定された学校再編計画の内容です。小学校や中学校の統合については、スムーズに進むケース、調整が必要なケースと様々で、情報の出し方についても配慮が必要な状況が窺えました。

空間を使いきるということで、用途廃止施設の再利用についても検討がなされており、廃校舎を、NPO 法人が福祉施設として利活用

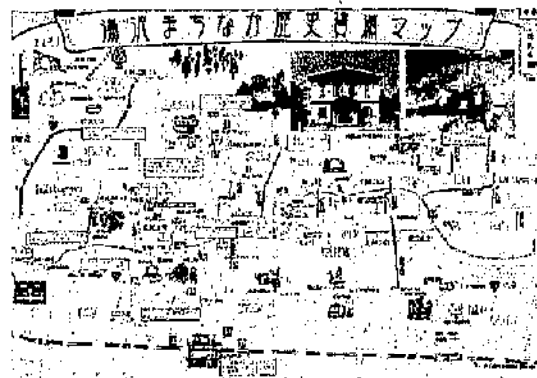
されていたり、減額貸付として電子機器製造業で活用されていたりする事例についてもお聞きしました。

この背景には、遊休公共施設等利活用促進条例が定められていることもあり、財産評価額の10分の1を下限として減額譲渡、また減額貸付及び無償譲渡という奨励措置がなされています。また増築及び改修助成金(上限5,000万で2分の1)や固定資産税を最長3年間全額免除なども行われています。減額貸付については10年経過後に無償譲渡とされており、譲渡を望まない方においては課題もあるようでした。

(3) 現地視察

今回聞かせていただいた湯沢駅周辺複合施設の建設予定地と、道の駅おがち小町の郷で現地視察を行いました。

湯沢駅周辺には、歴史的建造物や飲食店等があり、立地の整った建設予定地だと感じました。新たな施設建設によって市民の方が集まれる憩いの場となるこ



とを願います。

また道の駅では、地元の土産物が豊富に取り揃えられていました。小野小町にちなんだ物もありました。指定管理で運営されており、湯沢市を知ってもらえるきっかけとなっていることだと思います。

(4) 考察

公共施設を再編していくには、高島市が抱える課題と共通しているものがあると感じました。特に現状がよく似ていたのでもう少しかと思えます。市民の方の思いやご意見を尊重しながらも、市を持続してい



くためには必要に迫られる選択もあるため、話し合いを行い、行政と市民の方が共に理解を深め合うしかないようにも感じました。なされている施策については高島市と重なるものも多く、これほど離れた地でも、できることをできる限り行くと、たどりつく着地点は近いものなのかもしれません。

高島市では公共施設再編計画を進めていくにあたり、今後さらに厳しさが増していくこと予想されます。私たちも一緒になって知恵を絞っていきたいと考えます。





その他の関係様式

行政視察結果報告書

行政視察結果報告書

令和6年8月21日

高島市議会議長
廣本 昌久 様

会派名 真志会
会派代表者名 磯部 亜希

行政視察の結果について（報告）

行政視察の結果について下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和6年7月18～19日
- 2 視 察 先 東京都千代田区永田町 参議院議員会館
東京都豊島区
- 3 視察目的
 - ・地域公共交通の維持・発展について
 - ・鉄道の安全対策（自然災害・特に風）
 - ・子どもと女性にやさしいまちづくり他、消滅可能性都市の脱却となった地域の行政施策について
- 4 調査内容 別紙参照
- 5 参 加 者 磯部 亜希 澤本 長俊

令和 6 年度 真志会視察

日程	令和 6 年 7 月 1 8 日（木）～ 7 月 1 9 日（金）
行き先	東京都 参議院議員会館、豊島区

日程

7 月 1 8 日（木）			
敦賀駅	AM 8 : 1 5	見識を高めるため北陸新幹線を利用 （京都周りとの比較では費用がこちらの方が低額）	
東京駅	AM 1 1 : 3 6	昼食	
永田町	PM 1 : 0 0		
参議院議員会館着	PM 1 : 1 5		
研修	PM 1 : 3 0	約 1 5 0 分	
参議院議員会館発	PM 4 : 1 5		
	移動時間約 3 0 分		
ホテル着	PM 5 : 0 0	アパホテル（東京板橋駅前）	
夕食	PM 6 : 0 0		

7月19日(金)			
ホテル発	AM9:00	アパホテル(東京板橋駅前)	
	移動時間約25分		
豊島区役所着	PM9:30		
研修	AM10:00	約90分	
豊島区役所発	PM12:00		
	移動時間約30分		
東京駅着	PM12:30	昼食	
東京駅発	PM2:33	ひかり	
米原発	PM4:56	しらさぎ	
敦賀駅着	PM5:26着		

7月18日(木) 13:30～ 参議院議員
会館

1. 地域公共交通の維持・発展について(地
域の公共交通リ・デザイン実現会議について)
国土交通省総合政策局 モビリティサービス
推進課 主査 XXXXXXXXXX 様



(1) 現在の主たる状況

- ・人口減少、免許返納増加傾向
 - ・コロナ後、バス・鉄道がまだ回復しきれていない
 - ・リーマンショック以降の人手不足
 - ・賃金水準低いことからの労働力(ドライバー)確保の困難
- リ・デザイン実現会議での議論へ

(2) リ・デザイン実現会議とは

総理大臣の指示で設置され、地域の交通の活性化と社会的課題解決を一体的に推進するため、関係省庁の連携の下、デジタルを活用しつつ、地域の公共交通のリ・デザインの促進を目的としている。注目すべきは、12府省庁の局長クラスで構成されている政府が行う会議体の中でも珍しい形態であり、各分野にわたって交通に取り組む姿勢が表れている。また、デジタル行財政改革会議、デジタル田園都市国家構想実現会議の下におかれている。

(3) リ・デザイン実現会議のとりまとめ案の概要

交通の分野だけでは立ち行かなくなっている現実から、令和5年に地域交通法において、介護や福祉、教育等、他分野において、自治体・公共交通事業者・地域の多様な主体とともに維持・確保を目指していくと改正された。

しかし、一律の解決は難しく、4類型に分類され、A: 交通空白地など、B: 地方中心都市など、C: 大都市など、D: 地域間と分類した上で行われる。高島市の場合は、B地方中心都市に該当するが、この分類は複数にまたがる場合もあり、自家用有償旅客運送制度は、AとB、地域の自家用車・ドライバーを活用した新制度は、BとCということになる。

教育や福祉のデータも活用し、地域みんなで一致団結して解決していくこと

を目標としているが、例えば、スクールバスの空き時間活用について、国からの補助金の目的外利用にあたらなかなど、戸惑う点が多く存在することから、指針をまとめ、わかりやすく伝え、自治体の意識醸成へとつなげていく。そのために、自治体に向けて、先進好事例を、自治体の人口や財政力などの定量的な指標、関連支援制度等とともにカタログにまとめて参考にしてもらうとともに、各分野の指針や通知の策定が行われ、取組みの実装へという流れである。地域交通法に基づく法定協議会には、教育や学校関係者など多様な関係者に参加していただき、多くの分野との連携が想定されており、場合によっては、自治体をまたいだ県によるサポートも重要という考えもある。定期的に進捗状況のフォローアップも予定されている。

(4) 先進事例

・岡山県笠岡市…地域運営組織（RMO）による自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）の実施。RMOに認定されたNPO法人が運行主体となり、ドアツードアや予約制タクシー等が行われている。地方財政措置により優遇することで国が協働で運行費用を支え、行財政負担を軽減している。

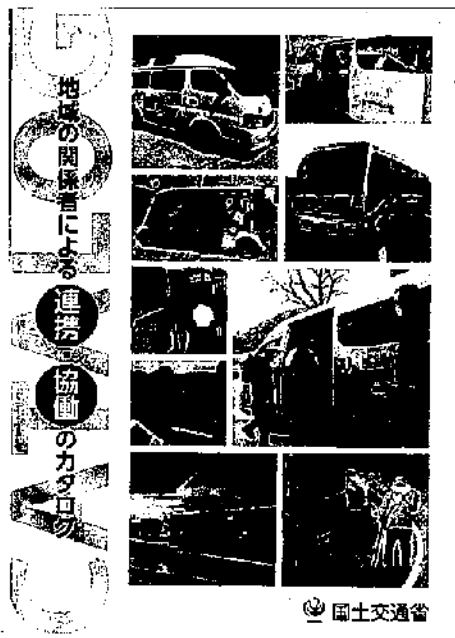
・群馬県前橋市…デイサービスを行っている介護事業では、送迎の人的負担が大きく、多くの時間がさかれている。送迎は介護の資格がなくてもできるため、タクシー事業者による複数のデイサービス事業所の共同送迎を実施。

これは介護保険制度における送迎減算の対象外となる。また、タクシー事業者は定量的な業務の確保が可能となる。

・茨城県常陸太田市…運行ルート、運行時間が重複する、路線バス、コミュニティバス、通院バス、スクールバスを路線バスに統合し、運賃体系を対距離料金で統一化して運用。学生は全額助成、75歳以上は半額助成を適用。

(5) 今後について

先進事例で行われている方法や予算等のデータを共有し、国の補助がどうなるかなどをわかりやすく示していくことを目指す。そして、縦割りとなっていて、他の課が何をしているのかわからないというのではなく、連携することを



推進していくのと同時に、自家用有償旅客運送への多様な関係者の参画がなされていくように、各分野への指針や通達が策定される。

交付税措置等、詳細にまとめた今日については8月中には整えたいとされている。

(6) その他

・スクールバス…路線バスがあれば基本的には活用することとされているが、スクールバスについては、空き時間の活用として一般で使うことや、混乗できるようにすることも可能。文科省僻地補助金や購入費補助の対象にもなりえる。委託にすると対象外となってしまうが、運行等全て含めた委託であれば補助対象となるなど、様々な留意点がある。

・自家用車…人件費をとらず、燃料費だけではボランティアで行うことに限界がある。さらに現役世代の運転手の人材確保も難しい。RMOとされるNPOも運送主体となれるので、例えば農閑期にドライバーとなってもらうことも可能である。地元の方がどう貢献できるかの検討を行ってきた。法改正を行わなくても、2種免許が不要で、農協、旅館や介護の事業者等、誰でも普通免許があれば地域の足の担い手になれる。

2. 鉄道の安全対策（自然災害・特に風）について

国土交通省鉄道局 安全管理官室 事故対策官 [] 様
施設課 鉄道防災対策室 専門官 [] 様
技術企画課 運転基準係長 [] 様

(1) 高島市の現状についての説明とその対応



・台風など予測できる運休については安全上、やむを得ないことではあるが、AI予測による計画運休が行われるようになってから、運休の頻度が増加した。特に午後からの運休がかなりあり、通勤・通学の方の帰宅が困難となる。防風柵ができてから風速毎秒25mから30mへと改善し、運転見合わせ時

間がおおよそ3分の1以下になると見込まれていたが、その後、安全基準が厳しくなったのか、強風の回数が増加したのか、運休の回数が多い。A1の予測的中率の分析が行われているのかもわからない。

⇒国土交通省からは自然障がい基準についておおまかなものを出しているにとどまり、風の強さがどれだけで運休とするか等は事業者の判断になる。

・湖西線の運休が今のように多数回行われると、ますます人口流出が加速し、人口減少が進んでしまう。地域振興に与える影響も大きい。風自体もどこで計測されているのか不明である。問い合わせをしても国交省からの通達によりと言われてしまう。

⇒風のため横転したこともあり、安全が第一のため、通知を緩和することはいかない。また、事業者の判断によるものなので、指導も難しい。ただ、朝に動いていたものが午後からは運休という点についてはこちらからも何らかの形で伝えることができると考える。

・以前は風が弱まるまで停めておき、その後、風がおさまると動かす対応がなされ、時間がかかっても進むことができたが、今は一切止められてしまう。高島市では市外に通じる代替の交通手段が乏しく、誰かに迎えに来てもらわなければならない。就職にも影響を与える。代替輸送を考えてもらいたいと求めても、月単位で停まる等のケースでないと難しいようだ。比良おろしを中心とする、風が特に強い地域である近江舞子駅～近江高島駅間を避けた先の北部の路線のみ走らせることや、近江舞子駅以南へ行かれる場合には、近江舞子駅周辺の事業者（JR）所有の土地を駐車場に利用させてもらうことなどを検討してほしい。

⇒伺った湖西線の状況やお考えについては、一定理解できた。事業者に伝える際、どのクラスの会議体が最善なのか、とるべき方法等を吟味した上で対応を考えたい。

・他の地域で、同じような状況にある地域はないのか。

⇒常磐線の福島県や京王線で強風の影響を受ける地域はあり、ダイヤ改正が行われた事例がある。

この課題は、高島市だけではどうにもならず、敦賀市、長浜市、大津市にまたがる問題である。京阪神から北陸新幹線へつなげるためにも大きな課題であり、県全体の経済への影響も大きい。何らかの形で考えてほしい。

3. 所感

前半では、地域の公共交通リ・デザイン実現会議について、後半では、高島市における湖西線の実情をお伝えした上での議論を行った。リ・デザイン実現会議の内容や先進事例からは、交通空白地がないとされることがネックにはなるものの、RMOの導入や、異なる多機関での連携は興味深いものだった。今後、詳細にまとめられたものが作成されるとのことなので、出来上がった際には参考にしたい。そして、後半のテーマとの関連で、代替輸送において、RMOが適用されるとも考えられる。通常は各々事業に従事されている方との協定等で、湖西線運休の際には代替輸送に関わってもらうことを模索、検討する価値があるのではないかと思った。湖西線に関しては、高島市にとって大切な公共交通の1つである。欠けては市民の生活に多大なる支障が生じる。今後も引き続き関係機関とともに事業者との対話が必要であり、互いに理解を深めていくことが重要である。行政とともに、私たちも高島市民のためにできることを引き続き考え、前向きな変化へと少しでもつながるようにできることをしていきたいと改めて思った。

7月19日（金）10:00～ 豊島区役所

豊島区 消滅可能性都市から脱却された自治体のこれまでの取り組みについて

豊島区 政策経営部 企画課長 多文化共生推進担当課長 [REDACTED] 様

子ども家庭部 子育て支援課長 [REDACTED] 様

子ども若者課長 [REDACTED] 様

子ども若者課 [REDACTED] 様



1. 女性にやさしいまちづくり

2014年に消滅可能性都市とされ、女性の声を聴こうということで、豊島100人女子会を開催し、100人を超える申込数があった。女性の意見はこれまで少なく、女性が意見を出せる場をつくるのが大切と考えての開催だった。その後、女性目線での提案を区政に反映させるため、提案の絞り込みを行い、翌年度に11事業の予算化がされた。女性にやさしいまちは、ケア

が必要な方をはじめ、みんなにやさしいまちであるという考えをもとにまちづくりが進められていった。

内容としては、コアターゲットを30～40代のファミリー世帯とし、女性の視点で公園が整備され、さらにweb、小冊子、タブロイド判など方法を多用した情報発信が行われた。



さらに企業との協定を数多く行い、例えば、図書館司書が西武デパートでお話会を行ったり、東武デパートでNPOによる段ボール廃材を利用した遊び場を作ったりと様々な事業が行われている。

また、当時の区長の思いと、公共のトイレが怖いと言って子どもがトイレを我慢してしまうという意見が重なり、トイレのリニューアルが数多く行われた。アートデザインによるもので、子どもらの図案などもある。トイレの掃除を地域の方がされる場合もあり、地域の愛着につながっているようだ。

公園についてもかなりの力が入れている。住宅街に点在する小規模の公園が多く、ボール遊び禁止等、できないことが多い公園を、できることが多い公園にしようと地域住民と取り組まれた。できることが表示された看板の設置や、祭を行うのに固定遊具が妨げになるということからモバイル遊具の導入がなされ、インクルーシブ遊具やおもちゃ倉庫が設置されている公園もある。

2. 子ども若者応援プロジェクト

“オールとしま”で支援!

としま子ども若者応援プロジェクト

子どもたちのための
ご寄附を付け付

企業や団体等も
コマモ/安泰を担い
応援しています!

SDGs推進都市としま

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

03-4566-2471

支援したい、されたいを結ぶプロジェクトである。寄附は基金として積み立て、物資や体験の提供についても区がつなぐ窓口となっている。提供の多くは区内外の企業であり、令和3年からはじめられた。令和6年3月時点で、寄付件数211件、寄付総額約7,300万円である。寄付金は、主に児童養護施設退所者等への支度金、奨学金や、ひとり親家庭への食料支援等に使われている。さらにイベント等の体験や、子ども食堂への食料の寄附等多岐にわたる。絵具を使って、制約なく遊べるイベントや、区内の

3. 消滅可能性都市脱却へ

消滅可能性都市への対応

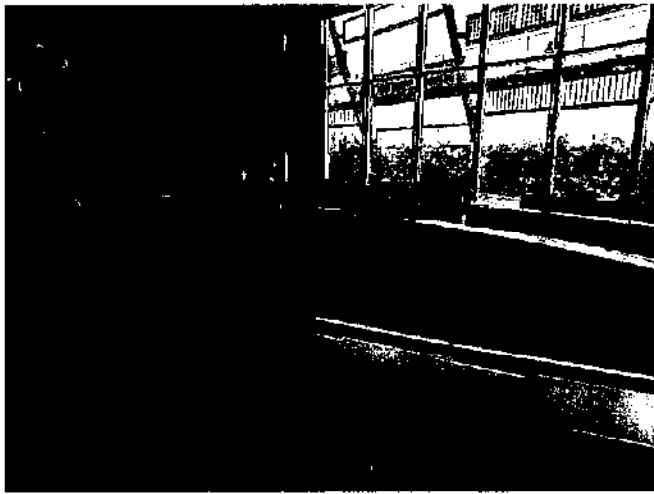
2024.7.19
* 魏 强 收

1	堺市区の人口動態	P.1
2	消滅可能性都市への対応	P.4
3	堺市区の主な取り組み	P.5

区長が女性となった後は、子どもたちからの意見を聴く、子どもレターが行われ、給食の無償化などの事業提案がなされている。さらにチーム豊島として、企業や大学と一緒に社会課題に取り組むことも進められている。

4. 所感

人口や財政規模は高島市とかなりの違いがあり、訪れた際に改めて規模感の差を感じた。そのような地域でも、理由や背景に違いはあるものの、消滅可能性都市とされたことに驚きがあった。早急に対策本部を立ち上げて取り組まれて、脱却されたのだが、区民の、特に女性の声に耳を傾け、その女性から子どもたちがどう思っているのかということから、トイレをきれいにする取り組みや、公園の整備などが行われ、区民の声が反映されてきたことがよく伝わってきた。都会でお金があるからだろうと思ってしまいが、財政難であったところ



から様々な知恵と努力で好転し、好転したらそのままではなく、文化をキーワードにまちづくりへと、必要なところに還元していくところに行行政の姿勢、区長のリーダーシップが強く感じられた。高島市も、移住定住促進や子育て支援と様々な施策に取り組んでおり、成果をあげているところに消滅可能性都市とされ、不本意ではあるが、こ

れを機会として豊島区のように警鐘と受け止め、さらなる市民のための施策の取り組みへの意欲につなげることは、考えの1つとして有効かもしれないと感じた。特に女性に絞って意見を言える場を作り、そこから事業化することは、試してみる価値があるのではないかと考える。自分がその立場でないと多様な人々が日々の生活でどう思い、何を願っているかを理解することは難しい。その立場を全て体験することも困難である。せめて実際にその人々の意見や思いを聴き、必要な事柄は実現へとつなげることがこれからのまちづくりに有効なのではないかと感じた。

地域の公共交通リ・デザイン実現会議について

PMO
小沢さん
いさか
スーパース
交通
地域
行方
通車
スーパース
表はる

指示
会 部 長 氏

令和6年7月18日

国土交通省

モビリティサービス推進課



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

地域の公共交通を取り巻く環境



国土交通省

- 我が国の人口は、2050年には全国の居住地域の約半数で50%以上減少との予測。
- 近隣の中小店舗の減少、病院の統廃合・移転、学校の統廃合等により、買い物、通院・通学など日常生活における「移動」の問題が深刻化。
- パート勤務なども含め共働き世帯比率が高まったこともあり、高齢者の通院や児童の通学・習い事などに関して、家族による送迎の負担も増大。
- 高齢ドライバーによる自動車事故に関する関心が高まり、運転免許の自主返納の動きが進展する一方、自主返納後の移動手段に対する不安の声や、自主返納をためらう声も。
- 都市圏内や地域間の交通については、インバウンドの急速な回復やライフスタイルの変化（多様な働き方やQOL重視等）を踏まえた新たな対応の必要性。

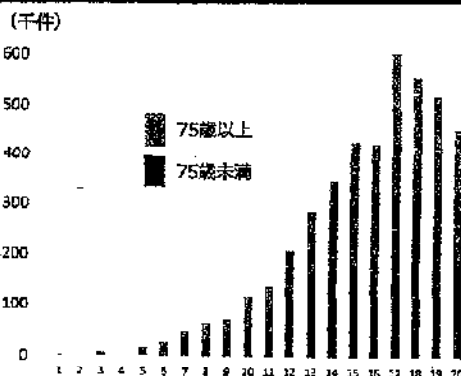
将来の人口増減状況

2050年には全国の約半数の有人メッシュで人口が50%以上減少（2015年対比）



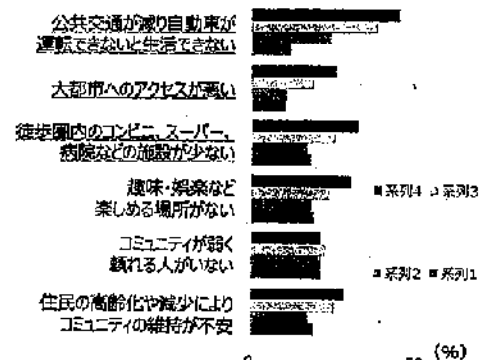
（出典）総務省「平成27年国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」等をもとに国土交通省作成。

免許返納数の推移



（出典）警察庁公開資料より、国土交通省総合政策局作成

居住地域に対する不安（地域別）



（出典）国土交通省「平成29年度国民意識調査」

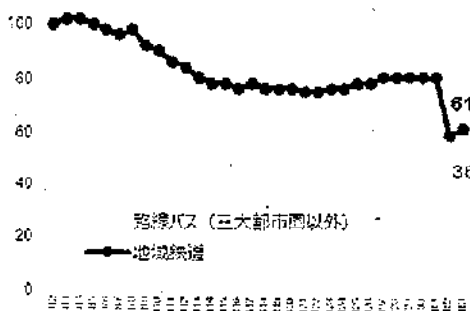
アサヒ

公共交通事業者の現状

- 長期的な利用者の減少、コロナの影響による急激な落ち込みもあり、公共交通事業者の経営環境は悪化。コロナ後も利用者数がコロナ以前の水準までには回復していない状況。
- 路線バスや地域鉄道について、多くの事業者が赤字となっており、回復の見通しが厳しいことから、今後の安定的な公共交通サービスの提供に課題。
- 自動車（バス・タクシー）の運転業務の賃金水準は低く、人手不足が深刻化（有効求人倍率は全職業平均の2倍程度の水準で推移）。人手不足を要因とする路線バスの休廃止などの動きが拡大していくおそれ。
- 交通分野において、多くの事業者でキャッシュレス決済対応や運行管理、車両・設備管理、労務管理等について、DXの取組に遅れ。

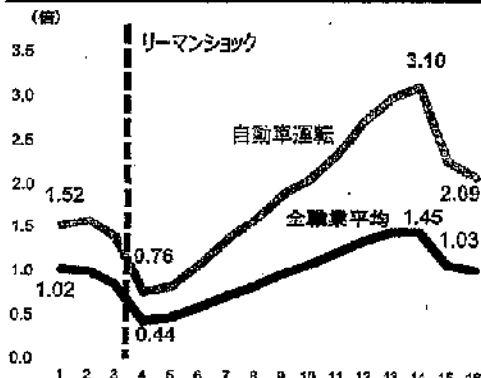
路線バス、地域鉄道、内航旅客船の利用者数

H2=100とした場合の推移



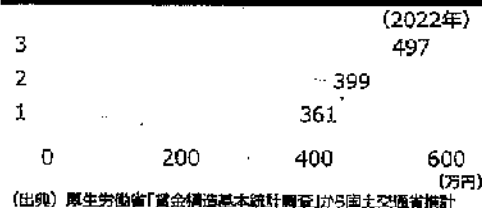
〔出典〕「自動車輸送統計年報」、「鉄道統計年報」より国土交通省作成

自動車運転業の人手不足



〔出典〕厚生労働省「一般職業紹介状況」より国土交通省作成

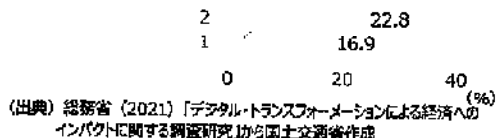
自動車運転者の賃金水準



〔出典〕厚生労働省「賃金構造基本統計調査」から国土交通省推計

産業別のDX取組状況

「DXの取組を実施している」と回答した企業の割合



〔出典〕総務省（2021）「デジタル・トランスフォーメーションによる経済へのインパクトに関する調査研究」から国土交通省作成

3

地域の公共交通リ・デザイン実現会議

目的

地域の交通の活性化と社会的課題解決を一体的に推進するため、関係省庁の連携の下、デジタルを活用しつつ、地域の公共交通のリ・デザインを促進する。

構成員

議長 国土交通大臣

構成員（関係省庁）

内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 次長

内閣府 地方創生推進事務局 次長

警察庁 交通局長

こども家庭庁 成育局長

デジタル庁 統括官（国民向けサービスグループ長）

総務省 地域力創造審議官

文部科学省 総合教育政策局長

厚生労働省 政策統括官（総合政策担当）

農林水産省 農村振興局長

経済産業省 地域経済産業グループ長

製造産業局長

国土交通省 公共交通政策審議官

都市局長

道路局長

鉄道局長

物流・自動車局長

観光庁 次長

環境省 総合環境政策統括官

（府省庁建制順）

構成員（有識者）

阿部守一

（長野県知事）

越 直美

（三浦法律事務所弁護士）

富田哲郎

（東日本旅客鉄道株式会社相談役）

増田寛也

（日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長）

松本 順

（株式会社みちのりホールディングス代表取締役グループCEO）

松田昌夫

（広島電鉄株式会社代表取締役社長）

森地 茂

（政策研究大学院大学客員教授、名誉教授）

山内弘隆

（一橋大学名誉教授）

吉田守孝

（株式会社アイシン代表取締役社長）

（五十音順・敬称略）

スケジュール

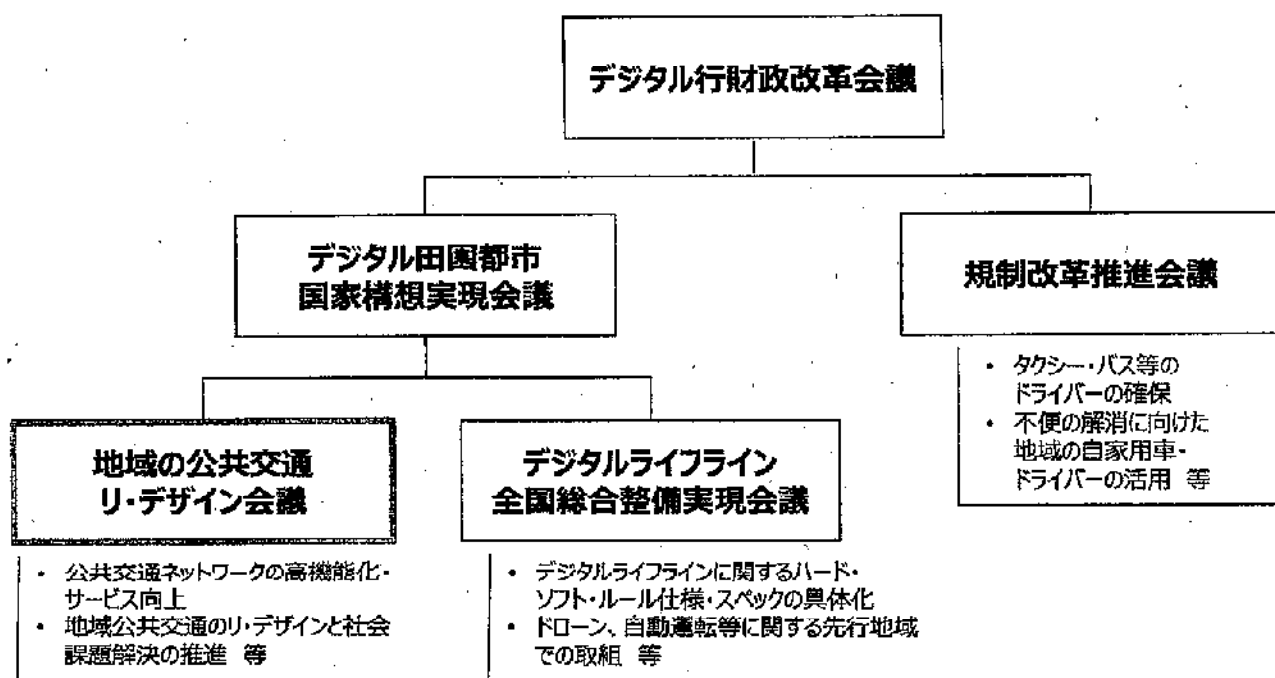
令和5年9月6日（水）	第1回 課題整理（国土交通省）	令和6年2月9日（金）	第4回 データ活用・司令塔機能（自治体・事業者）
10月25日（水）	第2回 連携・協働に関する取組の実態（関係省庁）	4月5日（金）	第5回 とりまとめ骨子（案）
11月16日（木）	第3回 連携・協働に関する課題（自治体・事業者）	5月17日（金）	第6回 とりまとめ

〔参考〕第13回デジタル田園都市国家構想実現会議（2023/6/2）岸田総理発言（抜粋）

経済産業大臣と国土交通大臣は、それぞれ関係大臣と連携し、本会議の下に、デジタルライフライン全国総合整備計画を策定するための会議と、交通のリ・デザインと地域の社会的課題解決を一体的に推進するための会議を、それぞれ設置してください。

4

地域の公共交通リ・デザイン実現会議の位置付け



出典：デジタル庁HP

地域の足の確保について(関係者の連携・協働)

デジタル田園都市国家構想総合戦略(令和4年12月閣議決定)

- 『エネルギー分野、医療・介護分野、教育分野等の幅広く多様な関係者との「共創」等により、地域交通を「リ・デザイン」する取組について、関係府省庁が連携しつつ、従来とは異なる実効性のある支援等を実施する。』

地域交通法(地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号))

- 地域の関係者の連携と協働を促進するため、以下を法律に規定(令和5年改正)
 - ・ 目的規定に、自治体・公共交通事業者・地域の多様な主体等の「地域の関係者」の「連携と協働」を追加
 - ・ 国の努力義務として、「関係者相互間の連携と協働の促進」を追加
 - ・ 「地域の関係者相互間の連携に関する事項」を地域公共交通計画※への記載に努める事項として追加

※ 「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする地域公共交通のマスタープラン

多様な関係者による連携・協働の実装に向けた取組を推進

連携・協働による移動手段の確保例

B. 地方中心都市など

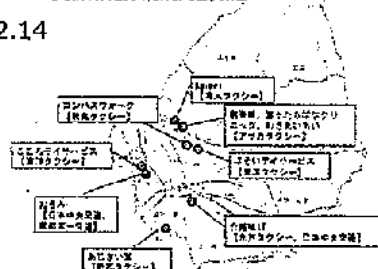
介護施設の送迎のタクシー事業者へ委託

【群馬県前橋市 (33.6万人)】

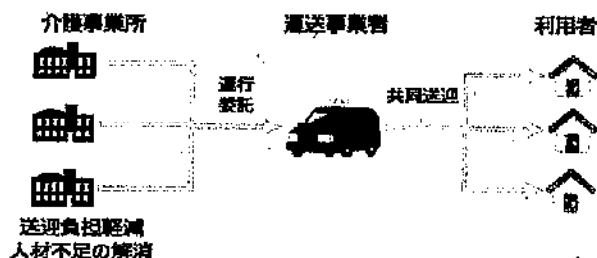
- ・ デイサービス事業所が送迎業務をタクシー事業者へ委託し業務効率化、タクシー事業者は定量的な業務を確保し経営基盤を強化。

- 実証期間：R4.12.15～R5.2.14
- 運行回数：1,271回
- 延べ輸送人員：2,803人

＜参画した介護事業所と交通事業者＞



出典：第3回 地域の公共交通・デザイン実証会議 前橋市発表資料

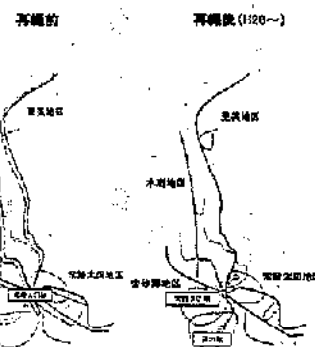


スクールバス、通院バス等を路線バスに一元化

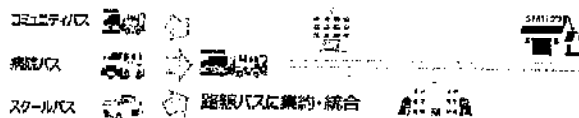
【茨城県常陸太田市 (4.8万人)】

- ・ スクールバス、コミュニティバス、通院バスを路線バスに統合。輸送に係るリソースの効率化と公的負担抑制を実現。

- 運行日：毎日
- 運行本数(便/週)：601 (H26) → 673 (R4)
- 利用実績(万人)：約23 (H26) → 約25 (R4)
- 公的負担(円/km)：約181 (H26) → 約168 (H29)



出典：第3回 地域の公共交通・デザイン実証会議 常陸太田市発表資料



9

連携・協働の推進に向けた環境醸成

政府共通指針の策定 (6/28発出)

政府一体として、関係12省庁の連名による「地域の公共交通・デザイン連携・協働指針」を策定し、全自治体に取り組むを働きかけ

1. 交通部門及び関連部門との連携の推進
2. 部局間の情報・データ共有の推進及び新技術・デジタル技術の活用
3. 自家有償旅客運送の積極的な活用
4. 地域の輸送資源の活用推進

国・自治体・関係者の意識改革を推進

【政府共通指針の発元と発出元】

国土交通省	デジタル田舎都市国家戦略推進事務局	次長
内閣府	地方創生推進事務局	次長
農林水産省	農村振興局長	
デジタル庁	デジタル推進部(デジタルサービスグループ長)	
総務省	大臣官房地方政策課長	
文部科学省	総合政策課長	
厚生労働省	政策企画課長(社会政策部)	
農林水産省	農村振興局長	
経済産業省	地域経済政策グループ長	
建設省	国土政策課長	
国土交通省	大臣官房公共交通政策課長	
国土交通省	都市局長	
国土交通省	道路局長	
国土交通省	港湾局長	
国土交通省	物流・自動車局長	
建設省	建設局長	
建設省	国土政策課長	

地域の公共交通・デザイン連携・協働指針

各分野の指針・通達の実定

国交省、総務省、文科省、厚労省、農水省、経産省等から自治体関係部局等へ指針・通達を発出

A：交通空白地など

自家有償旅客運送への多様な関係者の参画

- ・ 農業協同組合、商工会、観光協会等、地域運営組織(RMO)、郵便局等による自家有償旅客運送の取組を推進



各施設の送迎輸送への住民利用(混乗)等

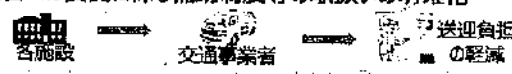
- ・ 運営法人が異なる介護施設や障害福祉施設の利用者の同乗に係る介護報酬等の取扱いの明確化
- ・ スクールバスへの一般利用者の混乗に係る補助制度等の取扱いの明確化等



B：地方中心都市など

各施設に係る送迎輸送の公共交通事業者等への委託

- ・ 複数の介護施設や障害福祉施設等による共同委託に係る介護報酬等の取扱いの明確化
- ・ スクールバスの運行、放課後児童クラブへの送迎、保育所等への送迎バス等の運行における公共交通事業者等への委託に係る補助制度等の取扱いの明確化等



各施設に係る送迎輸送の公共交通事業者等への委託

- ・ 各施設の送迎輸送における、路線バス、コミュニティバス等への統合に係る補助制度等の取扱いの明確化

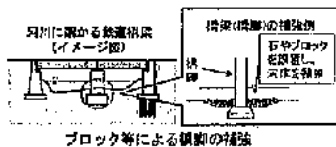
10

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」について 国土交通省

- 平成30年度より実施している「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に引き続き、取組の更なる加速化・深化を図るため、激甚化する風水害や巨大地震等への対策、予防保全に向けた老朽化対策の加速等を柱とする「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が令和2年12月に閣議決定された。
- 鉄道分野においては、以下の5項目の対策について、令和3年度から令和7年度までの間に集中的に実施する。

①河川橋梁の流失・傾斜対策

例：洗掘防止工



②隣接斜面からの土砂流入対策

例：法面防護工



③地下駅・電源設備等の浸水対策

例：電源設備の移設



④地震による落橋・桁ずれ、高架橋等の倒壊・損傷対策

例：耐震補強



⑤予防保全に基づいた鉄道施設の老朽化対策

例：橋梁の防食塗装



鉄道施設総合安全対策事業費補助(豪雨対策)

国土交通省

1. 目的・事業概要

【目的】

頻発化・激甚化する豪雨災害を踏まえ、河川に架かる鉄道橋梁の流失等防止対策や、鉄道に隣接する斜面からの土砂流入防止対策を推進し、鉄道利用者の安全確保及び鉄道の安全・安定輸送の確保を図る。

【事業概要】

利用者が多い線区等を対象に、橋脚の洗掘防止対策や、橋梁の架替、鉄道に隣接する斜面の補強等の豪雨対策を支援。

2. 制度の内容

○補助対象事業者：鉄軌道事業者（JR東日本・東海・西日本は除く）

○補助対象事業：橋脚の補強（洗掘防止対策）、
異常検知システムの整備、
橋梁の架替、鉄道隣接斜面の補強等

○補助率：1/3 以内

事業区分	対象線区	対象事業
鉄道河川橋梁対策事業	・片道断面輸送量1日1万人以上15万人未満の路線	・橋脚の基礎部分の補強 ・異常検知システムの導入 ・橋梁の架替
	・優等列車若しくは貨物列車が運行する路線	
鉄道斜面対策事業	・片道断面輸送量1日1万人以上15万人未満の路線	・法面防護工 ・落石防護工 等
	・優等列車若しくは貨物列車が運行する路線	

【鉄道隣接斜面からの土砂流入防止対策の例】



JR西日本 奥線 の被災状況
(平成30年7月豪雨)



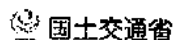
コンクリート枠による斜面の補強

【鉄道河川橋梁の流失・傾斜対策の例】



ブロックによる傾斜の補強

鉄道施設総合安全対策事業費補助(浸水対策)



1 目的・事業概要

【目的】

河川の氾濫や津波等が発生した場合に深刻な浸水被害が懸念される地下駅等の出入口やトンネルの坑口等の浸水対策を推進し、浸水被害の未然防止や拡大防止を図る。

【事業概要】

地方公共団体が定めるハザードマップ等により浸水被害が想定される地下駅等を対象に、出入口、トンネル等への止水板や防水扉等の整備を支援。また、近年の豪雨災害の傾向を踏まえ、新たに電気設備等の浸水対策についても支援する。

2 制度の内容

- 補助対象事業者：鉄軌道事業者
(JR東日本・東海・西日本は除く)
- 補助対象施設：駅出入口・トンネル坑口・換気口・電気設備等における止水板、防水扉、浸水防止機等の整備又は移設
- 補助率：1/3以内
(地方公共団体は協調補助を実施)

【地下駅の浸水被害の例】

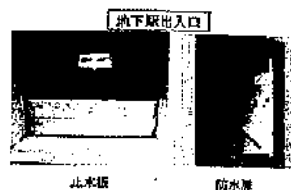
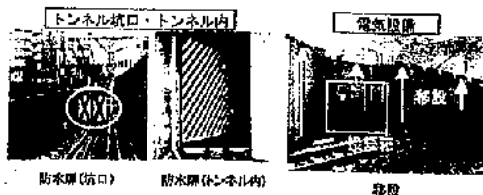


京都市交通局(御園駅)
平成25年9月台風18号による浸水
(4日間通断、約45万人に影響)

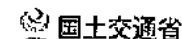


小田急電鉄(下北沢駅)
平成25年10月台風26号による浸水
(3日間通断、約41万人に影響)

【浸水対策の例】



鉄道施設総合安全対策事業費補助(耐震対策)



1. 目的・事業概要

【目的】

首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模地震に備え、主要駅や高架橋等の耐震対策を推進し、鉄道利用者の安全確保を図る。

【事業概要】

首都直下地震・南海トラフ地震で震度6強以上が想定される地域等において、利用者が多い線区等を対象に、駅、高架橋等の耐震対策を支援。

2 制度の内容

- 補助対象事業者：鉄軌道事業者 (JR東日本・東海・西日本は除く)
- 補助対象事業：駅の耐震補強、高架橋等の耐震補強、落橋防止対策の実施等
- 補助率：1/3以内

目的	対象地域	対象線区・駅	対象施設
大規模地震に対して構造物が崩壊 (せん断破壊先行型) しないこと等を目的とする補強	首都直下地震・南海トラフ 地震で震度6強以上想定 地域等	片道新断面輸送量1日1万人以上の線区 (片道10本/時以上の線区等)	・高架橋 ・橋りょう (ロッキング補強を有するものを含む) ・トンネル
	全国	緊急輸送道路等と交差・並走する線区 乗降客1日1万人以上の駅	・踏切補強等
早期に復旧を図る観点から、現状を 最小限にとどめること(曲げ破壊先 行型)を目的とする補強	首都直下地震・南海トラフ 地震で震度6強以上想定 地域等	片道新断面輸送量1日5万人以上の線区	・高架橋

【駅の耐震対策の例】



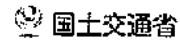
駅構内における駅構内の耐震補強

【高架橋の耐震対策の例】



鋼板巻きによる高架橋の耐震補強

鉄道施設総合安全対策事業費補助(老朽化対策)



1 目的・事業概要

【目的】

老朽化が進む鉄道の橋梁やトンネルの適切な維持管理・更新を推進し、鉄道利用者の安全確保及び鉄道の安全・安定輸送の確保を図る。

【事業概要】

地域の人口減少が進み、経営環境が厳しさを増す地方の鉄道事業者を対象に、鉄道事業の継続性等を確認した上で、将来的な維持管理費用を低減し長寿命化に資する鉄道施設の改良・補修を支援。

2 制度の内容

○補助対象事業者：鉄軌道事業者

(JR東日本・東海・西日本・貨物、大手民鉄、準大手民鉄、
地方公共団体(第一種・第二種鉄道事業者)は除く)

○補助対象事業：橋梁の重防食塗装

トンネルの覆工コンクリートの補強 等

○補助率：1/3以内

【橋りょう、トンネルの長寿命化に資する改良・補強事例】



豪雨の場合

▶ 目次に戻る

大雨が降った時に列車が速度を落としたり止まるのはなぜですか？



大雨が降ると、線路が崩れたり土砂が流入する危険性が高まるためです。川が増水し、水位が上がった場合も、列車は速度を落としたり運転を見合わせています。

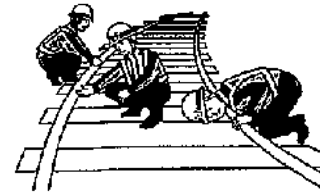


豪雨の場合

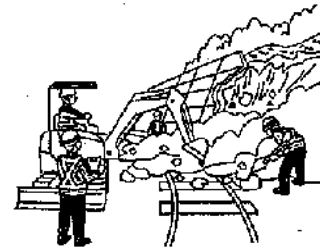
▶ 目次に戻る

＝ 運転再開までの流れ ＝

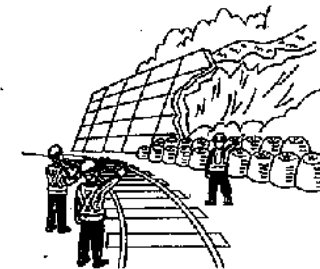
雨量が規制値を下回ると...



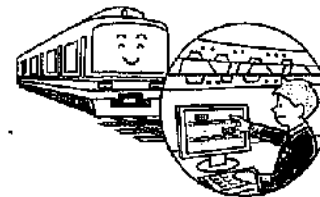
線路などの点検を開始します。



線路に流れ込んだ土砂を取り除きます。



土のうを置いたり、橋の状態を確認します。



点検後、異常がなければ運転再開します。

豪雨の場合

▶ 目次に戻る

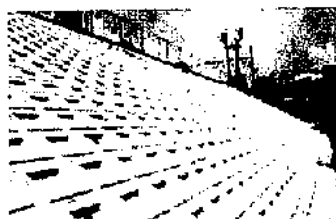
Q なぜ、雨が止んだ後も
列車の運行速度を低下(徐行)させたり
運転見合わせを続けるのですか？

A 雨が止んでも、防災対策されていない
斜面や線路にはまだたくさんの雨水を
含んでいることがあります。そのため、線路が
崩れたり土砂が流入出する可能性があります。
安全のために、必要な点検を行った後、運
転を再開しています。

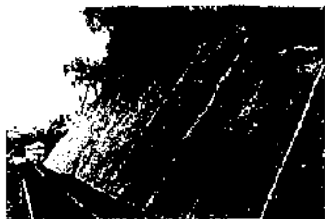
降雨災害への対策

●斜面防災・落石防護柵

過去の検査結果をもとに、斜面崩壊や落石の
危険性がある場所を特定し、対策が必要な斜
面ではコンクリートで固める工事や落石を防
ぐ柵の設置などを進めています。



斜面对策後の盛土



落石防護柵

強風の場合

▶ 目次に戻る

強風で列車が速度を
落としたり止まるのはなぜですか？



強い風をうけると列車の運行に
危険が及ぶ可能性があるためです。
一部の路線は海や山沿い、橋の上など風の
影響を受けやすい箇所を走行しています。
過去の災害の経験をもとに、風速が一定の
基準を超えると運転を見合わせています。



強風の場合

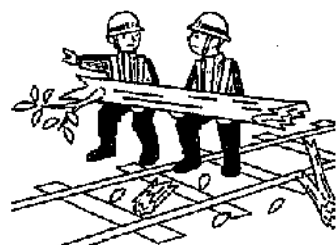
▶ 目次に戻る

＝ 運転再開までの流れ ＝

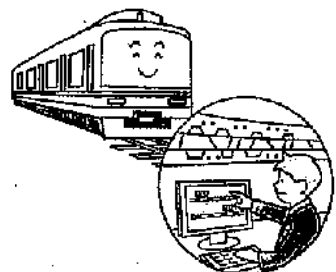
風速が規制値を下回ると...



架線や線路の点検を
開始します。



架線に付着した飛来物
や倒木を取り除きます。



点検後、異常がなけれ
ば運転再開します。

強風の場合

▶ 目次に戻る

Q なぜ、風が止んでいるのに
運転見合わせを続けるのですか？

A 風が小康状態となった後も突風などの
可能性があるため、一定時間運転見合
わせを継続する場合があります。安全のために、
必要な点検を行った後、運転を再開しています。

暴風への対策

●防風柵

強風での運転見合わせなどを減らしていく
ため、平成20年から特に風の影響を受けや
すい湖西線・北陸線で防風柵の整備を進めて
います。防風柵を整備した規制区間での運転
見合わせ時間は、おおむね3分の1以下になる
見込みです。

※防風柵を設置することにより、風に対する規制値が緩和されます。
(運転を見合わせる規制値が25m/sから30m/sとなります。)



湖西線の防風柵

地震の場合

▶ 目次に戻る

列車に乗っているときに
地震が起きたら不安。安全なの？



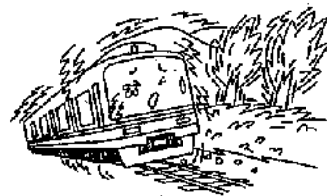
地震の規模が一定の基準を超えたとき、
また乗務員が地震を感じたときはただちに
列車を停止させています。阪神・淡路大震災
などの経験を生かし、耐震補強工事など
さまざまな対策を進めています。



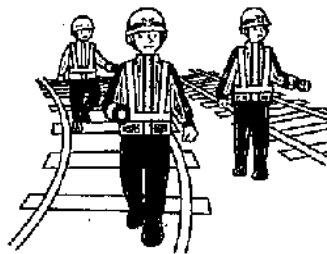
地震の場合

▶ 目次に戻る

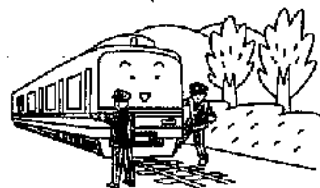
—— 運転再開までの流れ ——



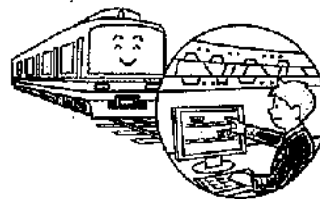
一定の基準を超える
規模の地震が発生し
た場合、列車を緊急停
止します。



線路に異常が無いか
安全を確認します。



列車に異常が無いか
安全を確認します。



点検後、異常がなけれ
ば運転再開します。

地震の場合

▶ 目次に戻る

Q なぜ、地震がおさまった後でも、
運転速度を低下したり
運転見合わせをしているのですか？

A 震度により、点検が必要な箇所について安全確認を行います。設備点検が広範囲におよぶ場合や設備が地震により被害を受けた場合は、運転再開までに多くの時間を要することがあります。

地震への減災対策

●耐震補強対策

盛土や鋼製橋脚、高架橋の補強のほか、落橋の防止、駅上屋などの耐震補強対策を実施しています。

例えば、高架橋柱に鋼板を巻くことで補強しています。



高架橋の補強イメージ

地震の場合

▶ 目次に戻る

●脱線後の減災対策

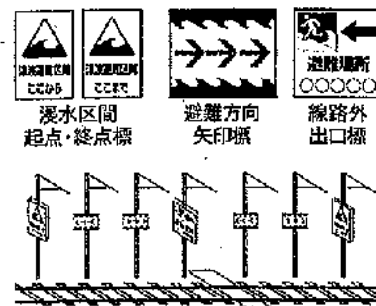
山陽新幹線では、「逸脱防止ガード」の設置を進めています。ガードを設置することで、車両が脱線しても車輪が同ガードにあたることで大きく逸脱することを防ぐことができます。



逸脱防止ガード

●津波対策

津波対策については、各府県の津波浸水想定に基づき、線区のハザードマップを作成するとともに、浸水エリアとなる箇所に「浸水区間起点・終点標」を設置し、速やかに避難できるようにしています。また、運転台への手すり付梯子の搭載、避難誘導設備の整備（避難誘導降車台等）のほか、お客様も扱うことができる避難用梯子の車内設置も順次進めています。



〈設置イメージ〉浸水区間起点・終点標など



避難誘導降車台

地震の場合

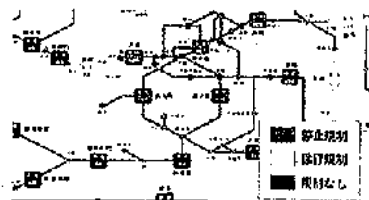
▶ 目次に戻る

地震発生時乗車されているお客様への 迅速なご案内への取り組み

京阪神エリアでは、地震発生時におけるお客様の
降車時間短縮に向け、以下の取り組みを行っています。

規制区間別路線図

乗務員は、「規制区間別路線図」の情報をもとに、自列
車の規制レベルを確認し、規制レベル別に定められた
具体的取り扱いに
従って対応すること
で、お客様が乗車され
たまま駅間で長時間
停車するケースを減
らすことができます。



規制区間別路線図

鉄道地震被害推定情報配信システム (DISER)

(公財)鉄道総合技術研究所が開発した「DISER」とい
うシステムから、鉄道地震計よりも細かい500メートル
ごとの推定震度情報を取得することで、次の駅まで移動
可能な列車を特定し、
駅間での降車が必要
となるケースを減らす
効果が期待されます。



DISERによる震度推定(イメージ)

※京阪神エリアの
一部区間に活用。

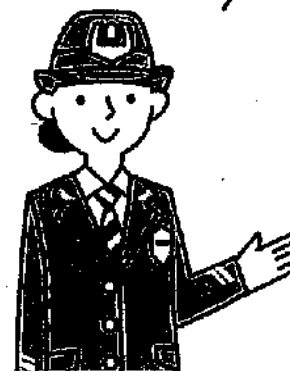
計画運休の場合

▶ 目次に戻る

なぜ、計画運休を行うのですか？



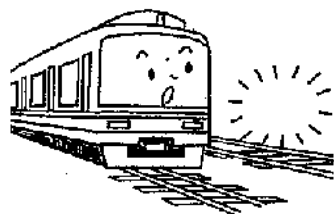
長時間にわたって駅間に停車し続ける、
途中駅で運転取りやめとなる可能性がある
など、かえってお客様にご不便をおかけする
と判断した際に、計画運休を実施します。



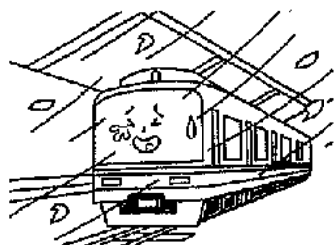
計画運休実施の流れ



事前に気象情報を収集し、計画運休を行うかを判断します。概ね運転休止する2日前ごろに計画運休が行われる可能性、1日前に計画運休の実施有無を決定します。

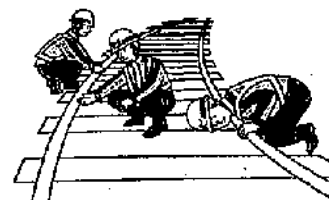


計画運休を実施する前には列車の本数を減らして運転する場合があります。

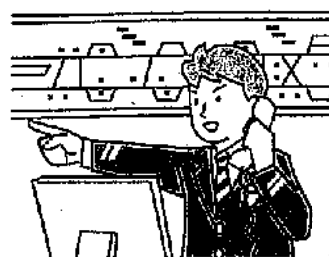


台風通過や大雪に合わせて全列車を運休します。運転見合わせ中でも運転再開後の運転計画についてホームページ等でお知らせします。

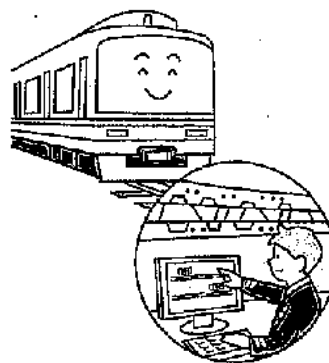
運転再開までの流れ



雨や雪の降りやみ、風のおさまりを待って、点検と復旧のための作業を行います。



点検に合わせて被害状況を収集し、運転再開後の運転計画を修正します。



点検および復旧のための作業が完了すると、運転再開となります。計画運休の実施が広範囲にわたる場合は、正常な列車ダイヤに戻るまでに時間を要する場合があります。

大雪の場合

▶ 目次に戻る

雪で列車が止まるのはなぜですか？



雪が積もることで、雪の重みにより倒れた木が線路をふさいでしまったり、列車の行先を振り分けるポイントが動かなくなるなど列車の運行に支障が出るため、運転を取り止めることがあります。



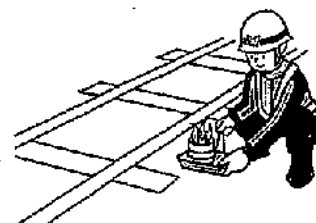
大雪の場合

▶ 目次に戻る

雪が降る前のとりくみ



気象予測に基づき、大雪により列車の運行に支障が出るのが予想される場合は、事前に列車の本数を減らしたり、運転を取りやめます。



ポイントに雪が介在したり、雪が降っていても気温の低下によりポイントが凍結し、不転換となる可能性があるため、融雪装置を起動します。

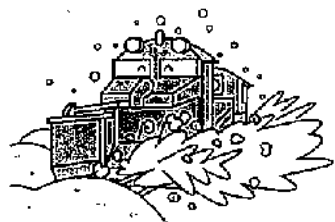
大雪の場合

▶ 目次に戻る

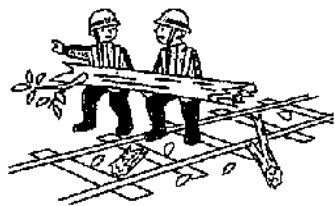
—— 運転再開までの流れ ——



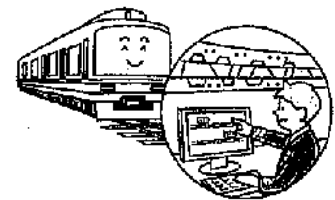
気象状況が悪化し、降雪により列車の運行が困難と判断した場合は、運行を取り止めます。運転を取り止める際は、ホームページ等で事前にお知らせします。



線路、ホーム等の除雪作業を実施します。



点検を行い、倒木があれば取り除きます。



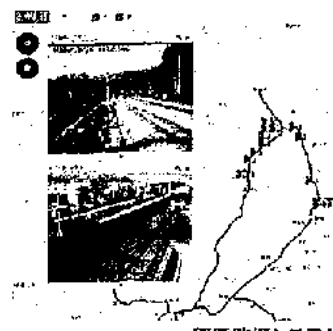
点検後、異常がなければ運転再開します。

大雪の場合

▶ 目次に戻る

大雪への対策

●雪が降る前の対策



積雪監視システム

積雪監視システム

各箇所カメラを設置し、積雪状況を遠隔で監視しています。



電気融雪器(遠隔式)

電気融雪器(遠隔式)

ヒーターを温めてポイント(分岐器)前後に溜まった雪を溶かし、ポイントの不転換を防止します。降積雪・凍結が見込まれる場合には事前に稼働させています。

●積雪時の減災対策

積雪時、線路上に積もった雪を排雪するために、排雪列車を走行させます。また、列車に積もった雪が走行中に線路上に落下した場合にバラスト(線路に敷かれている石)が線路脇に飛散する危険性があります。そのため、飛散防止ネットを設置しています。



排雪列車



バラスト飛散防止ネット

列車がお客様と接触した場合

▶ 目次に戻る

「お客様と接触」と放送があったけど、
運転再開まで何をしているの？



負傷者の救出や警察による現場検証、
隣接する線路の確認などを行っています。
必要な手続きが終了し、現地で対応に
あたった係員、警察や消防の退出など、
現場の安全確認を行ったうえで
運転を再開します。



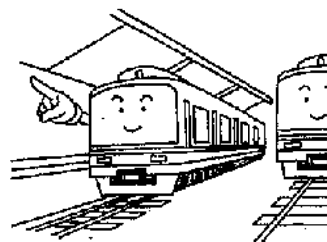
列車がお客様と接触した場合

▶ 目次に戻る

＝ 運転再開までの流れ ＝



運転士は列車を止め
て、さらなる事故を防
ぐために周囲の列車を
停車させる信号を発信
します。その後、直ちに
指令所に状況を連絡
するとともに、乗務員は
お客様の安全を確認
します。



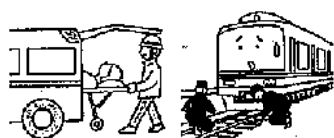
乗務員が現地の状況を
確認し、負傷者の救出
などに影響しない列車
については、確認が出来
次第、運転再開します。



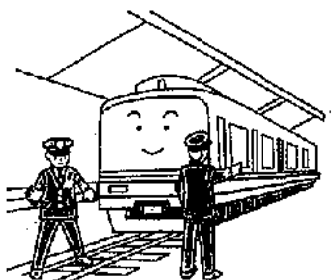
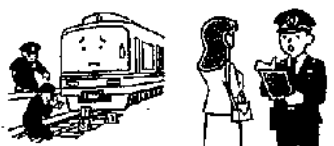
列車がお客様と接触した場合

▶ 目次に戻る

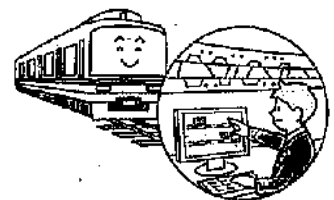
==== 運転再開までの流れ =====



警察や消防が到着すると、負傷者の救出や現場検証等が行われます。夜間の場合、負傷者の救出や所持品の捜索などに、時間を要する場合があります。



負傷者の救出や警察による現場検証が完了し、現地で対応にあたった係員、警察や消防の退出や運転再開に向けた現場の安全確認を行います。



異常がなければ運転再開します。

列車がお客様と接触した場合

▶ 目次に戻る

Q 列車との接触を防ぐ取り組みは行っているのですか？

A 列車がお客様と接触しないように、以下の様な取り組みを進めています。

●ホームでの防止対策



ホーム柵

お客様のホームからの転落や列車との接触を防ぐため、ホーム柵の開発、整備を進めています。



ホーム安全スクリーン

お客様のホームからの転落をセンサーにより検知し、自動的に乗務員や駅係員に異常を知らせるシステムを開発し、整備を進めています。



内方線付き点状ブロック

ホームの内側に線状突起を設け、安全側をお知らせしています。



CPライン

赤色に塗装し、ホーム端部の視認性を向上させています。

列車がお客様と接触した場合

▶ 目次に戻る



ホーム非常ボタン

ホームから転落された場合などに押すと、駅係員や乗務員に異常を知らせる非常ボタンを設置しています。



ホームのベンチの向きの変更

お酒を召されたお客様の行動特性として、ベンチから立ち上がり、線路に向かって歩き出し、転落するケースが多いため、ベンチを線路に対して垂直に設置する対策を実施しています。



青色LED

ホームに沈黙効果の期待される青色照明設備を一部駅に設置しています。引き続き、効果の検証を実施していきます。

●駅間での防止対策



駅間フェンス

線路内に侵入できないように、フェンスの設置を進めています。

●踏切での防止対策



障害物検知装置

踏切内に取り残された自動車などを検知し、乗務員に異常を知らせます。

列車がお客様と接触した場合

▶ 目次に戻る



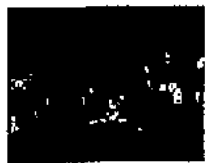
全方位型踏切警報灯

どの方向からも見やすくした警報灯の設置を進めています。



踏切の非常ボタン

踏切内で自動車や人が動けなくなっている場合などに押すと、特殊信号発光機が発光し、乗務員に異常を知らせる非常ボタンを設置しています。



青色LED

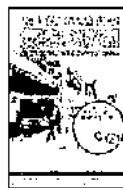
踏切に沈黙効果が期待される青色照明設備を設置しています。引き続き、効果の検証を行いながら設置を進めていきます。

啓発活動



「いのちの電話」と連携した活動

鉄道による自殺は、大切ないのちが失われるだけでなく、電車が止まることによる社会的影響も大きい。ため、「公益財団法人JR西日本あんしん社会財団」、近畿2府4県の「いのちの電話」と共同で作成したポスター等を京阪神エリアの各駅に掲出していきます。



お酒を飲みすぎたお客様や体調不良のお客様が列車と接触されることや、線路内への転落を防止するための啓発や、危険な場面を見かけたら迷わず非常ボタンを押していただく啓発を実施しています。

消滅可能性都市への対応

2024.7.19

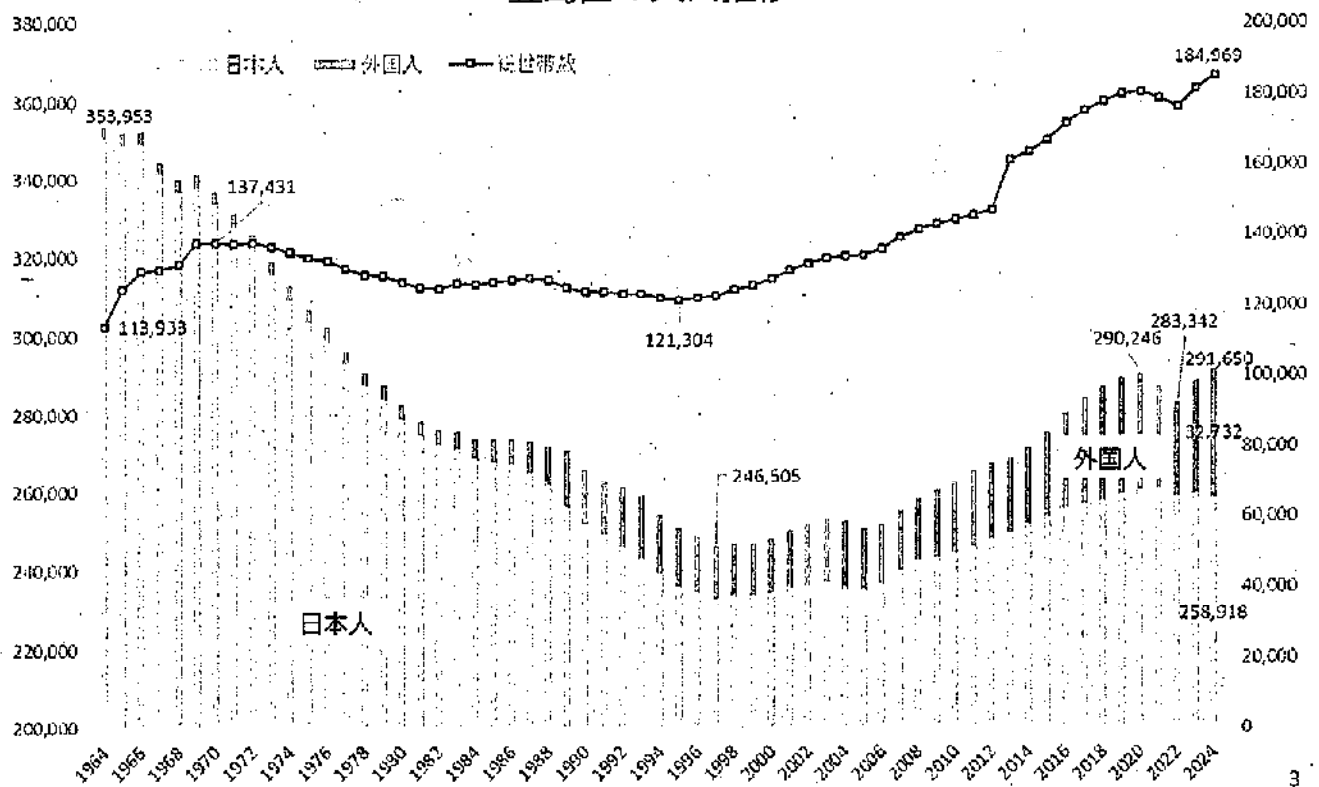


1

目次 Agenda

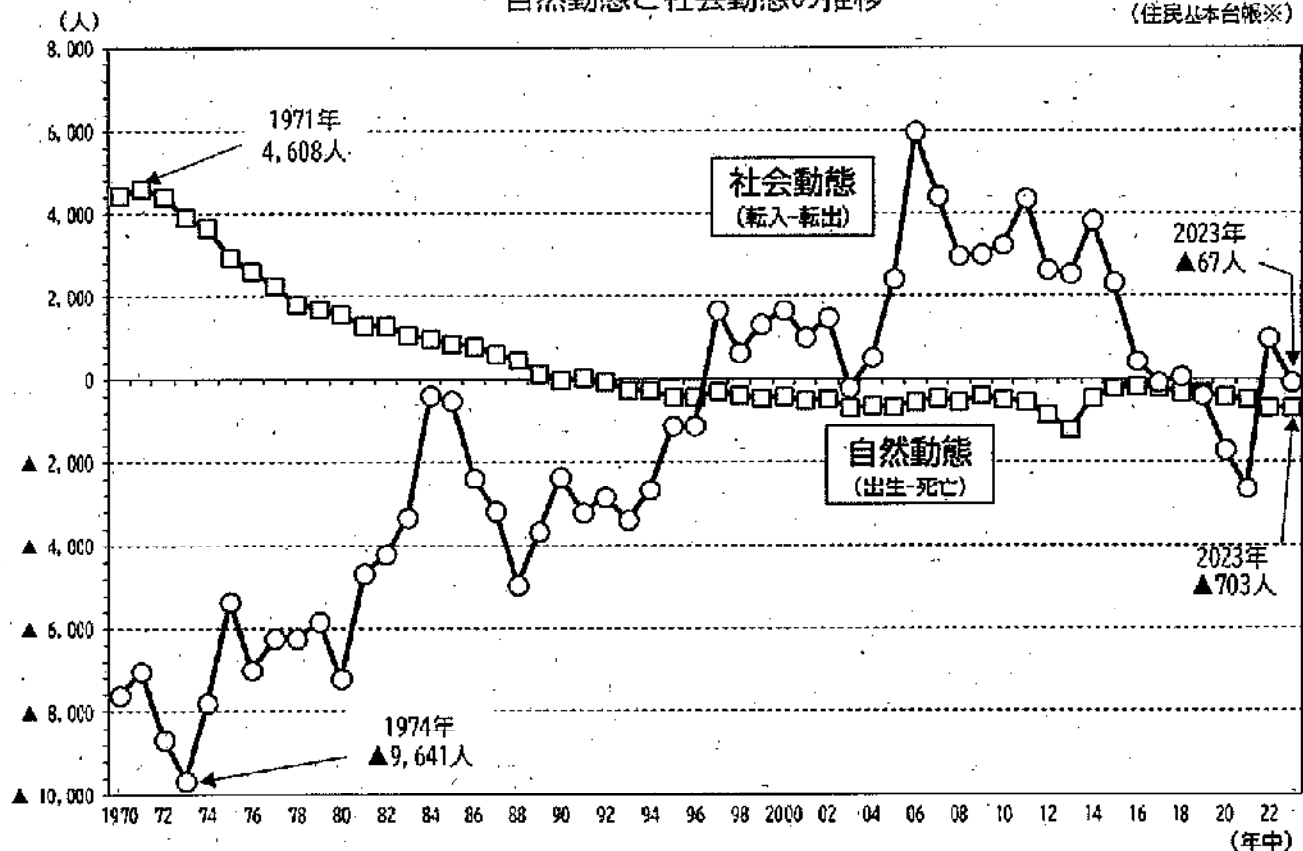
- | | | |
|---|-------------|-----|
| 1 | 豊島区の人口動態 | P.1 |
| 2 | 消滅可能性都市への対応 | P.4 |
| 3 | 豊島区的主要な取り組み | P.5 |

豊島区の人口推移

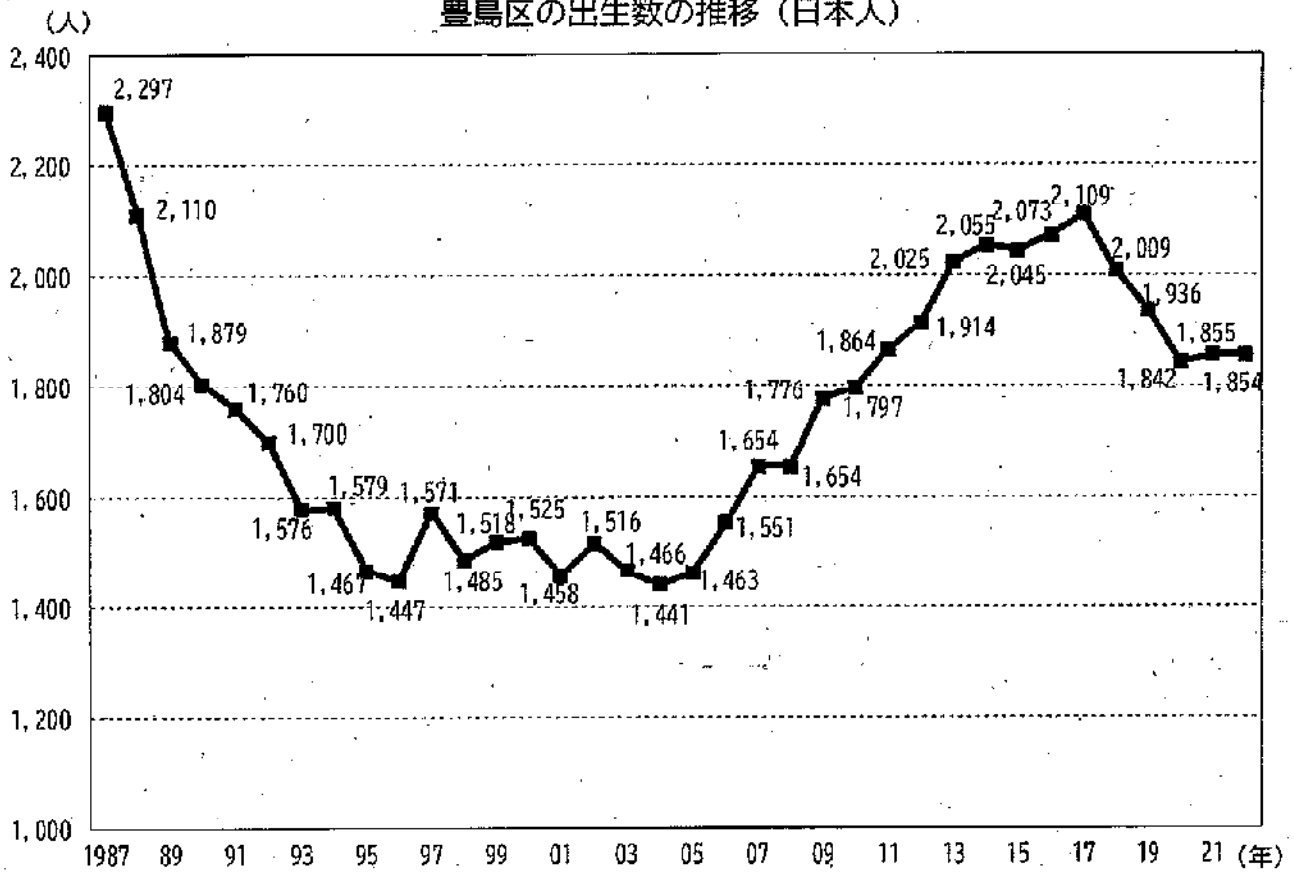


自然動態と社会動態の推移

(住民基本台帳※)

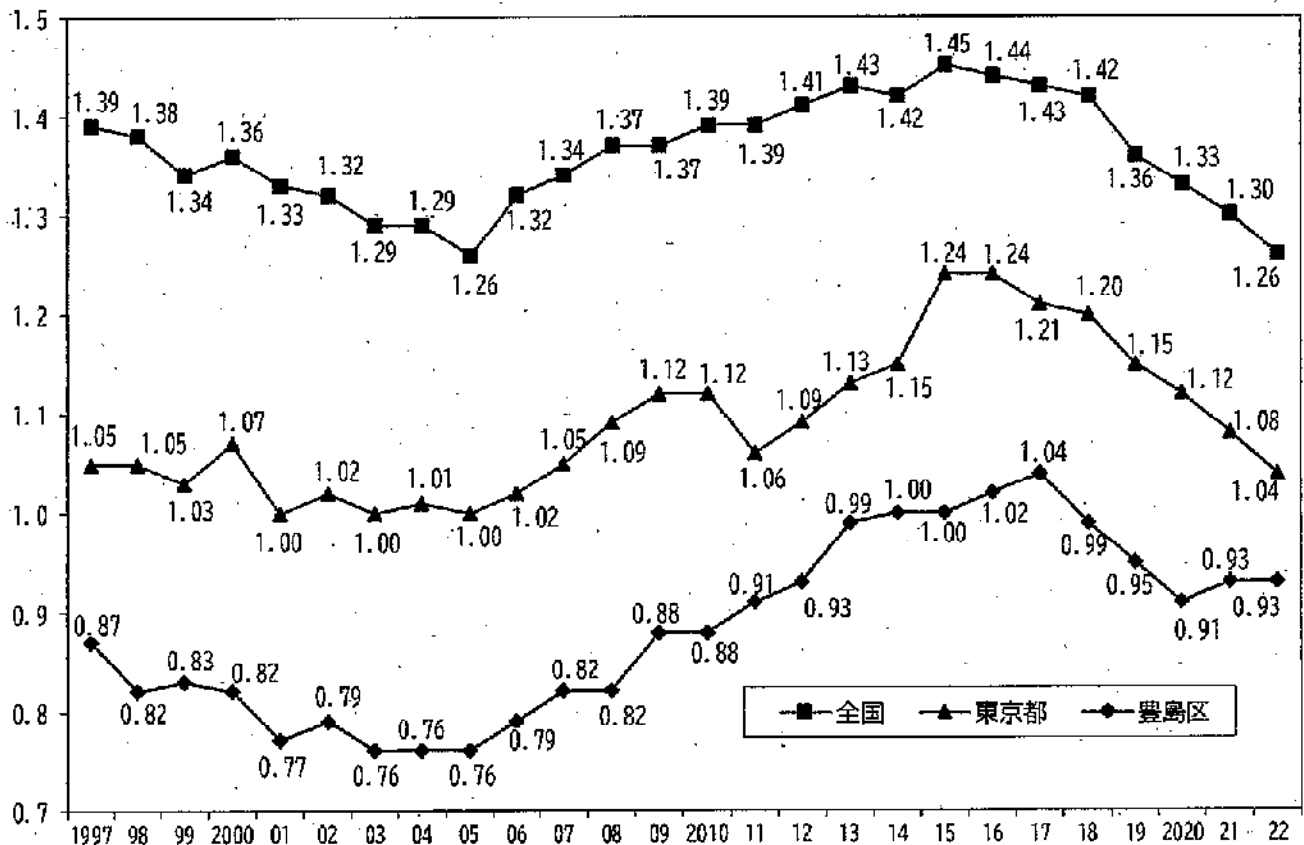


豊島区の出生数の推移（日本人）

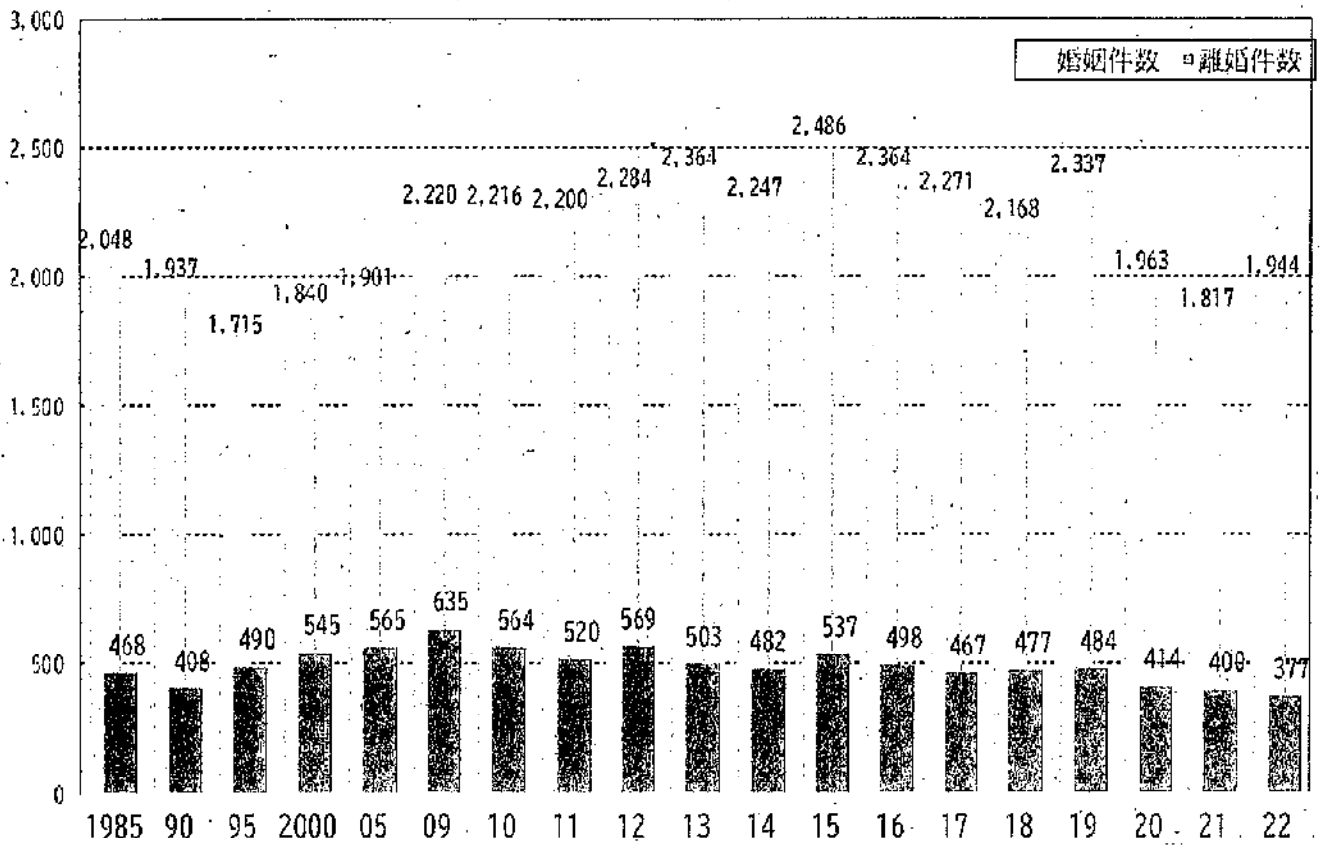


5

合計特殊出生率（日本人）



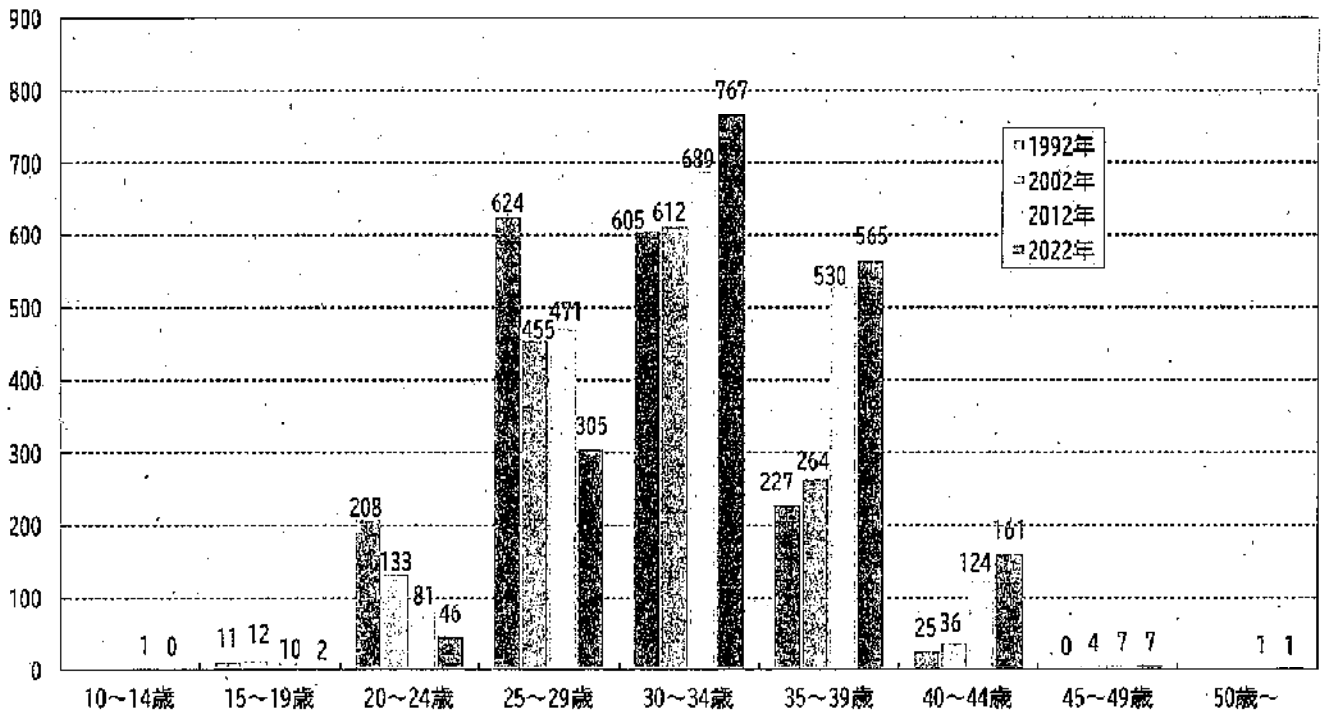
豊島区 婚姻・離婚件数



7

(人)

母の年齢別出生数（日本人）



2 消滅可能性都市への対応

【消滅可能性都市】2010年から2040年にかけて、20～39歳の女性が50%以上減少すると推計した自治体。
豊島区は東京23区で唯一「消滅可能性都市」とされた。

2014年

- 5月8日 日本創生会議より、豊島区が「消滅可能性都市」となる推計を発表
- 5月16日 「豊島区消滅可能性都市緊急対策本部」設置 → 具体的対策に着手

子どもと女性に
やさしいまち

様々な地域と
共生・交流

高齢になっても元気に
住み続けられるまち

日本の推進力

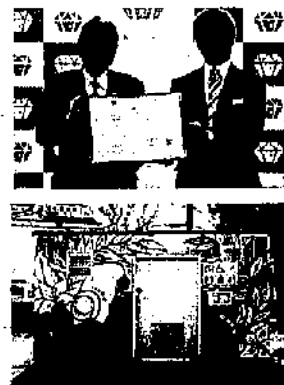
- 7月19日 「としま100人女子会」開催
区内在住、在勤、在学の女性から豊島区のイメージ・現状・課題など自由に意見を出し合う。（643件の意見）
- 8月～11月 「としまF1会議」開催（32人）
6チームに分かれて調査・研究し、12月、区長に事業提案。
→11事業（8800万円）を予算化
（子育てナビゲーター、としま100人社長会、女性起業支援、リノベーションまちづくり事業 等）

2016年

- ◇「女性にやさしいまちづくり担当課」設置。民間から担当課長を公募。
※2018年（平成30）より「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室へ名称変更
- ◇2016年度予算で「女性にやさしいまちづくり推進事業」を重点化（38事業43億6千万円）
- ◇としまイクボス宣言（産官学67団体でスタート）ワグ・ライフ・バランスの取組みを産官学で推進 9

2017年

- 3月～ 区内事業所とFFパートナーシップ協定締結
区・民間事業者それぞれの強みを活かしたノウハウやリソースを活用し、子育て、住まい・くらし、働く、学ぶ、健康など様々な分野において連携していく。※FFは、Female/Family Friendlyの略。
- 4月 待機児童ゼロ達成 ※2013年の270人から4年間で達成



2018年

- ◇アートトイレ第1号完成（池袋公園）（1月）
- ◆「消滅可能性都市」から「持続発展都市」への脱却を独自に宣言
 - ①40年振りに人口が29万人を突破し、若年女性も増加（7月5日）
 - ②将来の若年女性人口推計の減少率が大幅に低下

「消滅可能性都市」撤廃後の4年間（28年→30年）
■人口は、15,468人増
■若年女性人口は、2,535人増

日本創生会議による将来推計
＜20～39歳の若年女性人口＞（28.5月）

2010年	2019年	減少率
50,136	24,655	51.0%

国立社会保険人口問題研究所の将来推計
＜20～39歳の若年女性人口＞（28.3月）

2015年	2018年	減少率
49,677	40,276	18.2%

2020年

- ◇豊島区が「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定

2024年

- ◇10年振りに地方自治体の持続可能性に関する分析が発表され、豊島区は「消滅可能性都市」からの脱却を果たす。



豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

3 豊島区の主な取り組み

区民の声を施策に反映

- ・若年女性など、区民の声を積極的に施策に反映
- ・出産から子育ての切れ目ない支援（経済的支援、相談支援等）
- ・保育環境の向上

区内企業との連携強化

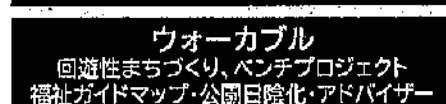
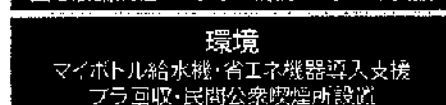
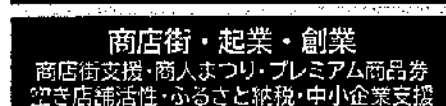
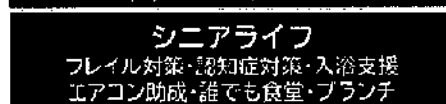
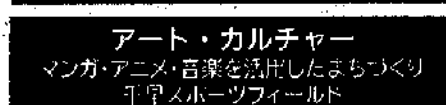
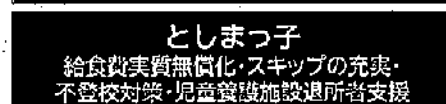
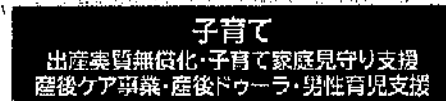
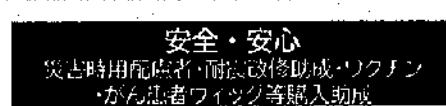
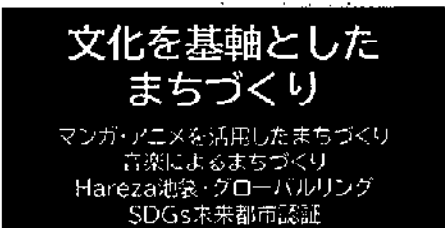
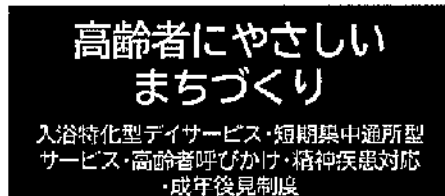
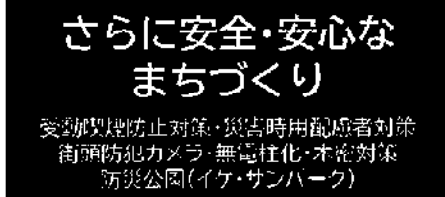
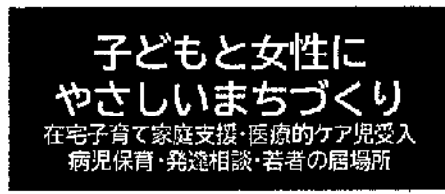
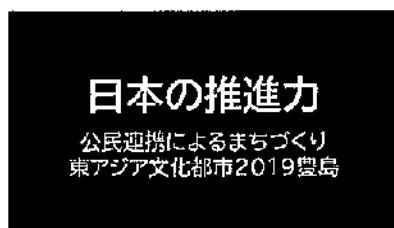
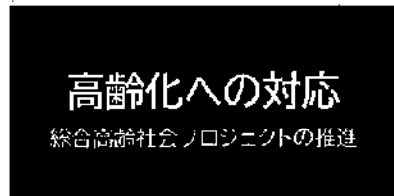
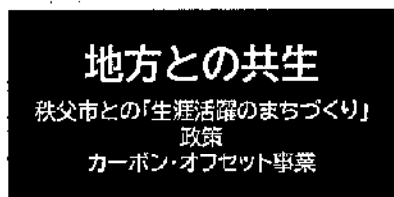
- ・ワークライフバランスの取り組みなど、働きやすい労働環境の推進
- ・企業の強みを生かした社会問題への取り組み「チームとしま」

住みたい、住み続けたいまちづくりの推進

- ・ウォーカブルなまちづくり、公園の整備など

さらなる豊島区の魅力向上

- ・文化を基軸としたまちづくり など
（音楽、芸術、伝統芸能、マンガ・アニメ・コスプレ等）



女性・外国人・障害者・貧困／DXへの取り組み

「わたしらしく、暮らせるまち。」プロジェクト



わたしらしく、
暮らせるまち。

～「女性にやさしいまちづくり」その先へ～

豊島区 政策経営部 企画課

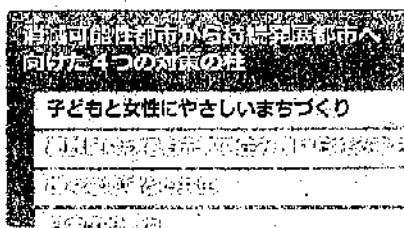
この資料は「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室において作成した資料を改変したものです。

「女性にやさしいまち」からはじまり、「わたしらしく、暮らせるまち。」に取り組む背景

2017年度

「消滅可能性都市」と指定され、緊急対策として「としまF1会議」を開催

としまF1会議、キックオフイベント「としま100人女子会」の開催



2018年度

「としまF1会議」提案の11事業を予算化

としまF1会議キックオフからわずか270日で、11事業8,800万円を予算化

2019年度

H28年度予算は「女性にやさしいまちづくり関連事業」を重点化（38事業43億6千万円）

民間から課長を公募し、「女性にやさしいまちづくり担当課」新設

2019年度

さらなるまちづくり推進のため、施策・発信の強化

「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室に名称変更

2020年

SDGsも視野に入れ、多面での公民連携を強化

「わたしらしく、暮らせるまち。」プロジェクトとして、新たに始動

キャッチコピー：わたしらしく、暮らせるまち。

ひとりひとりの多様なライフスタイルを大切にすることを基本コンセプトに、女性に視点をあわせてまちを見渡すことで、子どもや高齢者、外国人などすべての人が住みやすく、働きやすい、誰もが自分らしく暮らせるまちを目指すものです。コピーには「ここに暮らすすべての人が、それぞれ自分らしく輝けるように」という想いを込めました。



わたしらしく、
暮らせるまち。

シンボルマーク

複数の形の集合体を、輝く石（ダイヤモンド）＝まちに見立てたデザインは、「さまざま人が暮らす家が集まることで、まち全体が輝く。そしてそこに暮らす人々も輝けるように」という想いを込めました。あたたかみのある珊瑚色で、やわらかさも表現しています。

区を取り巻く状況

人口関連

- 人口密度の高さ、全国一
- 外国人比率が高く、国際色豊か（23区中2番）
- 単身世帯の割合が高い（うち、その半数が若年世代）
- 転出入が活発であり、定住率が低い（若年世代に顕著）
- 依然として低い、合計特殊出生率

住環境

交通便良

- 交通の利便性が高く、職住遊接近型の暮らしが実現できる環境にある
- ファミリー向け住宅の供給が少ない一方、23区一高い空き家率（民間借家の6割が単身世帯向け）
- 大規模公園が少なく、小規模な公園・児童遊園が多くを占めている（区民一人あたりの公園面積は23区中最低水準にある一方、区の面積あたりの公園数はトップクラス）

子育て

- 地域の支援を求める子育て世代（地域の支援があればよいと保護者の約半数が回答）
- 保育施設・保育サービス需要の増加（H29.4、H30.4 二年連続待機児童ゼロ達成）
- 子どもの多様な遊び場や体験・交流の場に対するニーズの高まり
- 子どもや親の悩みや不安を気軽に相談できる体制整備の必要性

ライフスタイル等

- ライフスタイルの多様化（食・健康・環境・学び・遊び）
- 自分らしい働きを求める「働き方」の多様化（ライフイベントやライフスタイルに応じた働き方、→再就職や復職、小さな起業、職住近接な働き方→起業や売上拡大に関する相談の増加（特に女性起業家の増加、ニーズの多様化））
- 地域コミュニティの希薄化
町会加入率5割以下
⇒ 地域活動に関心あるが参加していない区民の割合45.7%
⇒ 支え合いや助け合いが必要だと区民の約8割が回答

困難な状況にある

他区との比較により、①ブランド戦略のターゲット層の明確化、②区のポジショニングの明確化、③プロモーションの明確化（区への愛着度と施策の関係性の把握）をすることを目的として、「女性にやさしいまちづくりに関するブランディング調査」を実施。

戦略ターゲット

転出者を抑制しつつも、区の住環境などによる、ある程度の転出者を見込んだうえで、その分を補えるだけの転入者の増加を図る。

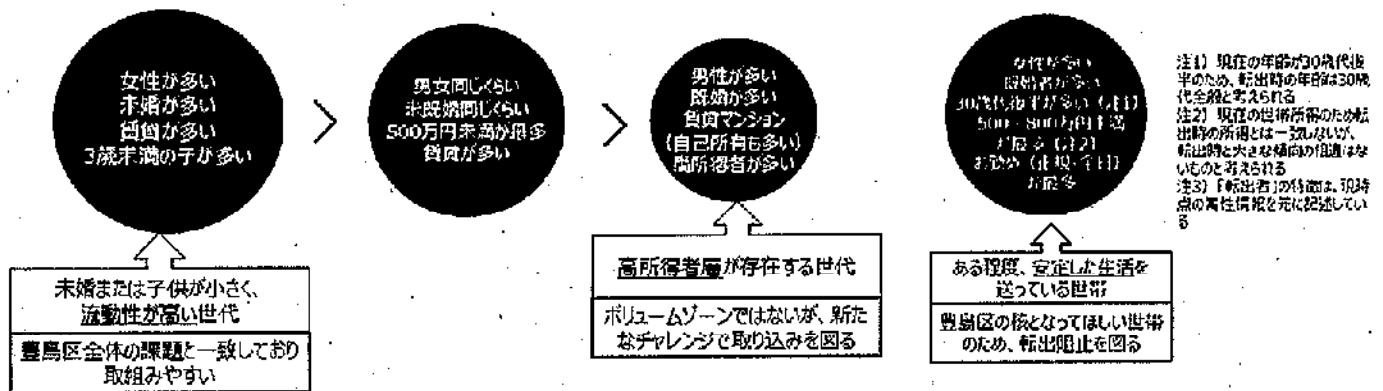
◆転入後3年未満の人の特徴

【30歳代前半】

【30歳代後半】

【40歳代前半・後半 ※】

◆豊島区から他の5区へ転出した人のうち5年未満の人の特徴



※40歳代はサンプル数が少ないため、前半・後半の合計で分析

出典：「女性にやさしいまちづくりに関するブランディング調査」（委託先：日経リサーチ）

5

区のポジショニング（相対的にみた区の強み）

- ・「交通の利便性や商業的な魅力」、「安全・安心」
 - ・親しみやすく庶民的であるという実際に住んでみて「意外と住みやすい」と実感されていること
- 強みを転入予備軍、定住予備軍に適切な媒体で訴求することが課題

	他5区との比較による 豊島区の相対的な強み
「居住後の実感」	・「交通の便が良い」、「買い物に便利」、「賑わいがある」 ⇒商業的な魅力が高い ・「治安が良い」、「安心感がある」 ⇒安全・安心感がある ・「公共施設が充実している」
「事前のイメージ」と 「居住後の実感」	・「親しみやすさ」、「庶民的」がアツプ ⇒想像していたより、敷居が低い ・「危険だ」、「ゴミが散らかっている」がダウ ⇒意外と安心・安全な街
施策評価	・「産業・観光」 ・「文化」

出典：「女性にやさしいまちづくりに関するブランディング調査」（委託先：日経リサーチ）

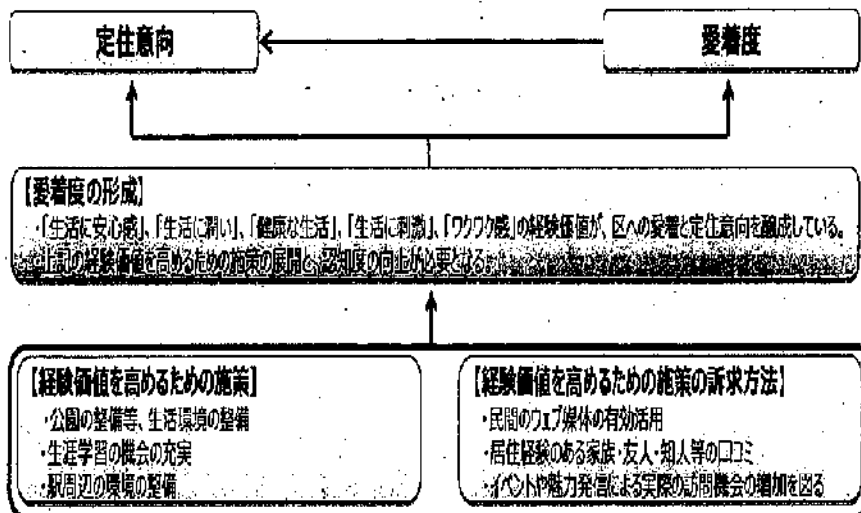
6

プロモーション（愛着度の向上）

定住意向と愛着度は正の相関関係にあり、区への愛着度を高めるため、次のような施策を充実させる必要があります。

- ・公園の整備や地域の緑化
- ・駅及び駅周辺の整備などハード面の整備
- ・生涯学習の充実等ソフト面の施策の充実

※子育て関連施策は、施策の充実とともに、各施策の周知PRの強化、住民同士の情報発信力の活用などを通じ子育て層への訴求を強化が必要



※経験価値：豊島区に住むことによって得られる経験

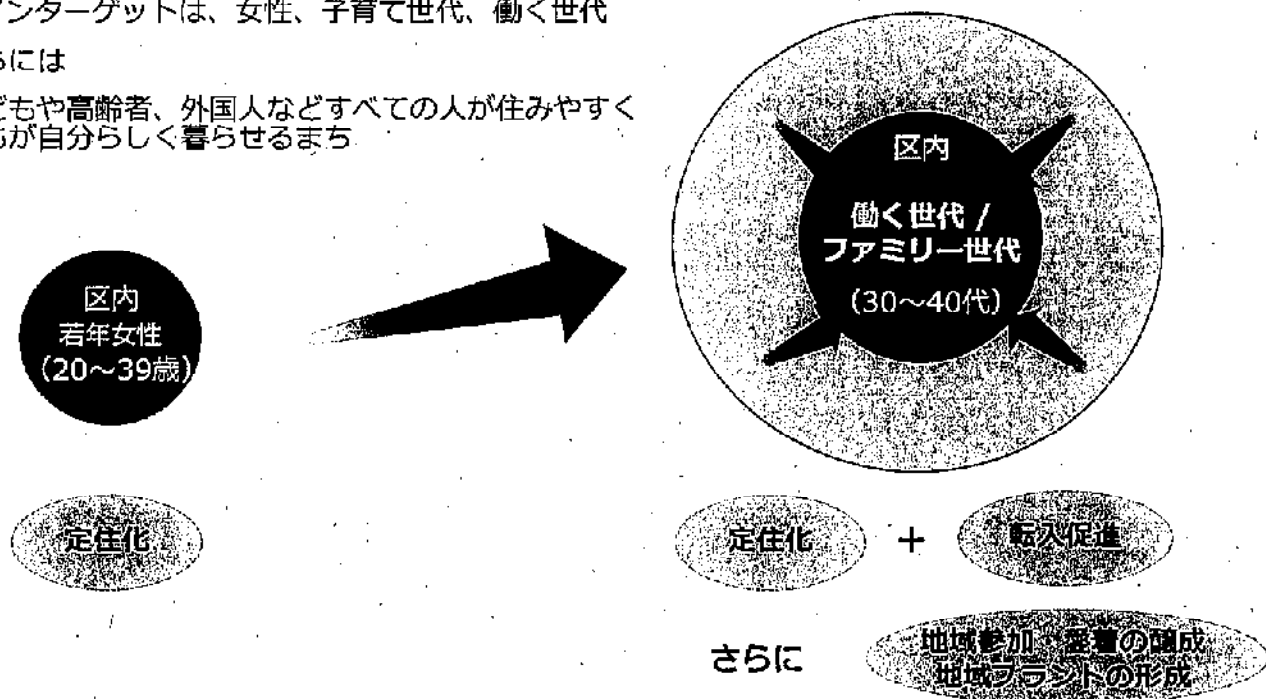
出典：「女性にやさしいまちづくりに関するブランディング調査」(委託先：日経リサーチ)

メインターゲットの明確化：区内外の働く世代/ファミリー世代へ

■メインターゲットは、女性、子育て世代、働く世代

さらには

子どもや高齢者、外国人などすべての人が住みやすく
誰もが自分らしく暮らせるまち

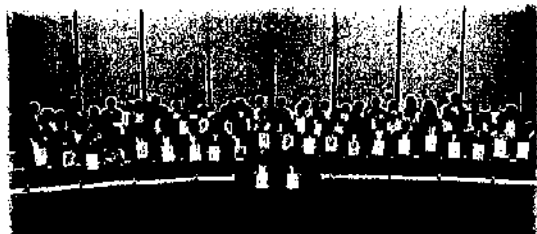


としまイクボス プロジェクト

わがまちを、
暮らしやすく、
暮らしをまもる。

■産官学総勢67団体による働き方改革宣言「としまイクボス宣言」

『イクボス』の存在が近年、重要視されているのを受け、2016年9月29日、都内の自治体で初となる産・官・学が連携した「としま・イクボス宣言」を行った。参加団体の数は67団体（※）と、全国的にみても最大クラスとなった。



※参加団体：豊島区、区内に拠点を置く企業46社、区内の大学7校、13の区関連団体の67団体



■としまイクボスBook

「イクボス宣言」をした団体や「ワーク・ライフ・バランス認定企業」の働き方改革に関する考え方や取り組み・成果をまとめた冊子を作成



■「としまのイクボス」紹介

としまscopeにて「としまのイクボス」のインタビューを紹介



女性の声・視点のまちづくりへの反映 一緒に“まち”を考えよう「FFミーティング」

わがまちを、
暮らしやすく、
暮らしをまもる。

働く世代や子育て世代の皆さんが考えるたくさんの「こんなまちになったらいいな!」を、区のまちづくりや施策に活かしていく。

■第1回

テーマ：庁舎跡地主リアネーミングプロジェクト

日時：2016年11月14日（月）

参加者：区在勤、在学、在住の11名が参加

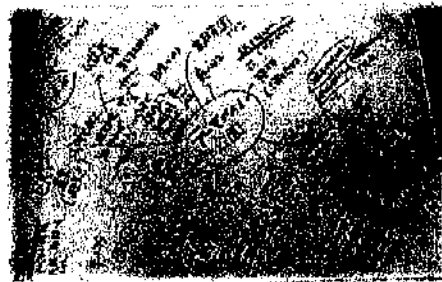


■第2回

テーマ：皆で公園について考えよう

日時：2017年4月27日（木）

参加者：公募による区在住、在勤の11人





■「としまscope」

基本コンセプト:

「わたしらしく、暮らせるまち。」をテーマに、区内で活躍する人々にスポットをあてながら、ひとりひとりが自分らしい暮らしを創り、いろいろなライフスタイルを楽しむための情報を発信。

■目的:

- ・ターゲット(働く世代、子育て世代)に特化した情報発信
- ・ネットでの情報入手が主な当該世代に対し、これまでリーチできなかった層へ情報発信していくため、Facebookと連動
- ・住民の地域への理解や愛着の醸成
- ・区内外住民の区・行政への関心喚起

■概要

- ・URL: <http://toshima-scope.city/>
- ・オープン日: 2016年11月25日
- ・テーマ: 「わたしらしく、暮らせるまち。」
 - ・区内で暮らし、活動する人々や企業へのインタビュー
 - ・区内開催のイベント紹介
 - ・サイトと連動するFacebookを活用したイベント告知など
- ・タブロイド版「としまscope PRESS」創刊: 2018年3月～
- ・「としまscope PRESS MINI」創刊: 2019年9月～



11

「わたしらしく、暮らせるまち。」プロジェクトの方針



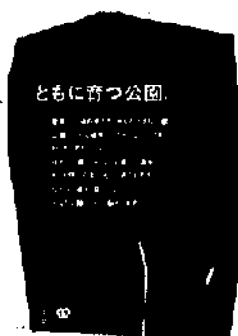
わたしらしく、
暮らせるまち。

「わたしらしく、暮らせるまち。」を、みんなでつくる。



【施策の展開】

- ・住民参加の場づくり
- ・既存施策の再編集
- ・公民連携事業の展開



「わたしらしく、暮らせるまち。」を、のぞいてみる。



【メディア運営】

- ・情報発信
- ・ひとが主役のストーリー
- ・連動企画・プロジェクト

12

FFパートナーシップ協定

【公民連携による
分野横断的な事業展開】

企業と連携し、女性や子育て世代・働く世代を
メインターゲットにお互いのノウハウや人材な
どのリソースを活用した事業や企画を展開



中小規模公園活用プロジェクト

区内に点在する小規模公園を活用し、地域コミュ
ニティの場や
地域課題解決
の場に再生し
ていくプロジェ
クト



としまぐらし会議プロジェクト

【多様な公民連携の推進】

住民、企業、行政など、様々な立場が一
堂に会し、「こんなまちにしたい」を実
現するための会議として開催した「とし
まぐらし会議」をもとに、多様な公民連
携を推進



としまブリックトイル トイルアートプロジェクト

“トイルは街の顔”
公園トイル85か所を3年で改修して
いくなかで、若手アーティストとの
コラボや住民参加による地域特性を
活かしたアートトイルを展開



としまscope

【情報発信の強化】

区内で活躍する人々にスポットをあてながら、
ひとりひとりが自分らしい暮らしを創り、い
ろいろなライフスタイルを楽しむための情報
を発信



切れ目のない子育て支援



- ・待機児童ゼロ対策
- ・少子化対策
- ・産み育て支援
- ・ワーク・ライフ・バランス

地域メディア としまscope



- ・地域資源の発掘、発信
- ・ひとが主役のストーリー
- ・共感・共体験、愛着醸成

育てる

公民
連携

FFパートナーシップ協定



- ・公民連携事業の展開
- ・地域資源活用
- ・既存施策の再構築

としまぐらし会議 プロジェクト



- ・新たな担い手発掘
- ・関係人口増加
- ・多様なつながり・交流

暮らす

まち
づくり

コミュ
ニティ

中小規模公園活用プロジェクト



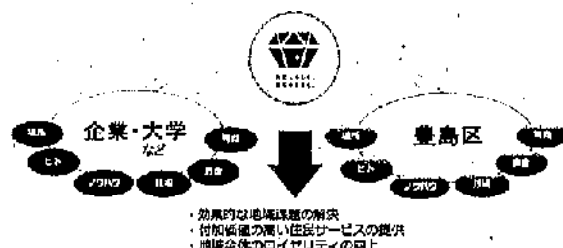
- ・ともに育つ公園。
- ・ニーズに合わせた公園活用
- ・地域・住民参加
- ・地域コミュニティの形成

■概要

「わたしらしく、暮らせるまち。」を目指し、女性や子育て世代、働く世代をメインターゲットとし、子育て支援、健康増進、働き方改革、防災など分野ごとに行っていた様々な公民連携・協働を包括する形で、パートナーシップ協定を区内企業などと個別に締結するもの

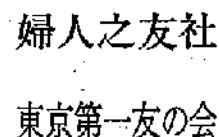
■目的

- ・ 公民それぞれが持つ場所、技術、ノウハウ、人材等の相互連携による相乗効果により、より効果的な地域課題解決や付加価値の高い住民サービスの提供、地域全体のロイヤリティの向上に寄与する。
- ・ 連携のワンストップ化、技術、ノウハウ、人材・物資、場などリソースの相互活用、連携がスムーズに行え、より効果的な課題解決や新規サービスの創出を行うことを目指す。



■締結先

西武池袋本店 (2017.3.15)、東武百貨店池袋本店 (2017.8.8)、サンシャインシティ (2017.9.12)
 ルミネ池袋 (2017.10.2)、良品計画 (2017.11.21)、池袋ショッピングパーク (2018.4.19)
 日本気象協会 (2018.6.11)、自由学園サービス・婦人之友社・東京第一友の会 (2018.12.12)



FFパートナーシップ協定【主な実績】



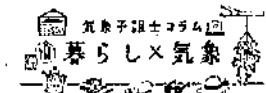
図書館司書の
わくわくおはなし会
(西武池袋本店)
屋上での大型の紙芝居や
絵本を使った、図書館司
書によるおはなし会



Sunshine City
ヨガレッスン区民割引
(サンシャインシティ)
「サンシャイン女子道」
水族館&展望台ヨガ



メディア連携
(日本気象協会)
「としまscope」への
書き下ろしコラム



TOBU

TOBU de あそびシリーズ
(東武百貨店池袋本店)

都会の遊び場づくり。屋上
にて、段ボール廃材を利用
した遊び場空間



良品計画

HINODE MARKET
(良品計画)
小規模公園を地域の
コミュニティの場に



LUMINE

店舗内優先エレベーターの
共同企画 (ルミネ池袋)
若手デザイナーによる「優先エ
レベーター」ラッピング装飾



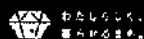
ISP
サクラヌbiz
ISPチャレンジ出店
(池袋ショッピング
パーク)
女性起業家支援として
実践的販売の場の提供

自由学園明日館

婦人之友社 東京第一友の会
中高生への寄添い支援
(自由学園サービス・婦人
之友社・東京第一友の会)
中高生の「生活力」向上、
世代間交流による居場所づ
くり



FFパートナーシップ協定【締結先①】



西武池袋本店と協定締結
(2017年3月15日)



図書館司書のわくわくおはなし会



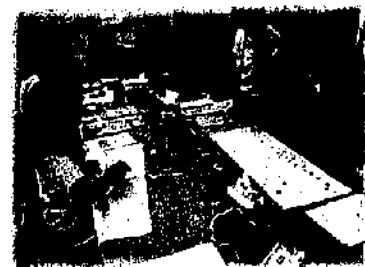
時短&キレイでママ応援！
育休復帰セミナー

東武百貨店池袋本店と協定締結
(2017年8月8日)

TOBU



TOBU de あそびシリーズ
おはなでいっばいのまちをつくろう！



TOBU de あそびシリーズ
スタンプでこどものまちをつくろう！ 17.

FFパートナーシップ協定【締結先②】

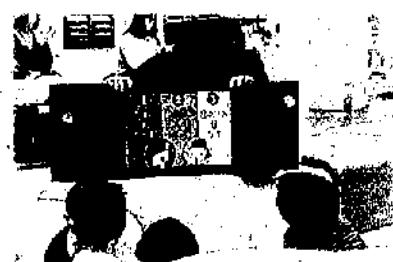


サンシャインシティと協定締結
(2017年9月12日)

なんの国もないこと、ある。
Sunshine City



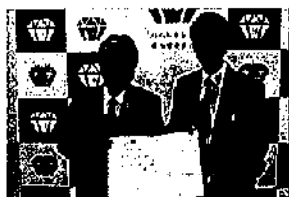
水族館・展望台 ヨガレッスン区民割引



ツクモル by Toshima 紙芝居

ルミネ池袋店と協定締結
(2017年10月2日)

わたしがらしくをあなたらしく
LUMINE
IKEBUKURO



店舗内優先エレベーターの
共同企画



女性の健康教室inルミネ池袋

良品計画と協定締結
(2017年11月21日)

株式会社
良品計画



農縁公園 東池袋ファーム



公園を育てよう井戸端かいぎ



HINODE MARKET

池袋ショッピングパークと協定締結
(2018年4月9日)



サクラースbiz ISPチャレンジ出店



ISPミュージックライブ

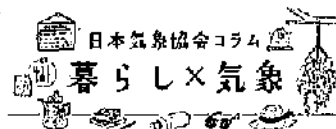
19

日本気象協会と協定締結
(2018年6月11日)

JWA 日本気象協会



サーモカメラで見る！
打ち水効果の観測実験



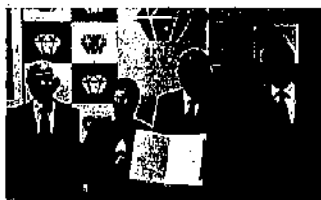
「としまscope」への
書き下ろしコラム

自由学園明日館、婦人之友社、東京第一友の会と協定締結
(2018年12月12日)

自由学園明日館
JIL GYMNASIUM

婦人之友社

東京第一友の会



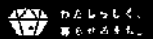
スーパー主婦直伝
～目指せ カジダン・カジジョ!!～
洋菓子店のような本格クッキー作り教室



おうちが好きな一週間
家計Week
おやこで おやつ

20

FFパートナーシップ協定 実績 (2016・2017年度)

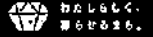


NO	実施日	イベント・企画名	場所	相手方
1	H29.3.24	時短＆キレイでママ応援！育児体験セミナー	西武池袋本店 (3階 婦人服売場)	西武
2	H29.3.25	図書館司書のわくわくおはなし会	西武池袋本店 (2階)	西武
1	H29.4.28	「新建築家士による時短しんどい」セミナー	西武池袋本店 (7階 キッチンスタジオ)	西武
2	H29.4.20	「こまめく頃給」セミナー	西武池袋本店 (7階 キッチンスタジオ)	西武
3	H29.5.26	「時短しんどい」セミナー	西武池袋本店 (7階 キッチンスタジオ)	西武
4	H29.5.27	図書館司書のわくわくおはなし会	西武池袋本店 (2階)	西武
5	H29.6.17	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
6	H29.6.24	入学準備！ランドセルの選び方 ラン活講座	区民ひろば (清和第一、豊成)	西武
7	H29.7.7	ライトダウンキャンペーン (7.7 七夕に空を飾り上げよう)	西武池袋本店 (2階)	西武
8	H29.7.23	キッズスマイルの写真的撮り方のセミナー	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
9	H29.8.12・13	TOBU de あそびシリーズ～スタンプでこどものまをくろう～	東武百貨店 (2階)	東武
10	H29.8.13	天気を学ぶイベント「夏で空を見上げよう」	西武池袋本店 (2階)	西武
11	H29.8.13	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
12	H29.8.13	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
13	H29.8.15	夏休みの過ごし方にもおすすめ！生きものの保ちと花の観賞	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
14	H29.8.19	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
15	H29.9.20	オンラインベビーのリズム・ムービング	センタースクエア	西武
16	H29.9.9	親子で楽しむ読書の楽しみ	東武百貨店 (ベビー体験室)	東武
17	H29.9.28	ツクモル by Toshima 紙芝居①	サンシャインシティ (12階 キッチンスタジオ)	サンシャインシティ
18	H29.10.2	最先エレクトロニクスのデザインの企画展	ルミネ池袋	ルミネ
19	H29.10.5	女性の健康意識を高めるイベント	ルミネ池袋 (6階)	ルミネ
20	H29.10.8	TOBU de あそびシリーズ～おはなさいのまをくろう～	東武百貨店	東武
21	H29.10.10	東武百貨店池袋店のシェフ・フィッターによる子どもの定食相談	東武子ども家庭支援センター	東武
22	H29.10.11	サンシャイン展望台ヨガ 区民健康館	サンシャインシティ	サンシャインシティ

NO	実施日	イベント・企画名	場所	相手方
21	H29.10.10	東武百貨店池袋店のシェフ・フィッターによる子どもの定食相談	東武子ども家庭支援センター	東武
22	H29.10.11	サンシャイン展望台ヨガ 区民健康館	サンシャインシティ	サンシャインシティ
23	H29.10.14	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
24	H29.10.21・22	ツクモル by Toshima 紙芝居②③	サンシャインシティ (12階 キッチンスタジオ)	サンシャインシティ
25	H29.10.26・27	西武池袋本店のサンパティオへ来よう	西武池袋本店	西武
26	H29.11.10・11	入園・転園・延長保育のしおり 配布	区民ひろば (清和第一、豊成)	西武・東武
27	H29.11.6	豊成区の保育コンシェルジュによる「はじめての保育園」	区民ひろば (池袋南町、豊成町)	西武
28	H29.11.21・22	足寄 ～はじめての読書～	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
29	H29.12.16	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
30	H29.12.17	Hinode MORNING MARKET	日出町第二公園	良品計画
31	H30.1.17	サンシャイン展望台ヨガ 区民健康館	サンシャインシティ	サンシャインシティ
32	H30.1.23	(メディア連携) まちの小さな公園に出現！新旧世代が自然とつながる「オール地元」の福マルシェ	ローカルニッポン	良品計画
33	H30.1.26	大人向けの歩き方講座	区民ひろば南大塚	西武
34	H30.2.17	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
35	H30.3.5	サンシャイン水鏡祭ヨガ 区民健康館	サンシャインシティ	サンシャインシティ
36	H30.3.5・6	最先エレクトロニクスのデザインの企画展 (第2期)	ルミネ池袋	ルミネ
37	H30.3.14	サンシャイン水鏡祭ヨガ 区民健康館	サンシャインシティ	サンシャインシティ
38	H30.3.19	時短＆キレイでママ応援！育児体験セミナー	池袋コミュニティ・カレッジ	西武
39	H30.3.24・25	TOBU de あそびシリーズ～ちびっこタウンをつくってあそぼう～	東武百貨店	東武
40	H30.3.24	子育ての拠点	東武百貨店	東武
41	H30.3.26	入学準備！ランドセルの選び方 ラン活講座	区民ひろば (豊成)	西武

21

FFパートナーシップ協定 実績 (2018年度)



NO	実施日	イベント・企画名	場所	相手方
1	H30.4.1	Hinode MORNING MARKET	日出町第二公園	良品計画
2	H30.4.21	入学準備！ランドセルの選び方 ラン活講座	区民ひろば (清和第一、豊成)	西武
3	H30.4.21	日本フィルハーモニー交響楽団 ワークショップ＆演奏会	西武池袋本店 (7階 キッチンスタジオ)	西武
4	H30.4.21	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
5	H30.4.25	ISP MUSIC LIVE	ISP	ISP
6	H30.4.29	TOBU de あそびシリーズ～プレバークがやってきます！～	東武百貨店	東武
7	H30.5.17	最先エレクトロニクスのデザインの企画展	ルミネ池袋	ルミネ
8	H30.5.26	図書館司書のわくわくおはなし会	西武池袋本店 (2階)	西武
9	H30.6.11	(メディア連携) 「暮らし×自然」コラムVol.1 花見の楽しみ、今号も「地味な楽しみ」	としまscope	良品計画
10	H30.6.13	一冊の絵本で見る！「おはなさい」の読み聞かせ講座	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
11	H30.6.16	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
12	H30.7.22	Hinode MORNING MARKET	日出町第二公園	良品計画
13	H30.7.24	一冊の絵本で見る！「おはなさい」の読み聞かせ講座	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
14	H30.8.4	東京音楽学校 東武池袋本店音楽教室	西武池袋本店 (7階 キッチンスタジオ)	西武
15	H30.8.8	サンシャイン水鏡祭ヨガ 区民健康館	サンシャインシティ	サンシャインシティ
16	H30.8.9	(メディア連携) 「暮らし×自然」コラムVol.2 読者の声も聞きたい「読者の声」	としまscope	良品計画
17	H30.8.10	読者の声も聞きたい「読者の声」	西武池袋本店 (7階 キッチンスタジオ)	西武
18	H30.8.12	ISP MUSIC LIVE	ISP	ISP
19	H30.8.18	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
20	H30.8.19	おうちで楽しむ読書の楽しみ	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
21	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
22	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
23	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
24	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
25	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
26	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
27	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
28	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
29	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
30	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
31	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
32	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
33	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
34	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
35	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
36	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
37	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
38	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
39	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
40	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
41	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
42	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
43	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
44	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
45	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
46	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
47	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
48	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
49	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
50	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
51	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
52	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
53	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
54	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
55	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
56	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
57	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
58	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
59	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
60	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
61	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
62	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
63	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
64	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
65	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
66	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
67	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
68	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
69	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
70	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
71	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
72	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
73	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
74	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
75	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
76	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
77	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
78	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
79	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
80	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
81	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
82	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
83	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
84	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
85	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
86	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
87	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
88	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
89	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
90	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
91	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
92	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
93	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
94	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
95	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
96	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
97	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
98	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
99	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
100	H30.8.24	天気を学ぶイベント「夏の国語」	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武

22

FFパートナーシップ協定 実績 (2019年度、全体)



NO	企画名	イベント・企画名	場所	相手方
1	H31.4.17	尾道地区NIGHT 区民祭	サンシャインシティ	区民祭実行委員会
2	H31.4.20	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
3	H31.5.4~7	サクラフェスティバル ISFチャレンジ大会	ISF	ISF
4	R1.5.22	天竺のNIGHT 区民祭	サンシャインシティ	区民祭実行委員会
5	R1.5.25	区民祭のわくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階)	西武
6	R1.5.25	TOBU de あそびシリーズ「プレーパークがやってくる!」～自由に「遊び」を満喫しよう!～	東武百貨店	東武
7	R1.6.22	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
8	R1.6.25	(メディア連携)「暮らしX音楽」コラムvol.5 音楽が多くなる時空、音楽の街の未来は?	としまscope	区民祭実行委員会
9	R1.7.10	(メディア連携)「暮らしX音楽」コラムvol.6「くもり晴れ」&「くもり雨」の未来は?	としまscope	区民祭実行委員会
10	R1.7.19	女性の健康増進リミネ池袋店	ルミネ池袋 (6階)	ルミネ
11	R1.7.27, 28	TOBU de あそびシリーズ 水と土と空のあそび	東武百貨店	東武
12	R1.7.31	としまアート夏まつり2019 レトロ建築で楽しむ上映会「アニメーション・トラベラー」	自由学園明日館	区民祭実行委員会
13	R1.7.31	てづくりラボ/あそびパーク	自由学園明日館	区民祭実行委員会
14	R1.8.7	ISF MUSIC LIVE	ISF	ISF
15	R1.8.24	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
16	R1.8.24	ISF /C/音楽	ISF ボンパドール	ISF
17	R1.9.21	TOBU de あそびシリーズ 区民祭のあそびイベント	東武百貨店	東武
18	R1.9.22	このほしでひとほしをのぞく (気象予報 協力)	東武池袋本店	区民祭実行委員会
19	R1.10.21	食糧の大切にする心を育む「フードロス削減プロジェクト」	東武池袋本店 (6階 キッチンスタジオ)	西武
20	R1.10.19	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
21	R1.10.26	西武池袋本店のわくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階)	西武
22	R1.11.10	大田区 いちふくろ絵巻 (気象予報 協力)	Parco池袋	区民祭実行委員会
23	R1.11.14	尾道～はじめての絵巻～	区民祭実行委員会	西武
24	R1.11.25~30	区民祭Week	友の会、区民ひろば網走	区民祭実行委員会
25	R1.12.20	女性の健康増進リミネ池袋店「わたしらしく、暮らしをまもる」	ルミネ池袋 (6階)	ルミネ
26	R1.12.11	池袋区民祭 食育講座会/西武池袋本店 プレミアムセッション お楽しみ相談会	西武池袋本店 (6階 キッチンスタジオ)	西武
27	R1.12.21	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武
28	R2.1.10	区民祭実行委員会/西武池袋本店 クレーム対応研修	区民祭実行委員会	西武
29	R2.1.10	はあとの木マルシェのISF	ISF	ISF
30	R2.1.11~14	サクラフェスティバル ISFチャレンジ大会	ISF	ISF
31	R2.2.15	わくわくおはなし会	西武池袋本店 (6階 子どもフロア)	西武

2019年度の実績

連携企画：31企画

延参加人数：3,048名

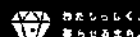
これまでの実績

連携企画：125企画

延参加人数：9,738名

	2015年度	2017年度	2018年度	2019年度	合計
連携企画数	2	41	51	31	125 企画
延参加人数	139	2,591	3,960	3,048	9,738 人

としまぐらし会議プロジェクト ～多様な公民連携の推進～



■概要

「わたしらしく、暮らしをまもる。」をテーマに、区民・企業・学生・行政、さまざまな層が垣根を越えて一堂に集まり、全4回のフューチャーセッション型ワークショップを通じ、本区の将来像について話し合い、自らが地域課題解決のためのアクションプランを生み出していく。

■参加メンバー

- ・公募による豊島区在住者36名 (年齢層：10～60代、男女比約3：7)
- ・協力企業・大学からの参加10名
- ・区職員10名の計56名

■開催日

- 第1回：2017年11月14日
- 第2回：2017年12月16日
- 第3回：2018年1月20日
- 第4回：2018年2月4日



■企業等の協力・協賛 (※五十音順)

協力：株式会社エクストリーム/西武池袋本店/西武鉄道株式会社/大正大学/株式会社 東武百貨店/一般財団法人 日本気象協会/株式会社フロンティアワークス (アニメイトグループ)/株式会社 良品計画
協賛：佐久間製菓株式会社/株式会社 東八ト
会場協力：金剛院/自由学園明日館/Ryozan Park





みそのわ

まちのえがながまれるテーブル

「おしゃべりしながら
「ほぐれあふなるまち。」



としまで子育て

いろいろな子育てのスタイルを
みんなで楽しもう

「いろいろな子育てのスタイルを
みんなで楽しもう。」



池ブルックリンプロジェクト

「歩幅は受け入れるまち。」



としまっこ

育成る環境プロジェクト

「おしゃべりしながら
「大団なまち。」



池袋あちこちオーケストラ

日常アートカルチャー都市

「おしゃべりしながら
「わくわくするまち。」

「としまぐらし会議」から誕生した
10のプロジェクト

「わたしらしく、暮らしをまもる。」づくりビジョン

最新情報はコチラ
「としまぐらし会議」
特設ページへ



未来と絆を紡ぐとしまイベント

「おしゃべりしながら
「ほぐれあふなるまち。」



豊緑公園

「おしゃべりしながら
「ほぐれあふなるまち。」



ときをかけるとしま

「おしゃべりしながら
「ほぐれあふなるまち。」



か・ま・く・ら

「おしゃべりしながら
「ほぐれあふなるまち。」



池袋周辺の食や文化を発信する
「池ブルックリン プロジェクト」
クラウドファンディングにより、フリーペーパーを
発行するなど、豊島区の面白い人・モノ・食を発信



子育ての孤立を防げるよう、情報を発信する
「としまで子育て」
Facebookを活用し、子育てイベントなど、子育てを
楽しみたい人への情報を発信



多世代交流の場をつくる
「みそのわ」
みそづくり、物々交換会など、人と人が触れ合
う「お互いさま」な関係を築くイベントを開催



遊休地を活用し、土に飽れ、交流の場とする
「豊緑公園」

東池袋事業用地を活用し、プランターで野菜を栽培。
カフェがれあいにも、収穫野菜を一部提供



まちに根付く
「日常」アートカルチャーを作る
「池袋あちこちオーケストラ」
誰でも参加できる手拍子と足踏みと声を使ったまちなか
パフォーマンス「手拍子足踏み楽団」を公園などで開催



■概要

としまぐらし会議により誕生した10のプロジェクトをより推進させていくため、サポーター(※)を広く集めるための場づくりや講座を開催するとともに、新たな担い手の創出・育成を行う。

※サポーター

- ① イベントやプロジェクトメンバーとして参加する
- ② 情報をシェアしたり、活動の場を提供するなど、支援する
- ③ 人を紹介したり、連携するなど、輪をつなげる



■開催状況

- ・ としまぐらし会議プロジェクト トークサロン
 - 【1回目】「自分たちの手で、まちをつくる」
2018年8月2日開催、45人参加
 - 【2回目】「プロジェクトのすすめかた」
2018年11月14日開催、38人参加
- ・ としまぐらし会議プロジェクト 個別相談会
2018年11月20日開催、1チーム(3人)参加
- ・ プロジェクトのひろめかた講座
「プレスリリースのつくりかた・
SNSのつかいかた・イベントのつくりかた」
2018年12月15日開催、41人参加
- ・ 1DAYとしまぐらしミニ会議
2019年3月3日開催、20人参加



27

■概要

「わたしからはじめる」種を育てるとして、自分がこのまちでやってみたいことを「形」にしていく。

「わたしらしく」
を見つめる

>

わたしの
やってみたいを
考える

>

作戦会議

>

「まち」で
やってみる



■開催状況

- ・ としまぐらし会議
 - 【1回目】「わたしからはじめる」
2019年10月15日開催、21人参加
 - 【2回目】「やってみたいを形にする」
2020年1月11日開催、27人参加

- ※新型コロナウイルスの影響により、開催中止
- 【3回目】みんなで作戦会議 ～前に進める～
- 【4回目】お披露目会(ひろげてみる)



28

Road to「わたしらしく、暮らせるまち。」



29

としまパブリックトイレプロジェクト・トイレアートプロジェクト

■概要

「トイレ」は街の顔でもあり、2020年に向け、従来の「公衆便所」のイメージを刷新し、住民サービス向上、おもてなし品質の向上を図る。

■としまパブリックトイレマップ

公衆トイレや区内145のコンビニ店舗など、利用できるトイレのマップを作成。



■トイレアートデザイン

区内の公園トイレを3年で85か所改修するにあたり、メンテナンス重視の仕様を変更し、地域特性を活かした外装や若手アーティストとのコラボや住民参加によるアートトイレを進める。



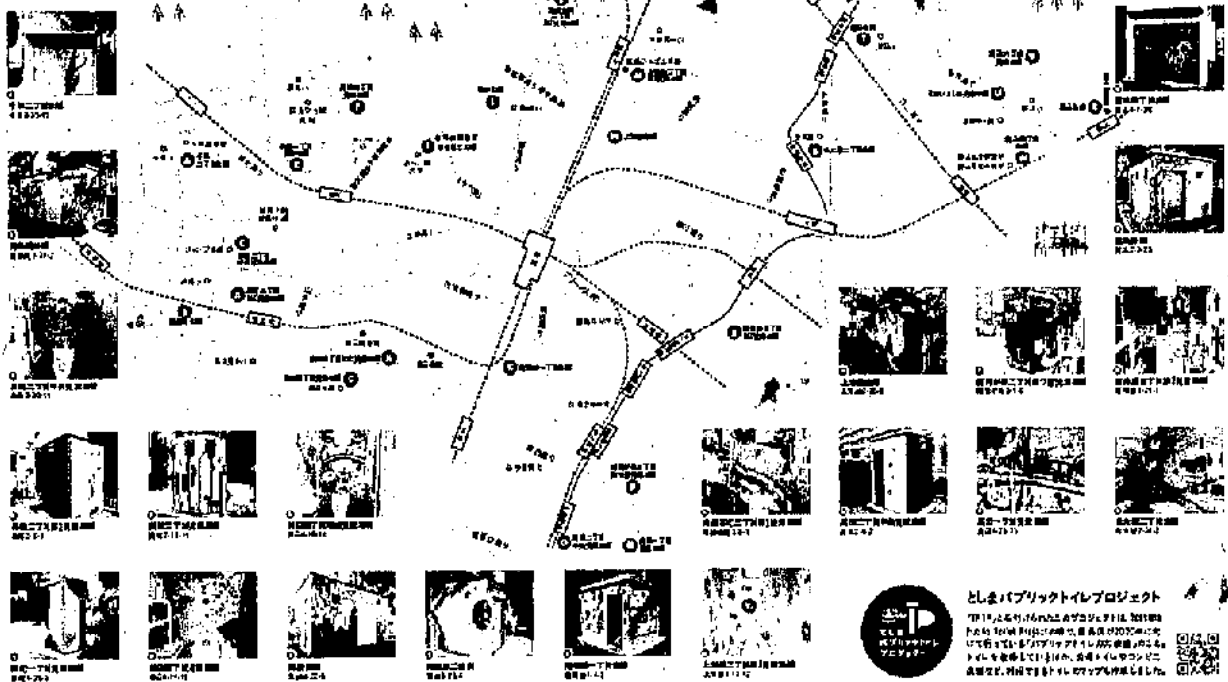
TIP TIP としまパブリックトイレプロジェクト
Toshima Public Toilet Project



30

わたしのまちの アートトイレMAP

市内の公設トイレを調査すると、1,173カ所、1,670箇所、アートトイレの
設置が可能なところがあり、現在までに21のトイレが完成しました。



としまバブリックトイレプロジェクト

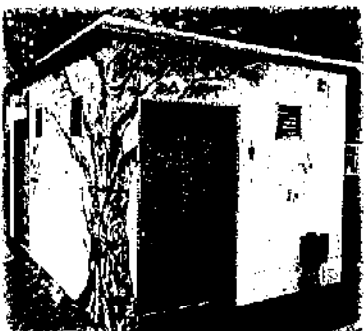
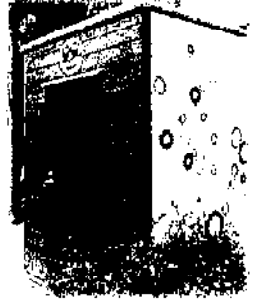
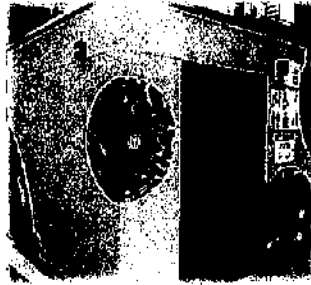
「としまバブリックトイレプロジェクト」は、2018年
から、としまの各駅周辺に、アートトイレを設置し、
市民の生活に貢献することを目的として、現在までに
21のトイレが完成しました。

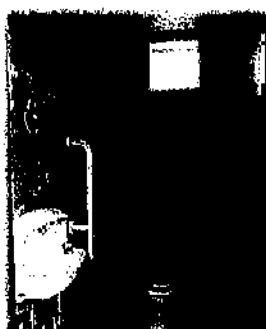
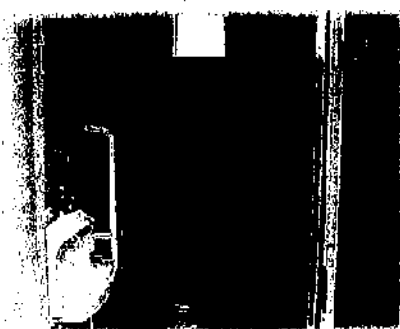


アートトイレ（実績）



4	南長崎公園、池袋公園、南池袋 一丁目公園、朝日公園	5	千早二丁目公園、上池袋公 園、池袋第二公園、長崎二丁 目第2児童遊園、高田二丁目 中央児童遊園	1	駒込公園	10
3	豊町一丁目児童遊園、雑司が谷 二丁目四つ家児童遊園、高松二 丁目児童遊園	1	駒込四丁目公園			4
4	目白四丁目旭出児童遊園、高 田一丁目児童遊園、池袋本町 三丁目第2児童遊園、長崎二丁 目中央児童遊園	5	駒込六丁目児童遊園、上池袋 三丁目第3児童遊園、目白西丁 目児童遊園、そめいばしの児童遊 園、東池袋五丁目第2児童遊園	1	北大塚二丁目公園	10
11		11		2		24





FFパートナーシップ協定

協定締結数 **10** 団体

H28:1団体、H29:4団体、H30:5団体

イベント等
企画数 **123** 企画

H28:2企画、H29:41企画、
H30:51企画、R1（1月現在）:29企画

イベント等
延参加者数 **9,356** 人

H28:139人、H29:2,591人、
H30:3,960人、R1（1月現在）:2,656人

としまぐらし会議プロジェクト

延参加者数 **387** 人

H29:192人、H30:147人、R1（1月現在）:48人

今年度
新規参加率 **43.7** %

参加者:48人、新規参加者:21人

としまscope

総ページビュー数 **245,546** 件

H28:32,763件、H29:64,721件、
H30:81,540件、R1（1月現在）:66,522件

総セッション数 **106,027** 件

H28:12,586件、H29:25,948件、
H30:36,510件、R1（1月現在）:30,983件

30年度平均
滞在時間 **1分47** 秒

新規:1分11秒、リピーター:3分13秒

自分らしい暮らし方・
働き方の紹介 **183** 件

インタビュー・記事件数

月間平均
ページビュー数 **6,296** 件

H28:6,553件、H29:5,393件、
H30:6,795件、R1（1月現在）:6,652件

月間平均
セッション数 **2,719** 件

H28:2,517件、H29:2,162件、
H30:3,043件、R1（1月現在）:3,098件

今年度
新規ユーザー割合 **85.1** %

R1、1月現在

Facebookでの
賛同者数 **1,909** 人

Facebook「いいね!」数（R1、1月現在）

中小規模公園活用プロジェクト

■概要

区内に点在する小規模公園を活用し、地域コミュニティの場や地域課題解決の場に再生していくプロジェクト

■背景

【子育てニーズの変化】

- ・遊びの多様化
- ・保育園の園庭として公園を利用

【地域ニーズの変化】

- ・地域コミュニティの希薄化
- ・町会の高齢化、担い手不足
- ・新しい地域の担い手の芽、台頭

区内に数多く点在する小規模公園
の多くが十分に活用されていない
とともに、禁止事項が多い



愛着のある暮らしを
地域住民とともにつくる

公園を地域にひらき、地域と共に
コミュニティの場に育てる

〇〇できない公園

〇〇できる公園をみんなで考える



HINODE MARKET (日出町第二公園)

■目的

旧来からの住民・商店会と大規模マンション住民など比較
的新しい住民との交流
(地域コミュニティの形成)

『都会の“小さな公園”を楽しむ実験、はじめます。』

昔から住んでいる人も、新しく住み始めた人も、一緒に。』



before



after

地域住民で楽しむため、近隣
商店街などからコンテンツを
出店し開催

公園で多世代交流しよう！

【おしゃべりカフェ＆紙芝居】(池袋本町三丁目第2児童遊園)

■目的

- ・区民ひろば利用者と子どもたちの多世代交流
- ・ひろば利用者の新規開拓



区民ひろばで開催され
ている「おしゃべりカ
フェ」を公園で展開。
昔遊びコーナーを設け、
ひろば利用者と園児の
交流を図る。



39

公園をおおぞら美術館にしよう！

【おおぞら美術館】(長崎二丁目中央児童遊園)

■目的

地域住民の制作や発表の場



- ・ジャンプ長崎利用者の
作品展示
- ・園児の粘土アート制作
保育士より、園児の
違った一面や集中力に
驚いたという感想あり。



東池袋公園をみんなで育てよう！(東池袋公園)

■目的

〇〇できない公園

〇〇できる公園を
みんなで考える



井戸端かいぎ

「ともに育つ公園」への
第一歩として、近隣の商
店・学生・住民と一緒に
公園のありかたを考える
場をつくる

「公園でどう過ごしたい？」 投票

公園で何ができたら、どんな
場所になったらわくわくする
か、公園利用者による投票を
実施



※良品計画・区による共同企画・運営

40

■公園実態調査（株式会社コトラボとの協定による）

【対象公園】

公園86カ所、区民の森2カ所、児童遊園66カ所、仮児童遊園8カ所、その他1カ所、日本庭園1カ所（計164カ所）

【調査項目】

遊具、ファニチャー、その他設備、公園の状態、公園出入口、公園外周、利用状況、周辺環境

■調査結果に基づく評価およびモデル公園の選定

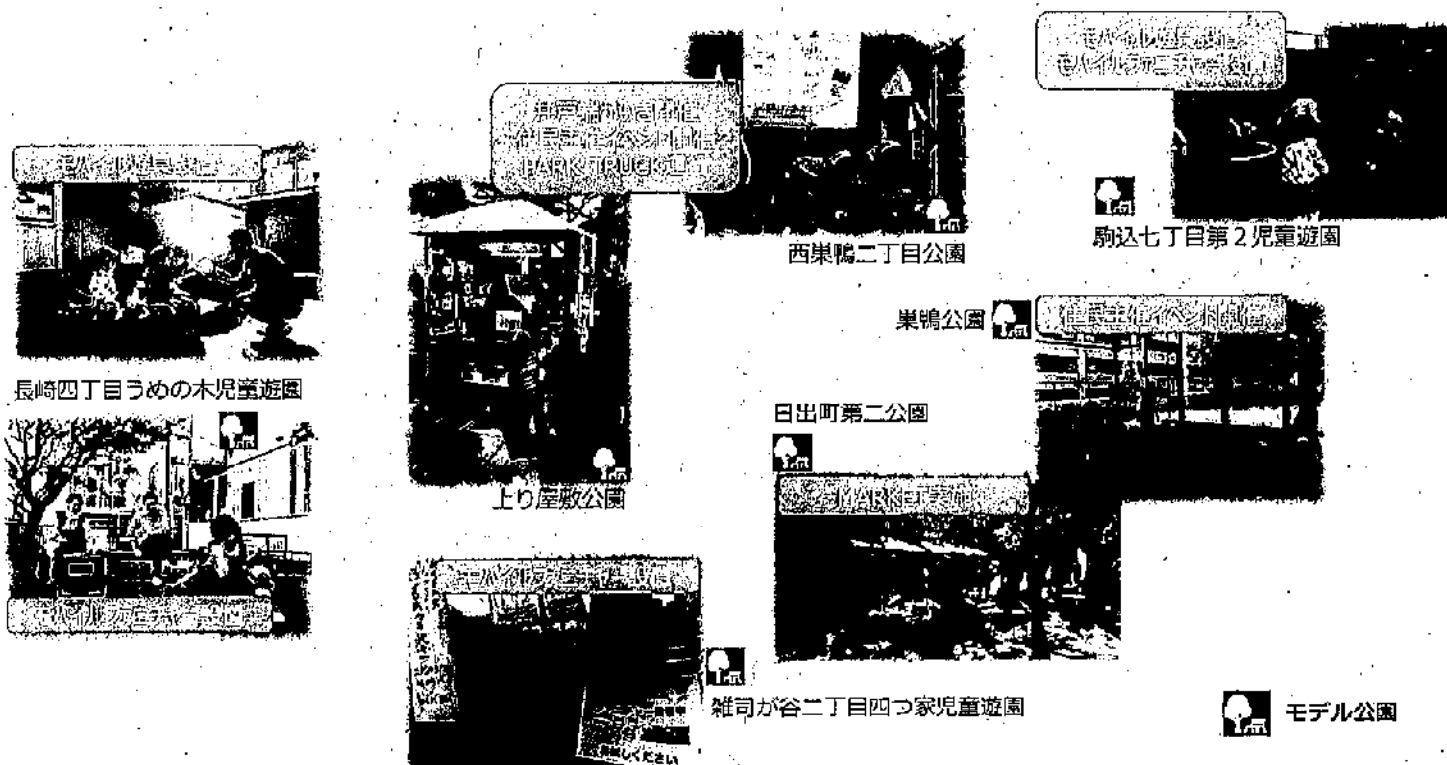
【モデル公園選定方法】

活用に影響すると想定される評価項目を設定、点数化を行い、モデル公園を選定

【評価項目】

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 地域課題の有無（新旧住民の分断コミュニティなど） | 8. 商店街等周辺店舗 |
| 2. 子どもの利用状況・園庭利用状況 | 9. 花壇・土・植栽の状況 |
| 3. 近隣施設（保育園・小学校） | 10. ベンチの設置状況 |
| 4. 近隣施設（区民ひろば等地域施設） | 11. 遊具の設置状況（有無・種類） |
| 5. 区画整理・都市計画道路の整備状況 | 12. 土地面積 |
| 6. 地域の担い手（既存/新規） | 13. トイレ（アート）状態 |
| 7. 近隣施設（スーパー・コンビニ） | |

中小規模公園活用プロジェクト モデル公園一覧



ともに育つ公園。

豊島区に点在するたくさんの小さな公園。

公園がどんな場所だったら、なにができれば、わくわくするでしょうか。

みんなの暮らしのなかにある公園をもっと使いやすく、もっと過ごしやすい。

みんなで考え、育てていく。そんな公園づくりが始まります。

愛着のある暮らしを 地域住民とともにつくる

公園を地域にひらき、地域と共にコミュニティの場に育てる

〇〇できない公園



〇〇できる公園をみんなで考える

あるものを活かす

最小限のハード整備（ハードを作りこみすぎない）

+

ソフトが重要（育てる公園）

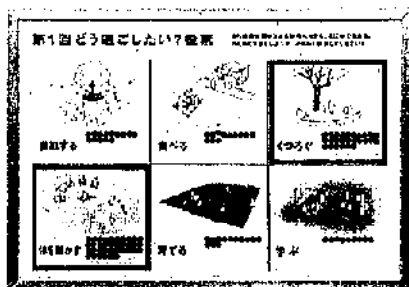
1. 公園の特性と立地を活かし、地域のための場になるように見直す
2. 今あるものを活かし、できることを見出す
3. 活用の実践と実験をくりかえす

ともに育つ公園。

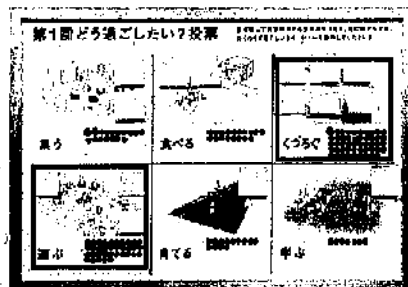
豊島区に点在するたくさんの小さな公園
公園がどんな場所だったら、なにができれば
わくわくするでしょうか
みんなの暮らしのなかにある公園をも
っと使いやすく、もっと過ごしやすい
みんなで考え、育てていく
そんな公園づくりが始まります

43

『「公園をみんなで育てよう」井戸端かいぎ』や『「公園でどう過ごしたい？」投票』の結果を、公園の活用コンセプトに反映。

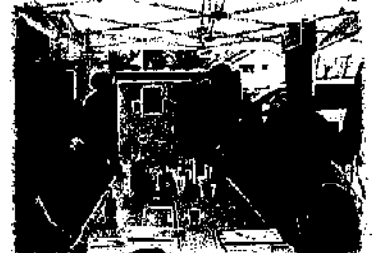


上り屋敷公園



西巢鴨二丁目公園

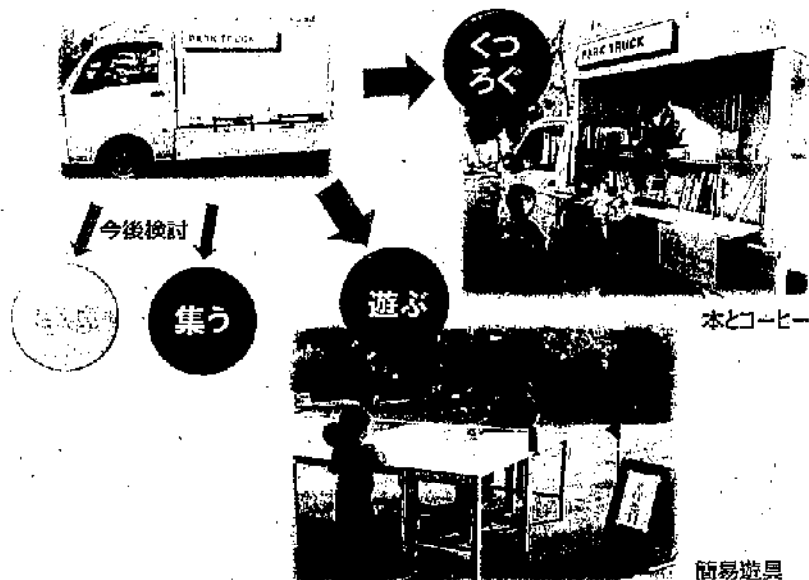
- いつでもだれでも、のんびり休める、くつろげる場にする
- 日常利用と非日常利用を両立させ、整備しすぎず、余白を残す（今ある物を活かす）。



44

公園を楽しむ車、PARK TRUCK(パークトラック)

“日常”利用と“非日常”利用を両立させるため、ハード整備を少なくし、移動式ツール(可動のもの)を活用。



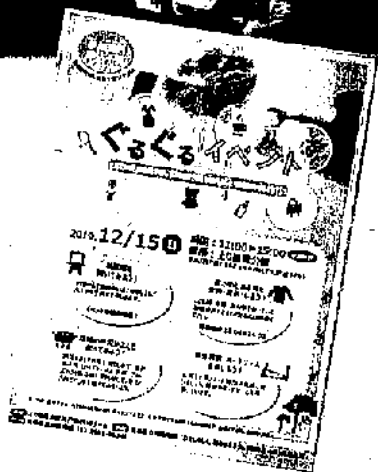
〇〇できる公園へ

。禁止でなく、できるを伝える



井戸端かいぎなどを行い、地域の意見を取り入れ、今あるものを活かし、最小限のハード整備を行う。





暮らしの中にある小さな公園の活用

- 地域住民と地域特性を活かした活用方法を検討・実践〔社会・環境〕
- 企業と連携し、その強みを生かして、モデル公園を区内全域へ拡大〔社会・経済〕



地域とともに。「ともに育つ公園」を区内全域へ

豊島区では園庭のない保育園が約8割
小さな公園は園児たちの遊びの場

■ 地域住民とともに活用方法を検討・実施

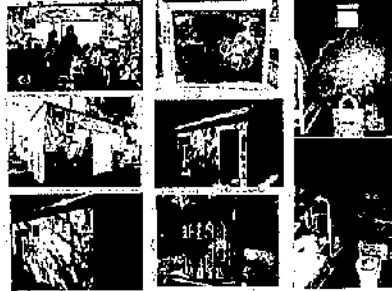
〇〇できない公園から〇〇できる公園へ



公園をみんなで育てよう
井戸端がいき



花壇づくりワークショップ



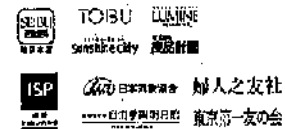
みんなでつくる アートトレ

■ 移動式ツールの活用

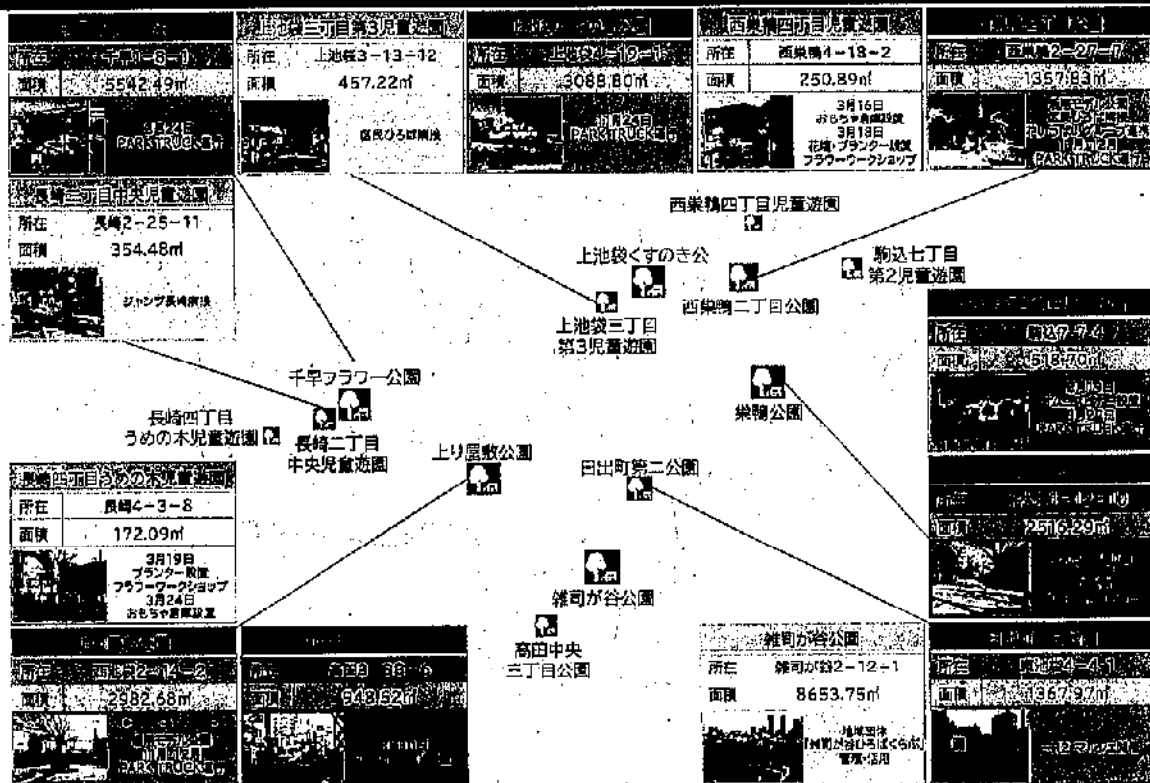


飲食販売兼本棚等を搭載したトラック

■ 企業との連携 (FFパートナーシップ協定)



令和2年度 中小規模公園活用プロジェクト



公園のニーズ調査 公園管理手法の提案

豊島区は公園を核としたまちづくりを進めており、暮らしの中にある身近な中小規模公園の活用を行ってきたところで、「SDGs未来都市」のモデル事業都市に選出された。これにより、区内の中小規模公園の地域特性を生かした活用方法について検討を行っている。

検討には元公園行政職員が担当を務める一般社団法人クレドルへ依頼し、令和2年度は職員向けのヒアリングや講習会から各種地域団体等へのヒアリングを実施、公園管理や活動主体の現状を把握した。

また、豊島区に位置し、地域活性化の試みを行っている大正大学の地域創成学専攻とカリキュラムでの連携を図り、共同でヒアリングを実施した。

- ・区職員を対象としたヒアリングと公園活用講習会を実施
ヒアリング、講習会ともに公園緑地等職員や意欲のある職員が参加した。講習会には大正大学の学生も参加し、公園調査に向けた知識を高めた。



職員ヒアリングの様子
各回30分、2～4名にて計30人



講習会の様子
大正大学の学生も参加した

・各種地域団体等44団体へヒアリング実施



公園は大正大学とヒアリング調査

対象団体・	団体数	主なヒアリング団体
企業団体	10	公園団体、高齢者クラブ
NPO法人	7	福祉施設、プレイパーク
保育園・学校	6	民間保育園、専門学校
民間事業者	10	社会福祉法人、自由学園
一般利用者	8	区施設利用者
区職員	1	区施設利用

主な対象団体とヒアリング実施

大学との連携 地域団体との連携

区内の活動主体を対象に区内の公園・児童遊園の利用状況、利用ニーズの把握と活用検討のためのヒアリングを実施。数回の設計、集計分析を行った。現地調査から豊島区の中小規模公園の現状を把握、他自治体の先進事例や豊島区公園行政での既存事業の検証を経て、豊島区モデルとしての管理運営指針案を確立する。

・大正大学にて調査報告会開催

ヒアリングと独自のニーズ調査の結果を合わせて、調査報告会を行った。P-PFIや指定管理委託制度の検証や都市計画論を交えての地域の街並みやアメリカ・ポートランドの土地利用の姿を検証、公民連携の手法を考察し、実際に自ら音楽のイベントを企画する等、コミュニティの活性化について引き続き検証していく。



大正大学にて調査報告会
ディスカッションの様子

・令和3年4月よりモデル活用団体との管理手法の検証

令和3年度は区職員ヒアリングや地域団体へのヒアリングを基とし、将来的な豊島区の公園・児童遊園の活用と管理を見越しての条例の見直しや、占用許可関係等について検討を行っていく。

また、特に活用主体としてモデルとなる団体と連携を図ることで公園活用および管理手法について検証していく。



区職員が各公園
利用が各団体を調査した連携を継続



大正大学と連携した児童遊園
区施設である区民ひろばとの連携

ソフトコンテンツを活用した 発展的なプログラムの検証

11月より「PARK TRUCK」を再開、軽トラ仕様のキッチンカーを様々なプログラムの提供を図るトータルステーションとして運行させる。
なお、今年度途中より臨時出店での開催から5年間の営業許可へと切り替えている

メニュー提供



コロナウイルス感染症の対策から給小営業をするも大正大学プロデュースのカフェやチャイの振興は実現。

屋台での野菜の販売



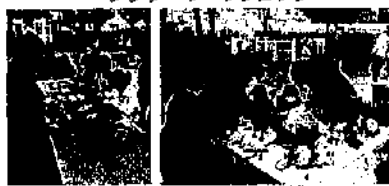
屋台にて販売した野菜を販売
ホウレンソウ、きゅうり、ニンジン等
多くの方が購入したと好評

憩いの空間の提供



テントなどのファニチャー類の他、人工芝やゴザなどをプログラムと合わせて提供している。

フラワーワークショップ



フラワーリストによるワークショップ。
木工用の材料は園内の落ち葉や枝葉を使うことも。
12月はクリスマスをテーマにリースづくりを行った。

「PARK TRUCK」の定期運用

遊び道具の貸し出し



公園に置くことが難しい小物道具やスポーツ用品を軽トラに積み込むことにより各公園へと運搬する。現在はキッチンカー仕様車両に収納している。
車庫は「PARK TRUCK」を代表するスポンサーとなった。

絵本・紙芝居の貸し出し



豊島区立中央図書館にて司書さんが「PARK TRUCK」向けの絵本や紙芝居をセレクト、月に一回の運行で季節に合わせた本を取り揃える。

子どもたちのお兄さんお姉さん



メニューやプログラムを提供しつつ、子どもたちと卓球やボール遊びを楽しんでも大人気の絵本プレイヤー

モバイル遊具・フラスター おもちゃ倉庫の導入

モバイル遊具の実証実験

豊島区の公園・児童遊園は小規模の施設が多く、大型の遊具の設置は地域のひろばとしての機能を損ねる等の問題がある。モバイル遊具は「移動が可能な遊具」であり、イベント時には片づけができるモノ、使うときに出し入れできるモノを想定している。

平成30年度よりモバイル遊具の実証実験を開始、小規模である駒込七丁目第2児童遊園で未就学児や小学校低学年を中心にご利用いただく。

令和元年度ではモバイル遊具の施設管理を検証。



駒込七丁目第2児童遊園でのモバイル遊具の施設管理の検証
現場のQRコードを読み取り、専用サイトを通じてダイヤル錠の
暗証番号を送付する仕組み。利用後は施設を戻してもらう。

実証実験時の様子



施設管理の検証の様子

利用後の施設管理の様子

園庭のない保育園との連携

園庭のない保育園を対象とした児童遊園での遊具倉庫実験

モバイル遊具として大型の遊具の検証を行ってきたが、運び止しや片付けに
労力を要する点がある。一方で小型のおもちゃ類は施設管理による取扱いを行
わなければ盗難や放擲等の問題が想定される。

そこで園内に施設管理が可能な「おもちゃ倉庫」を設置し、必要に応じて出し
入れを行うことができる仕組みを考案。まずは近隣で希望のある園庭のない保
育園を対象とし、倉庫を預けることにより、散歩時に園庭代わりにしておも
ちゃを使ってもらう仕組みを実証していき、その後は保育園だけでなく地元の子
育て世代に利用してもらえる仕組みについても検討を行う。



おもちゃには体育靴を持って竹馬やフラス
ター、縄跳び等を取り揃える。今後は利用され
る中でニーズや保守管理に合わせたおもちゃ
の導入や転換も検討する。



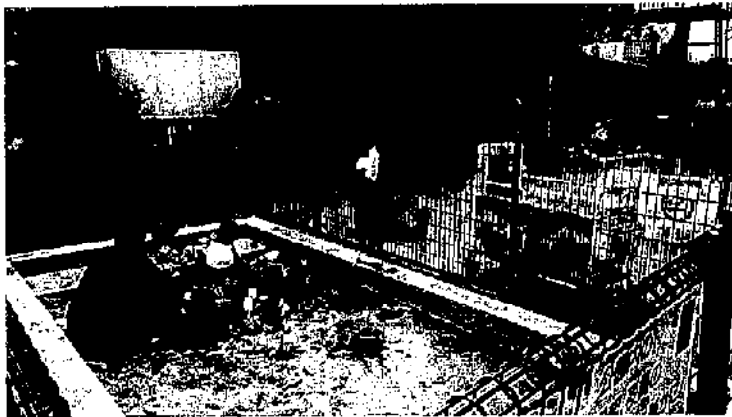
長崎四丁目うめの木児童遊園の倉庫



施設管理の検証の様子

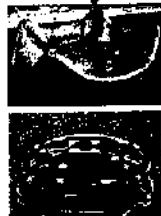


利用後の施設管理の様子



モバイル玩具・ファニチャー おもちゃ倉庫の導入

インクルーシブ・モバイル玩具



オムニスピナー

通常時(左)とイベント時(右)

令和2年度は新たなモバイル玩具としてインクルーシブ玩具でもある「オムニスピナー」の設置を検討。
「オムニスピナー」は回転式の玩具であるが、速度を抑制し、形状も低いため安全に遊ぶことが可能。基礎を固定することなく、自重で安定させることで通常時はモバイルファニチャーであるテーブルやベンチと共に園内に設置し、町会のお祭りの開催時には移動をすることで、大きな広場としての利用を図ることが可能である。
また、利用者の意見から設置位置の検討や、別公園への運搬も可能な点等、これまでの玩具とは異なる機能についても検証を図る。

・2月19日「オムニスピナー」設置

区内初となるモバイル玩具を常設設置。
3月27日にはファニチャーワークショップとともにモバイル玩具について、実際にオムニスピナーを試してもらいながらピアリングも行った。
回転式玩具はその危険性から数を大きく減らしている中で、安全にすることができるとの意見が多く、他の公園でも増やしてほしいという意見が多い。
(写真上は3月27日のワークショップにて)



駒込七丁目第2児童遊園

モバイルファニチャー

モバイル玩具であるオムニスピナーの設置と合わせて、2月19日にはモバイルファニチャーを設置する予定であったが非常事態宣言中であることから延期。重宝の解凍とワークショップおよびPARK TRUCKの運行と合わせることに。

・3月27日 ファニチャーワークショップ開催

天気にも恵まれ、桜が満開の中、陣を聞きつけて予想を上回る多くの利用者に過ごしていただく。既存のベンチ1基に加えて計10基の種類の異なるベンチとテーブルを持ち込んで「公園の座り場を考えるワークショップ」を開催した。



500m程の空き地に「オムニスピナー」「PARK TRUCK」「ファニチャー」が並ぶ

ワークショップでは以下の聞き取りを実施

- ①公園でどんな過ごし方をしたい？
- ②好きなベンチを選ぼう！
- ③西心地の良い場所に置いてみよう！

情報は写真と共に園内にすぐに掲示し、利用者と共有した。
今回の結果から駒込七丁目第2児童遊園に設置するファニチャーと置き方を提示。また、児童区の公園全体でファニチャーのニーズや配置方法の定着かりとなるように検証を進めていく。

(写真上:ベンチをテーブル代わりにランチ)
(写真下:聞き込んだ情報をすぐにボードへ)

コミュニティガーデン設置 フラワーワークショップ開催

西巣鴨二丁目公園

西巣鴨二丁目公園は(株)良品計画とのプロジェクトのモデル公園として令和元年度12月にリニューアルオープンを行った。利用者へのアンケートから皆が思い通りに楽しめるウッドデッキやツリーベンチを考案。既存の花壇に加え、「みんなの花だん」を新設。誰もが四季折々の草花を愛でることができるよう季節ごとにお花の植え替えを行っている。

西巣鴨二丁目公園リニューアルデザイン



季節ごとの植え替えの様子 (左:令和元年12月 中央:令和2年8月 右:令和2年12月)

フラワーワークショップ

西巣鴨二丁目公園に取り組んでいる「みんなの花だん」の考え方をモバイルコンテナの仕掛けに落とし込み、プランターやレイズドベッドといった置き型のアイテムを活用することを考案。狭い公園・児童遊園で地元住民や近隣保育園等との交流の場となるようフラワーワークショップの開催も進めて連携を開始した。



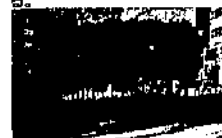
西巣鴨二丁目公園 巣鴨公園ほか

巣鴨公園におけるコミュニティガーデン整備

巣鴨公園では公園ワークショップの開催から町会や近隣企業、住民からなる考える会を結成。令和元年度には地域住民や地元企業が主体となって水遊びイベント等が開催された。令和2年度は公園ガーデンとして、草花や果樹の植え付けや半掘りワークショップ、食べるイベントを行えるコミュニティガーデンを設置する。



地元町会による焼き芋大会



園内にテッドスペースとなっていた植栽帯(低木と竹林)と隣接する倉庫跡地を合わせて果樹、花だん、そしてベンチを併設するコミュニティガーデンへ転換する設置を地元企業である(株)無印良品に依頼した。

・4月7日 草花の植え付け

東園設置後、5月にはサツマイモの植え付けを予定し、その後もサツマイモ掘りや焼き芋大会に向けたイベントの開催を想定している。

4月7日にはコミュニティガーデンとして、東園の一部と花壇スペースにマリーゴールド等の草花の植え付けを行った。植え付けには地元企業である(株)無印良品が主体となり、地元企業や近隣保育園等との交流の場となるようフラワーワークショップの開催も進めて連携を開始した。





その他の関係様式

行政視察結果報告書

行政視察結果報告書

令和6年10月28日

高島市議会議員長

廣本 昌久 様

会派名 真志会

会派代表者名 磯部 亜希

(高島市議会議員)

行政視察の結果について (報告)

行政視察の結果について下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和6年10月3～4日
- 2 視 察 先 岐阜県 郡上市立大和小学校
土岐市立濃南小学校
- 3 視察目的 小学校を統合して新設が行われた先進事例を調査し、これからのマキノ地域での小学校統合に生かすため
- 4 調査内容 別紙参照
- 5 参 加 者 磯部 亜希 澤本 長俊

真志会 会派視察報告書

令和6年10月3日～4日

1. 岐阜県郡上市立大和小学校 令和6年10月3日（木）

出席者：森藤 文男 議長

郡上市教育委員会 教育総務課 [REDACTED] 課長

[REDACTED] 教育施設係長 [REDACTED] 主任

（1）郡上市の教育について

郡上市では、進学にあたり市外へ転出する傾向にあり、また再び帰ってきた
いと思える 1 つのきっかけとして、ふるさとの良さを学ぶことを重要視してい
る。よって地域でさかんに行われている短歌作りやおどり、お囃子、かるた大
会など積極的に取り入れられている。また ICT にも積極的で、小中ともに AI ド
リル等、活用する機会がかなり多い。教育振興基本計画が今年度、最終年度で
あり、主体的に問題を解決していく力や子ども自身が学び取る、人としての学
び、主体的、対話的な深い学び、アクティブラーニングに取り組んでいる。

（2）大和小学校について

大和小学校は、大和西小学校、大和南小学校、大和北小学校、大和第一北小



学校の4校の統合により新設され、令和6年4月開校された。児童数が減少していくなか、学校規模適正化の第一歩として、複式学級の解消、クラス替えのできる学級編

成を検討された結果である。

整備においては、避難所としても利用できるように、防災に関わる設備もあった。防災備蓄倉庫やマンホールトイレ、太陽光パネルと蓄電池等である。また、エレベーターの設置もあった。管理・特別教室棟には、放課後児童クラブ活動の活動拠点「郡上市子育て活動拠点施設」や未就学児から高齢者まで集うことのできる「みんなの広場」も設置されてあった。

スクールバスについては、小中学校生が同乗できるようにルートや時間の検討がなされ、大型5台、中型4台となっている。

閉校式に関しては、4小学校で同時期に行われるため、その準備を各学校の学校運営協



議会正副会長が主体となって記念誌作成や記念事業の企画もなされた。

(3) 大和小学校開校への経緯

令和2年度 大和地域小学校統合準備委員会設立

委員会：整備計画の検討 整備事業：基本設計業務

令和3年度 委員会：部会の設置、校名募集、校名決定

整備事業：実施設計業務、プールの解体

令和4年度 委員会：部会編成、校章デザインの募集と決定

大和小学校校歌作成委員会編成

整備事業：屋内運動場建設、大和北小学校仮設校舎建設、

既設普通教室棟解体、普通教室棟建設開始

令和5年度 委員会：部会編成、バスルート確認、閉校記念イベント

創作オペレッタ上演

仮設校舎から引越（大和北小学校）、4校閉校式、3校から引越

整備事業：管理・特別棟改修、外構工事、大和北小学校屋内運動

場解体、校舎完成、仮設校舎解体開始

令和6年度 大和小学校開校

(4) 所見

今年度、開校したばかりの小学校の視察で、マキノ地域での新学校設立への

大きな流れをイメージすることができた。開校に至るまでの経緯や整備等、
数々の取り組みについて、今後の小学校新設に生かしていきたいと考える。

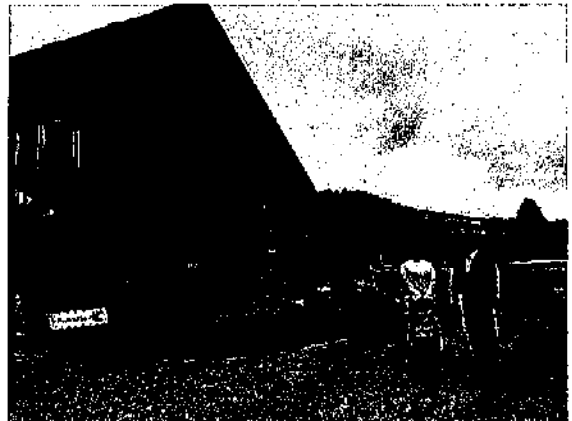
2. 岐阜県土岐市立濃南小学校 令和6年

10月4日(金)

出席者：後藤 正樹 副議長

土岐市教育委員会 [REDACTED] 事務局長

[REDACTED] 教育総務課長



土岐市立濃南小学校 土岐市立濃南中学校

[REDACTED] 校長 [REDACTED] 副校長

(1) 濃南小学校・中学校の一貫教育について

平成27年 鶴里小学校と曾木小学校が統合されて開校

濃南中学校の敷地を利用して新校舎を建設

従来通り小中学校に校長を配置し、小・中で連携した教育活動を

模索

令和元年 特認校制度スタート(令和6年には9人の児童)

令和2年 併設型小学校・中学校に

土岐市学校管理規則に小・中の一貫教育を明記し、校長も小・中学校兼務

令和3年 校長1 副校長1 教頭2（小・中各1）

中学校の職員室を小学校に一元化

小学校3年生以上を教科担任制に

小・中合同の学校行事の積極導入（入学式、運動会、音楽祭等）

令和4年 職員会、各種会議を小・中一元化

小学校1年生から教科担任制（9教科教科免許状の完全配置）

地域との運動会

令和5年 中学校でホームベース（ホームルーム）の設置（ここを拠点に教科教室へ移動する。朝の会、帰りの会はチーム担任で全校一緒に行う。）

空き教室を活用した教科教室

小学校4～6年、中学校のランチルーム

令和6年 小学校3年生以上の完全教科担任制

現在チーム担任により1人で抱え込まず職員同士で解決、対処



(2) 濃南小学校について

平成27年に開校されたが、平成30年には児童数71人であり、10年前と比較するとほぼ半減という状況であった。小規模特認校の開始

や小中一貫教育（併設型）の取り組みがなされている。

開校への経緯については、子どもの減少で複式学級となり、地元からの統合の要望があがったことから、その要望をもとに教育委員会による素案が作られる。土岐市立小中学校区審議会、地元説明会を経て、地元の方やPTA、支所長等でなる濃南小学校建設協力委員会が開催された。この委員会によって、地元主導で新設がスムーズに進行できた。

建設に関しては、鶴里小学校にあった学校林の活用もされ、木造建築である。

各学年の教室の前にはワークスペースがあり、窓は二重断熱構造となっている。さらに多目的棟もあり、全校一斉のランチルームとなるワークルームや図書コーナーが備えられている。活動について



は、鶴里小学校の伝統である花コンクールの出場、曾木小学校の伝統であるオペレッタ講演を継続できるように配慮がなされている。

(3) 旧小学校の校舎について

鶴里小学校については、地元の民間事業所へ土地、建物が売却されている。体育館が比較的新しく、校舎は耐震化されており、道路整備等を市が行った上で売却された。

曾木小学校については、未活用であり、取り壊し待ちとなっている。

(4) 所見

統合後もクラス替えのできない規模であった点や、中学校の敷地を利用しての新設等、今回進められるマキノ地域での統合との共通点が多いため、視察先を選んだ。開校から約10年を経ており、開校後の児童数の減少に対応されてきた点や、旧小学校がどうなったのかなど、深く学ぶことができた。さらに、新しい小学校が開校された後のことについても考えながら、建築の設計を検討する必要性を感じた。地元の方の思いや、これまでの各小学校での取り組みの継続、今後さらに進む少子化等、様々な観点から新設の小学校について私たちも一緒に考え、より良い小学校作りにつなげたいと考える。

「ようこそ 濃南小・中学校へ！」

「滋賀県高島市議会 真志会 行政視察」

1 日 時 令和6年10月4日（金） 10:00～12:00

2 場 所 濃南小・中学校 会議室

3 日 程

司会（議会事務局 ）

1 あいさつ

- ・土岐市議会 代表より （後藤 正樹 副議長）
- ・濃南小・中学校長より （ 校長）
- ・高島市議会 真志会より （磯部 亜希 様）

2 職員紹介

土岐市教育委員会 → 濃南小・中学校

3 概要説明

- ・学校説明 （ 副校長）
- ・統廃合について （ 事務局長心得）

4 施設見学（授業参観） 10:45～11:10

5 質疑応答 （進行 磯部 亜希 様）

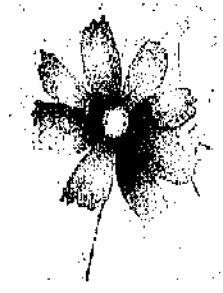
6 あいさつ

- ・高島市議会 真志会より （澤本 長俊 様）



高島市議会 真志会 行政視察 (授業参観計画)

授業参観 10:45～11:10

小学校	教科 (担当)	場所	中学校	教科 (担当)	場所
1年	体育 (中: ■■■)	グラウンド	1A	社会 (中: ■■■)	社会科教室
2年	体育 (中: ■■■)	グラウンド	2A	数学 (中: ■■■)	数学科教室
3年	算数 (小: ■■■)	3年教室	3A	国語 (中: ■■■)	国語科教室
たんぼぼ	生産 (小: ■■■)	たんぼぼ教室			
4年	道徳 (小: ■■■)	4年教室			
5年	道徳 (小: ■■■)	5年教室			
6年	道徳 (小: ■■■)	6年教室			

参観順 小3→小4→小5→小6→連絡通路→中2→中3→中1

濃南小学校・中学校の一貫教育の歩み

1 一貫教育取組の経緯

平成27年4月 濃南小学校開校(鶴里小・曾木小合併)

- 濃南中学校の敷地を利用しての新校舎
- 従来通り小、中学校に校長配置
- 小・中連携しての教育活動を模索(児童生徒の活動、教科指導等)

令和元年4月 特認校制度スタート

- 新1年生 1名受け入れ

令和2年4月 併設型小学校・中学校としてスタート

- 小・中学校兼務校長とする。
- 土岐市学校管理規則に明記

「(第6条の2) 土岐市立濃南小学校、土岐市立濃南中学校においては、小学校における教育と中学校における教育を一貫して施すため、小中一貫型小学校・中学校とし、教育委員会の定めるところにより、教育課程を編成するものとする。追加[令和2年教委規則3号]、一部改正[令和3年教委規則9号]

令和3年4月 一貫教育の推進を加速する人事配置、環境整備

- 校長1 副校長1 教頭2(小・中各1)
- 職員室の一元化(中学校の職員室を小学校職員室へ)
- 小学校3年生以上の教科担任制へ
- 小・中合同の学校行事の積極的導入(入学式、運動会、音楽祭等)

令和4年4月 一貫教育全体像の構築

- 一貫教育を進める四つの柱を中心とした教育活動の展開
- 職員会、各種会議、一人職(事務)の小・中一元化への取り組み
- 小学校1年生からの教科担任制(9教科教科免許状の完全配置)
- 地域との協働『のうなんふれあい運動会』の企画・運営・実施
- 土岐市教育委員会より指定書の授与(指定期日は遡って令和2年4月)

令和5年4月 小規模・少人数と一貫教育のマッチングの取組

- 中学校におけるホームベースの設置
- 空き教室を活用した教科教室
- 中学校チーム療育性
- 小学校4～6年、中学校のランテルーム
- 異学年学習集団で学ぶ「こぶしの時間」創設

令和6年4月 一貫教育の充実

- 小学校3年生以上の完全教科担任制へ

2 一貫教育は「いいことたくさん！！」

☆少人数から多人数へ

- 思いやりの気持ち、人をいたわる心等、多人数での活動が、目に見えない情意面のあたたかい環境となっている。
- 9学年の母体で、学校行事など一定の活動規模・人数を保って実施できる。(運動会、音楽祭等)
- 一貫教育の新しい取り組みは、地域の方からは、「わが町の学校」であることへの期待になっている。
- 特認校制度6年目、9人の児童がこの制度を利用しており、小学校児童全体の11.8%となって、少人数集団からの脱却に大きく貢献している。

☆同学年集団から異学年の交流へ

- 運動場で擦り傷をした小学校低学年の児童を、やさしく手当とする中学生の微笑ましい姿。
- 縦割り掃除、小学校1年生の児童が中学校の教室を中学生とともにする様子。
- 中学生による小学生への読み聞かせ
- 中学生の合唱に目を点にしてみる児童と、思わず指揮者のまねをする低学年。

☆学級担任から教科担任・チーム担任へ

- 小学校低学年でも、空き時間をつくることができ、教材研究やその他事務処理の時間が確実に確保できる。
- 学級の問題を一人で抱えることなく、職員同士解決の方策を求めて、対応できる。
- 児童生徒にとって多様な見方、考え方、多様な価値観を構築するチーム道徳が運営できる。
- 中学校のホームページでの朝の会、帰りの会の運営は、毎日のかかわる教師をローテーションでその日の担当をきめ、ゆとりある勤務ができる。

☆二つの職員室(小・中)別から一つの職員室へ

- 顔がわかる、人を知る、連絡ができる等、一貫教育を進める必須条件。これによって一気に一貫教育が進んだ。

☆一人で負う業務から分担してする業務方法へ

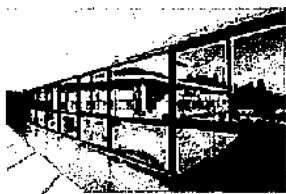
- 事務職員の縦割り業務分担。前期、後期での役割の分担を交代しながら、効率よく、ミスなく遂行できている。
- 分掌によっては出張を、小・中一人として、業務負担軽減を進めることができている。

最大の課題は！

長年培われた、小学校文化 VS 中学校文化 の系統化をどう図るのか

- ・「具体指導」と「概念形成」
- ・「可能性」と「現状認識」
- ・「みんな一緒」と「個々の夢や希望」等

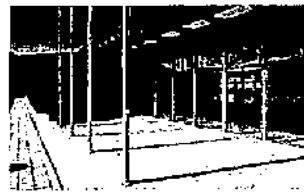
- 「これまでは〇〇だった」を捨て、新しい学校の仕組みや、児童生徒の育ちの見方を変える意識がより一層大切となってくる。



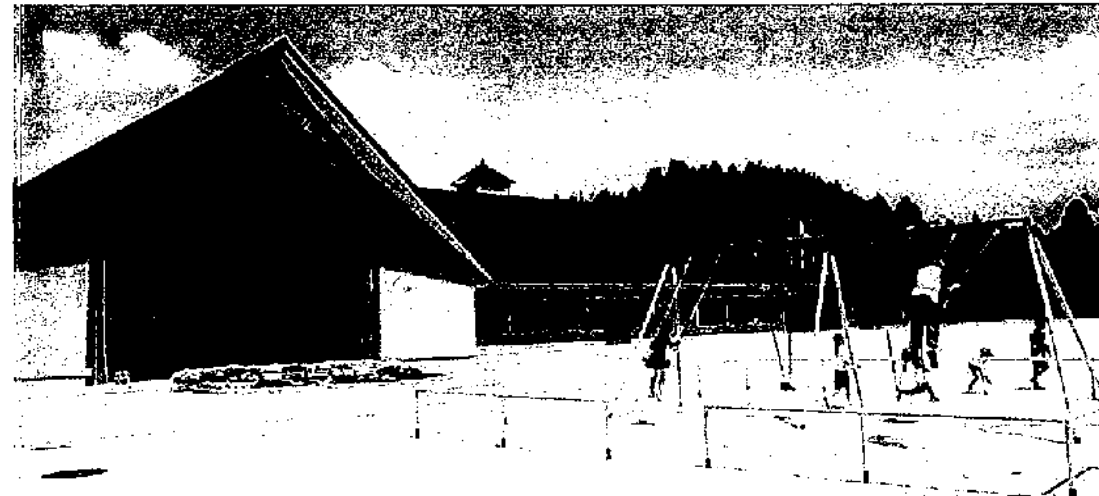
渡り廊下：校舎の2階から体育館へ。体育館やグラウンド、プールは中学校と共用します。



トイレ：清潔感が溢れるトイレと手洗い。風通しがよく、明るく目新しいデザインです。



テラス：低学年と高学年の教室の間に位置するテラス。植物の観察や仲間との交流の場になります。



濃南小学校 開校

今年3月、百四十二年という長い歴史に幕を閉じた鶴里小学校と曾木小学校。濃南小学校は、両校の統合により中馬街道が通る濃南の地に完成しました。市内での小学校の開校は、昭和56年の泉西小学校以来、34年ぶりとなります。

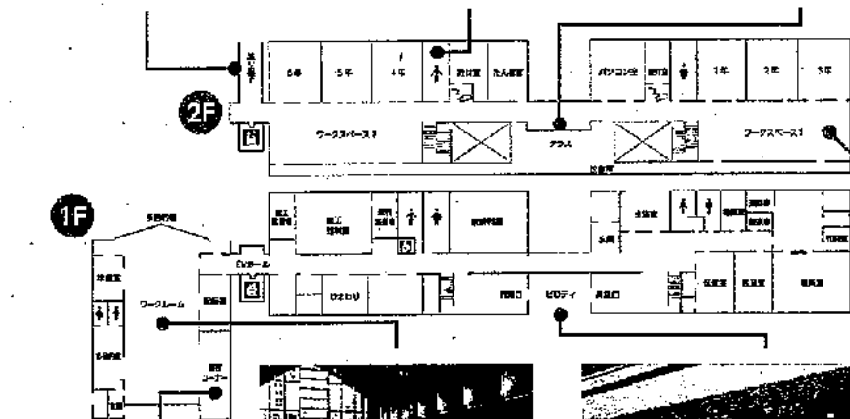
ぬくもりある木造校舎

自然豊かな地域の風景に調和したぬくもりのある木造校舎は、肥田川が流れる中庭をはさみ、濃南中学校と向かい合っています。子どもたちが一つの敷地の中で勉学に励み、グラウンドや体育館などを共に使い、小・中学校が手を携えて9年間を見通した教育を進める環境が整いました。

また、太陽の光が差し込む大きな窓や、とん



ワークスペース：各学年の教室の前にある、大きな窓から光が差し込む明るい空間です。窓は二面断熱構造で冬の寒さをしのぎます。



多目的棟：全校一斉のランチルームになるワークルームや配膳室、図鑑コーナーを備える。棟内の26本の丸柱は、鶴里小学校の学校林として地域の方々の手によって大切に育てられたひのきの大木を使用しています。また、土壌蓄熱式の床暖房により冬でも暖かく活動することができます。



昇降口・ピロティ：木製の靴箱が並び昇降口。ピロティになっており橋を渡って中学校へ行くことができます。エコスクールの取り組みとして、校舎の下に雨水を貯めるタンクを設備。手押しポンプで水を汲み上げて花壇の水やりなどに利用します。



土岐市立濃南小学校
住所 土岐市龍野133番地
電話 52-1020
【アクセス】
バス乗場 2,345m
上 期 平成25年12月～平成27年2月
開校費 8億7,413万1千円



濃南小学校校長 石垣寿子さん

濃南小学校のノートは真っ白です。このノートの主役は子どもたち一人一人です。頑張ったことや、楽しい出来事などいっぱい、歴史を創っていききたいと思っています。同時に子どもたちの願いや夢をかなえてくれる濃南小学校でありたいと思います。

私も教職員一同、開校した濃南小学校で、児童とともに新たな校園と歴史を築いていくために全力を尽くす覚悟です。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



がリ屋根が印象的な多目的棟は、図鑑コーナーを備え、読書スペースや全校一斉のランチルームになるほか、全校集会や子どもたちの放課後活動など多様に利用できます。これまでにない新しい施設が、子どもたちの豊かな心を育む場所になります。

この学び舎で、未来を担う子どもたちがたくましく育っていきま。

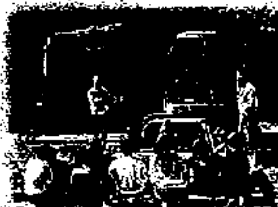
校舎には両町のシンボル
鶴里町のホタルと曾木町の紅葉がデザインされた校章。濃南小学校の校旗にも校章が刺しゅうされています(左写真)。

2年掛けて校章のデザインを担当した濃南小学校建設協力委員会の伊藤敏明さんは、「校章のデザインは子どもたちから募集しました。その中から子どもたち何人もアンケートを取り、最終的には「曾木町と鶴里町が一緒になるので2つの絵柄を組み合わせた」という子どもたちの思いを尊重してこのデザインに決定しました」と話してくれました。

「ふるさと」から学ぶ from



小3 中馬街道学習



小6 生き方教室

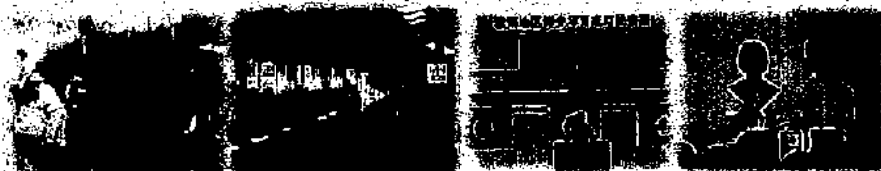


中3 中馬学習 (陶芸・窯焼)

「ふるさと」で学ぶ with

★児童生徒、保護者、地域が
一緒に環境整備をする『愛校作業』

★鶴里町・曾木町が合同で行う
『青少年の主張大会・青少年育成町民会議』



★園児、児童生徒、保護者、地域が
力を合わせて行う『のうなん ふれあい運動会』

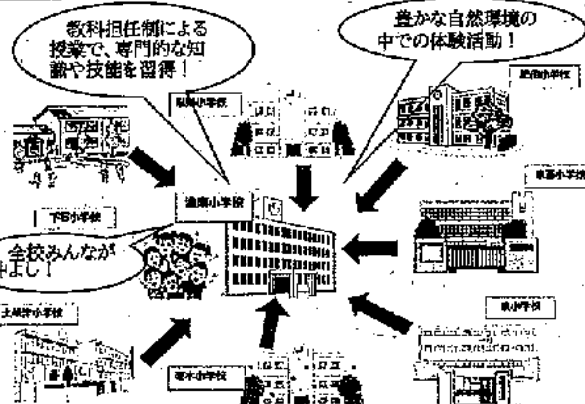
★共に地域の文化を守る
『土岐市伝統文化公演会』



◇小規模・少人数と一貫教育だからこそできる教育活動です。

《小規模特選校制度》

少人数の学校で、きめ細かな指導を受け、豊かな自然環境の中で学校生活を送りたいという保護者の願いを大切に、一定の条件のもとで、他の通学区域からの通学を許可する制度です。



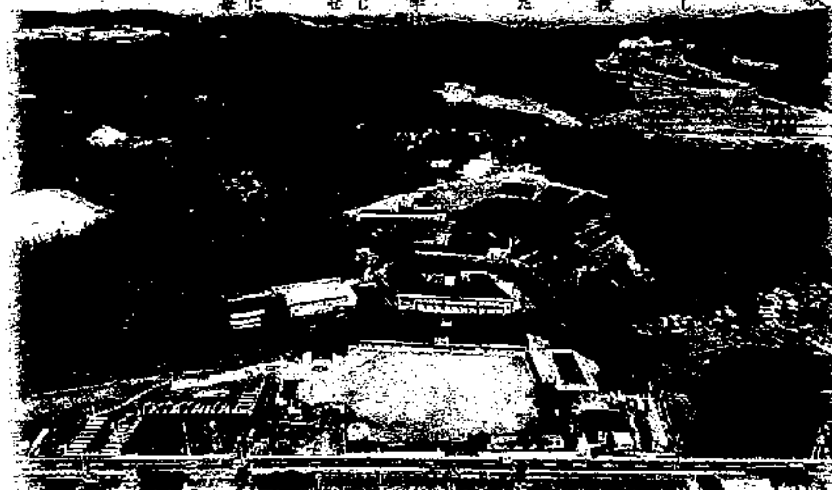
濃南小・中学校 小中一貫教育(併設型)



一 朝日に輝く 時計台
花咲く庭で 希望を語る
自分を見つめて 仲間を思い
肩を組んで 歌おうよ
めざす未来に 夢をもつ
笑顔がうれしい 濃南小学校

二 いで湯の里と 中馬の街道
いくつも季節を 越えてきた
古い時代の 歴史に学ぶ
人のふれあい 受け継ごう
あたたかな心 かあらない
やさしさうれしい 濃南中学校

三 夏にははたはる 秋にはもみじ
大人も子どもも 力を合わせ
支えあう人 絆も深く
助けあえば 強くなる
元氣な子どもは のびやかに
明るさうれしい 濃南中学校



南中学校 校歌
作詞 蒲野 新

南の三國の 山紫に
雲を巻く 流れは明ら
まきめめ そを眺めて
たゆむまなく ま魂磨かん

洋の東も 西をもどわで
文化は進み 日々新し
おくれじとこそ ありもな
いそし学びの 業を励まん

いで濃南の 郷の栄と
わが学び舎の 夢のために
身をこめも すべてをあげて
ただひとすじに 誠尽さん



【沿革】

平成27年4月
濃南小学校開校
令和2年4月
併設型小・中学校としてスタート
令和3年4月
全学年教科担任制本格運用
令和4年9月
土岐市教育委員会より指定普授与

〒509-5311

岐阜県土岐市鶴里町網野138

TEL 0572-52-1020 (小) 52-2160 (中)

FAX 0572-52-1021

e-mail acunansho@city.toki.jp

URL <https://www.city.toki.jp/050404/gakko/1004784/homepage/nouno.n/index.html>

【一貫教育推進基本コンセプト】

I 教育の質の向上

義務教育9年間の学習内容のつながりや定着を大切に、児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。

II 人とかかわりを大切に活動

児童生徒間、教職員や地域の方と児童生徒のかかわりを積極的にを行い、豊かな人間性や社会性を育てます。

III 地域とともにある学校づくり

保護者、地域の方と目指す子ども像を共有し、地域の学校としてともに歩む教育活動を展開します。

小中一貫教育活動推進の3本柱

1 「なかま」とつながる

- ① のうなん★なかよしウィーク
- ② 小・中合同児童・生徒会活動
- ③ 小・中合同行事（芸術祭など）
- ④ 全校（チーム）ステージ集会
- ⑤ たてわり読書・掃除・あそび



2 「学び」をつなげる

- ① 9年間を見通した授業研究
- ② 全学年教科担任制
- ③ 小・中乗り入れ授業
- ④ チーム担任制



3 「ふるさと」とつながる

- ① PTA組織・学校運営協議会の小・中一本化
- ② ふるさとで学ぶ活動（in）
ふるさとから学ぶ活動（from）
ふるさとと学ぶ活動（with）
- ③ 「青少年育成町民会議」「ふれあい運動会」の実施



～小規模・少人数と一貫教育の強みを生かす教育の推進～

◆濃南オリジナル◆

- ◎小規模特設校制度 ◎ALTの全学年配置
- ◆重点とする活動◆
- ◎安心・安全な学校 ◎ICT教育 ◎働き方改革

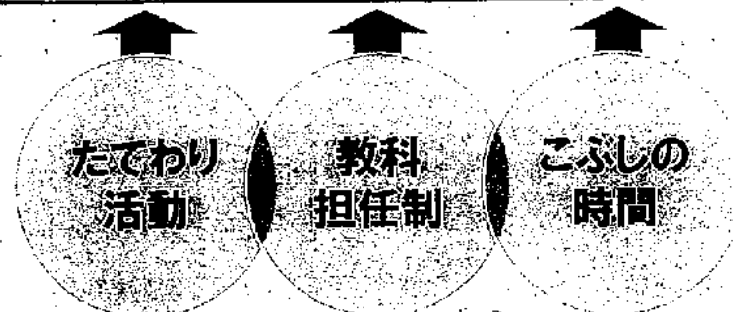
◆濃南の職員として

- ◎新しいスタイルの学校を創造する意識
- ◎小・中違いのある文化を融和する取組
- ◎一つの仲間である高き誇り

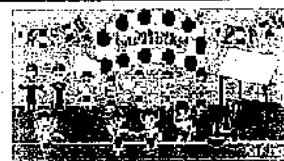
学校の教育目標とめざす児童生徒の姿・その中心となる三つの活動

学校の教育目標

仁（やさしく） 智（かしこく） 勇（たくましく）



- ◎情緒の開放
- ◎相互援助
- ◎コミュニケーション力の育成

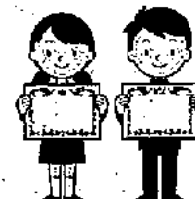


めざす児童生徒

- ◎一人一人の学ぶ楽しさ
- ◎教科教室制による主体的な学び（中）
- ◎9年間を見通した学び



- ◎個性伸長
- ◎チャレンジ精神
- ◎自己の得意をつくる、伸ばす



■ふるさとを愛し、ふるさとを大切にする心豊かな子

■確かな学力を身につけようと、学び続ける子

■自分の夢や希望を大切にできる子

【基盤として】

9年間の発達を全職員が理解し、みんなで育てる チーム担任制

- ・学校文化を創造するチーム朝の会・帰りの会
- ・集団活動のキーステーションとなるランチタイム（小4～6、中）
- ・自己の見方、考え方を広めるチーム道徳
- ・多様な価値観を認め合い、自己の確立を目指す集団規模の確保
- ・ゆとりある勤務と心身の健康維持（教職員）

指導体制

◆フレキシブルな学年区切りの運用により意味ある活動の展開

【日常生活の基盤となる集団（学年まとまりをベースとして活動）】

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
【発達段階に応じ学習や生活の定着を目的とする活動】（○教科授業 ○修学旅行 ○社会見学）								

☆活動の目的、内容に応じて集団を弾力的に工夫します。



小1～小6たてわり遊び

中1～中3帰りの会

小1～中3たてわり読書

【節目や発達段階を考慮した集団】・・・小学校・中学校別々に活動

○卒業式 ○朝運動 ○小学生たてわり活動

○部活動 ○伝統引継式

【異学年の児童生徒をつなげる集団】・・・小学校・中学校一緒になって活動

○入学式 ○小・中たてわり活動 ○ふれあい運動会 ○渡南芸術祭

【共に夢や希望を創造する集団】・・・小1～小4、小5～中3が集団として活動

○チーム朝の会 ○ひびきあい集会

○児童生徒会立ち合い演説会

【集団の質の向上・量の確保を図る集団】・・・活動の内容によって2～3学年の集団で活動

○ふるさと体験 ○校外学習 ○中層学習等



小1～中3たてわり掃除

児童生徒が、多くの先生とかわったり、異学年の仲間のよさを知ったりすることが出来ます。



中1～中3中層学習

組織運営

◆ジョブ型組織による、情報共有と指導の効率化

- 教職員で議論し、方向を見出す重点的かつ日常的な活動について、担当部署を明確にして会議、提案を行う運営方法。
- これまでの蓄積から微調整で進められるものは、担当、係で推進する。



委員会で推進

- 一貫教育推進委員会
- 教育支援委員会
- いじめ問題対策委員会
- ICT教育推進委員会
- 行事実行委員会
- 学力向上推進委員会
- 人権推進委員会
- 式典実行委員会 など

日常的な活動の推進

STEP1※STEP1～4は会議の流れ、ステージごとに実施

指導部長会（教務、指導部長）
・ステージの振返 ステージの重点
・ステージの活動、指導の提示

STEP2

三指導部会（全職員3指導部に振分）
・担当より取組の具体を提案、調整

担当・係で推進

- 教科主任
- クラブ ●朝劇
- 通学班 ●登山
- 書初め
- 心のとも運動
- ブックトーク
- 作品募集 など

学習部

- 図書館教育（図書館の経営管理、読書指導）
- ICT教育（タブレットの活用）
- 学習指導（学習規律、ノート指導、漢小検定）
- 《委員会》
- ・学習委員会
- ・図書委員会

生活部・特活部

- 生活指導（校内外の生活の約束、服装等）
- 児童・生徒会（児童生徒の日常生活）
- 清掃指導・分団活動
- 《委員会》
- ・児童・生徒会
- ・生活委員会

健康部

- 保健指導（児童生徒の健康管理、歯磨き指導）
- 体育的行事（運動会、朝運動、ブル指導）
- 部活動
- 《委員会》
- ・健康委員会

STEP3

チームリーダー会

（副・3リーダー）
・必要に応じて開催
・調整事項・確認事項

企画会

（長・副・課2・部2・3部長・チームL）
・全体の活動について調整

STEP4

全体打合せ
（通常・ロング）で共有

チーム打合せ（小低・小高・中学）
（必要に応じ小・中別部会）

児童・生徒会組織

◆小学生と中学生をつなぎ、一体となった活動



全校執行部

◎全校執行部が委員会・たてわりの活動を総括し、重点期間等について調整する。

小学校代表

4・5・6年生代表委員

中学校生徒会執行部

会長 副会長 代表委員

(専門委員長)

小中合同委員会

系統性を意識した取組の提案

学習

○授業づくり、学習習慣づくり(話し方、聞き方・家庭学習)など

生活

○清掃活動、整理整頓、生活・服装の決まりなど

図書

○図書館運営、図書館の整備、読み聞かせ、図書館祭りなど

健康

○歯磨き活動、食育、朝運動、健康増進、環境衛生活動など

※必要に応じて小中別委員会を開催

◎合唱は、全校執行部が担当

◎放送(小学校)は、6年生を中心にたてわり班で実施



小中合同委員会



児童生徒会行事

1 「なかま」をつなぐ

◇小1～中3まで、学年の枠を超えて一緒に活動する時間です。

一貫教育だからできる活動だよ!



<中心となる活動>

★たてわり掃除(毎週火・金曜日)

全員で全校をきれいにします。道具の使い方や掃除の手順などを、上級生が手本を示しながら、優しく教えます。



★たてわり読書(月一回)

小学1年から中学3年まで、9学年の児童生徒が同じ空間で本を読みます。時には、上級生による読み聞かせも行います。



掃除

遊び

★たてわりあそび(毎週木曜日)

小学5年生の運営により、全員でなかよく遊びます。上級生は下級生に対する優しい心を育み、下級生は上級生へのあこがれをもちます。



小学生だけ中学生だけのたてわりもあります

※鶴岡山登山では、たてわりグループの仲間と励まし合いながら登ります。(小)

※のうなん★なかよしウィークでは、遊びや工作、給食など、たてわりグループで楽しみます。(小)

※中学生はホームベース教室で朝の会・帰りの会の実施、ランチルーム給食をします。

※中馬街道の整備活動を行います。(中)



児童生徒の保護

・中学生のお姉さんが読み聞かせてくれるので、とても楽しみです。
・小学生に合わせて遊ぶのは大変なこともあるけど、気持ちがいっぱいリフレッシュできていいと思います。



① のうなん★なかよしウィーク

○1週間を通して異学年の幅広い人間関係の中で生活することで、主体性や社会性を高めます。

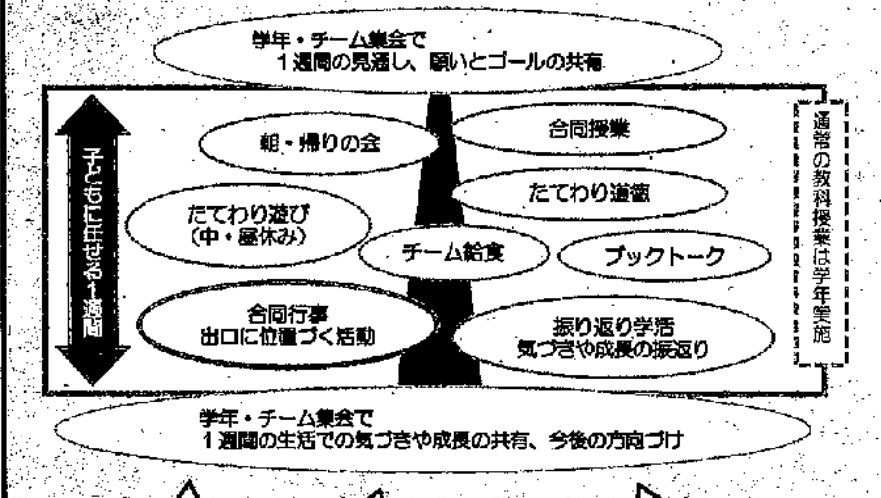
特に、年長学年は、上級生としての自覚と責任をもって生活し、自己肯定感を高めます。

期 間

年3回(7、12、3月) 各1週間

方 法

- ・チーム内のたてわりグループをもとに3つの教室に分かれ、年少、年中、年長の異学年集団で児童主体の生活や活動を行う。
- ・それぞれの回にメイン活動を位置づけ、それに向けての活動を計画的に仕組む。



★7月(七夕会)

班のメンバーを詳しく知るとともに、活動の進め方を学ぶ。

★12月(クリスマス会)

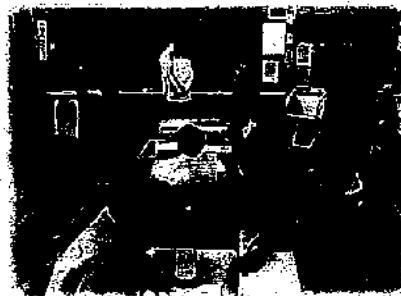
リーダーを中心に自分たちで相談、計画、実施し、メンバーとの仲を深める。

★3月(1年のまとめの会)

自分や仲間成長を振り返り認め合う。年中学年は、リーダーとなる意欲を持つ。



クリスマス飾りづくり(合同図工)



振り返り学活

② 小・中合同集会



ステージ集会



生徒会長の話

1年を6つのステージに分け、ステージごとに集会を行います。合同で実施することで、小中学生が同じ夢で活動に取り組むことができます。



③ 児童・生徒会協力活動

小学生と中学生がタッグを組み、学校をよりよくするための活動を行います。



児童生徒が心を通わせる「あいさつ運動」



思いやりの心を育てる「募金活動」

④ 小・中合同行事

○小中合同入学式



中学生が新1年生の案内役

○ふれあい運動会



中学生の全力演技に魅了

○命を守る訓練



一緒に命の大切さを考える

小中一緒に行う行事は豊富です。中学生は堂々と自分を表現し、小学生にとって中学生はあこがれの存在です。中学生は、上級生としての自覚と誇りをもちます。

○瀬南芸術祭



小学生を前に迫力合唱



「看板アート(小学生)・黒板アート(中学生)」



2 「学び」をつなげる



◇全ての児童生徒にかかわり遠南の子一人一人を大切にする職員です。

①全学年教科担任制の実施

教科ごとに専門の教員が受け持つ「教科担任制」を取り入れてい
ます。より専門的な教科指導により確かな学力の定着を目指します。
また、教科担任制により、複数の教員がかかわり、より多くの自
らもたちを多面的に育てていきます。



小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 美術 体育	音楽 美術 体育	音楽 美術 体育
「 図画工作 」は、 「 図画工作 」と 「 図画工作 」が 「 図画工作 」に なっています。	図画工作 社会 理科 外国語活動	図画工作 社会 理科 外国語活動	図画工作 社会 理科 外国語活動	図画工作 社会 理科 外国語活動	図画工作 社会 理科 外国語活動	図画工作 社会 理科 外国語活動	図画工作 社会 理科 外国語活動	図画工作 社会 理科 外国語活動
						技術・家庭科	技術・家庭科	技術・家庭科



<日課の工夫>

目 録 表		月・水・木
中学校		小学校
8:00~8:10	朝の会	
8:15~8:25	朝活動	8:15~8:25
	朝の会	8:30~8:40
8:40~9:30	1	8:45~9:30
9:40~10:30	2	9:40~10:25
	中休み	10:25~10:45
10:40~11:30	3	10:45~11:30
11:40~12:30	4	11:40~12:25
12:30~13:05	給食	12:25~13:05
13:05~13:25	昼休み	13:05~13:30
13:30~14:20	5	13:30~14:15
14:20~14:40	帰りの会	14:20~14:30
14:30~15:20	6	14:35~15:20
15:20~15:45	帰りの会	
月曜 15:00	下校	14:40 月曜20
水・木曜 15:00		14:40 21・15
金曜 15:00		

④9カ年を見通した指導

〇つながりがわかる各教科の指導計画の作成を行います。

※1 理科「エネルギー」における思考力、判断力、表現力等に関する学習指導要領の主な記載の比較

学年	目標	内容	評価
小学校			
第3学年	【比較しながら調べた結果を述べて】	自然の事象・現象について述べる中で	差異点や共通点を基に
第4学年	【問題付けて調べる活動を通して】	自然の事象・現象について述べる中で	既習の内容や生活経験を基に
第5学年	【条件を整理しながら調べた結果を述べて】	自然の事象・現象について述べる中で	予想や仮説を基に
第6学年	【多面的に調べる活動を通して】	自然の事象・現象について述べる中で	解決の方法を整理し、表現すること。
中学校			
第1学年		問題を見いだす意識をもつて観察、実験などを行い	観察性、関係性、共通点や相違点、分類するための視点や基準を見いだして
第2学年		見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い	その結果を分析して解釈し、既習概念・関係性を見いだして
第3学年		見通しをもって観察、実験などを行い	その結果を分析して解釈すること

教科別で、小中一貫したカリキュラムを作成することにより、9年間の学習内容の系統性・体系的なとらええ方・考え方ができます。

〇一人1台のタブレット端末を活用し、個々の学びを充実させます。



6年生「調理実習」



総合「まとめ学習」

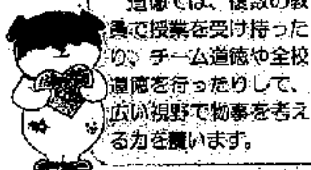
インターネットで調べたり、自分の考えをまとめたり、さらには、仲間の意見と交流したりと、学習道具の一つとしてタブレット端末を活用しています。

⑤豊かな心を育むための継続的な指導

〇チーム道徳やたてわり道徳を実施します。

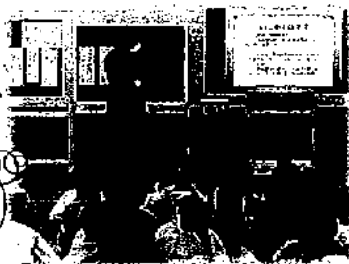
〇ステージごとに「人権の学び」を行います。

〇全校で「あったかい言葉かけ運動」に取り組めます。



道徳では、複数の教員で授業を受け持ったり、チーム道徳や全校道徳を行ったりして、広い視野で物事を考える力を養います。

他学年の意見を聞くことができる。いろいろな考えがあって見方が広がるなあ。

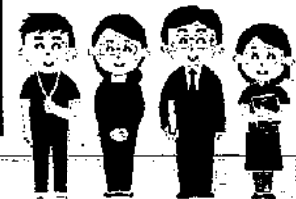


人権教育「ひびきあい集会」

⑥チーム担任制

〇複数教員で児童生徒にかかわる、チーム担任制およびチームリーダー制を進めます。

低学年チーム	高学年チーム	中学校チーム
小1～3・特	小4～6	中1～3
担任4名（小教）	担任4名	担当6名（中教）
チームリーダー 各1人		

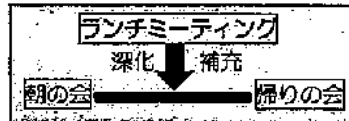


【チーム担任制の役割】

- ・朝の会等、児童生徒のチームでの活動の計画実施
- ・各学級の運営状況の交流、方向づけ、行事の学年間の調整
- ・緊急事態の連絡、対応（複数で対応）
- ・生徒指導上案件の集約→チームリーダー会で情報共有
- ・チームリーダーは必要に応じて企画会に参加

◎チーム活動パッケージ

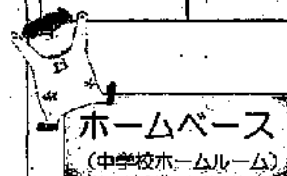
- ・中学校は職員全員で対応します。
- ・短学活は毎日チーム全体で行います。
- ・その日の主担当先生を指定します。
- ・必要に応じて、学年での実施もあります。
- ・朝の会～ランチミーティング～帰りの会をひとくくりとします。



⑦中学校教科教室方式

〇毎時間の教科の学習に対する心構えをもたせ、自主的、主体的な学びに向かいます。

国語教室	社会科教室	数学教室	外国語教室	理科/音楽/美術/技術/家庭/体育館【従来の特別教室】
------	-------	------	-------	-----------------------------



ホームベース

- ・ホームベースを拠点に教科教室に移動する。
- ・朝、帰りの会はチーム担任で全校一緒に行う。
- ・教科の特色を生かした学習環境で学ぶ。
- ・ランチルームは別に設置。



社会科教室

得意分野をつくる、伸ばす こぶしの時間

【目的】

「得意をつくろう、得意を伸ばそう」

自分がチャレンジする教科、内容を自らの意思で決め、学年の枠を超えて、切磋琢磨する環境を創り出し、個性の伸長をめざす。



【概要】

- ・第1希望の全8教科で実施
- ・全職員が専門教科をサポート
- ・小学4年以上の異年齢クラス編成
- ※異年齢集団で切磋琢磨する環境で、充実感や達成感、自己肯定感を味わわせる。

【具体的な内容】

◎水曜日の6時間目に隔週で実施（毎月おおよそ2回）

◎小学校4年生から中学校3年生までが全員参加

◎子ども自身の教科を選択し、学習内容も子ども自身で設定

（例：世界遺産検定2級合格、作品コンクール応募など）

◎検定を受けたのコンクールに出展したり、他校に参観したり

（合格や入賞の結果は問わない）進級時に取り組みの教科を変更できる。

◎自分で決めたことをファイナリにまでやり遂げることもできる。



国語	◎国語検定 ◎日本書検定 ◎各種作文コンクール
社会	◎世界遺産検定 ◎歴史能力検定 ◎地区作品コンクール
算数	◎算数検定 ◎数学コンクール ◎数学オリンピック
理科	◎理科検定 ◎科学作品展
音楽	◎音楽コンクール ◎知育検定
英語	◎英検 ◎英検準2級 ◎英検3級 ◎英検4級
美術	◎美術コンクール ◎水彩画コンクール ◎絵画コンクール
体育	◎体育コンクール ◎バレーボール ◎サッカー ◎バスケットボール
家庭	◎家庭科検定 ◎生活科コンクール

3 「ふるさと」とつながる

◇瀬南の将来を担う大切な一人として、「ふるさと」とつながる

笑顔あふれる活動です。

①地域とともに育つ学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進



春の愛校作業



ふるさとを愛し
ふるさとを大切に育てる瀬南の子

～地域が一つになって瀬南の子を育てる～



朝の交通安全指導

②地域の方の協力のもとで、農作物の世話や収穫体験等の実施

	1年生		いちご栽培
小学校	2年生	町探検	
	3年生	中馬学習	
	4年生	ホテルの飼育	
	5年生	防災学習	
	6年生	手話講座、進路講話（生き方教室）	椎茸の菌打ち
中学校	1年生	中馬学習（中馬馬子唄踊り体験）	自然薯栽培・収穫
	2年生	中馬学習（打囃子体験）	ブルーベリー栽培・収穫
	3年生	中馬学習（陶芸・窯焼体験）	



人と自然とのつながりや、人と人とのつながりを実感しつつ、瀬南のふるさとの魅力や課題を見つけ、学び合い、行動し、持続可能なふるさとの発展に貢献できる人づくりを目指します。

「ふるさと」で学ぶ in



小6 椎茸の菌打ち体験



小・中 ブルーベリー収穫体験



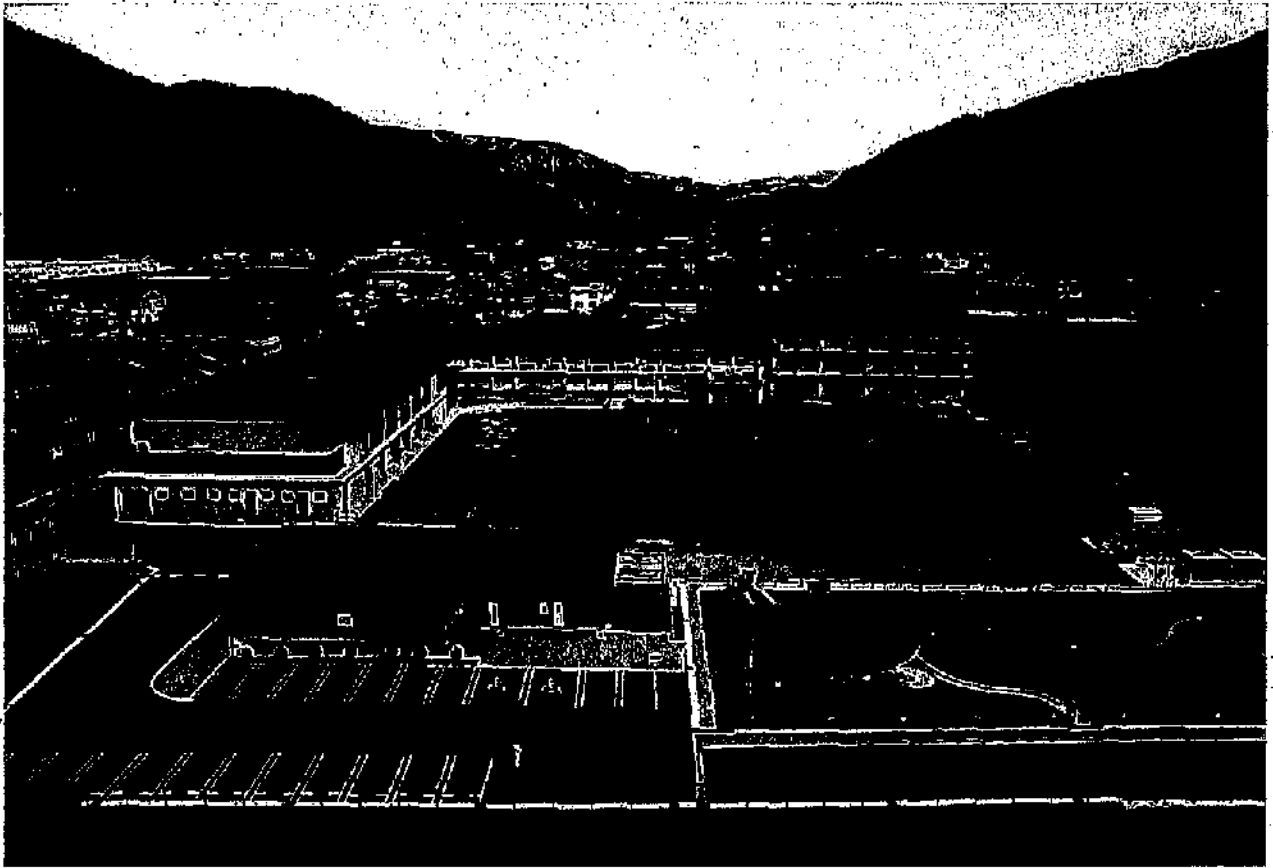
中学校 中馬登壇

・A1トリル
・10T26田舎
・タブレットの有効利用

令和6年4月

木のぬくもり感じる新校舎が完成!

～郡上市立大和小学校開校～



▲令和6年5月9日現在 ドローンにて撮影

写真提供：株式会社ヤマシタ工務店

4月6日(土)に「郡上市立大和小学校(以下、「大和小学校」)開校式、4月9日(火)入学式が挙行され、大和小学校が始まりました。

新たに誕生した大和小学校ができるまでの経緯や整備内容、校舎内についてお伝えします。

「大和町4校を統合」

大和小学校は、明治6年以降150年続いた、大和町にある大和西小学校、大和南小学校、大和北小学校、大和第一北小学校の4校統合により開校した新しい小学校です。

少子化時代を迎え児童数の減少が進む中、統合再編による学校規模適正化の第一歩として、複式学級を解消しクラス替えができる学級編制など、教育環境の充実を図ることが見込まれます。

「統合までの動き」

統合にあたっては、令和2年度から統合準備委員会を設置し、令和3年度に統合後の学校名を「郡上市立大和小学校」に決定。校章の選定や校歌の作成を行いました。そして、令和4年度から本格的な建設工事に着手しました。その間、大和北小学校の児童は約1年2カ月に渡り、仮設校舎で授業を行いました。

「整備の内容について」

主な建設工事として、屋内運動場は災害時の避難所としても利用できるよう、防災備蓄倉庫、

マンホールトイレなどを配置

し、太陽光パネルと蓄電池を整備することで、発電した電気を平常時に学校で活用しつつ災害時は避難所で活用できるよう、防災機能の強化を図っています。各クラスの教室が入る普通教室棟は、各階に多目的室、多機能トイレ、児童用トイレを備え、エレベータを設置しています。普通教室棟と並ぶ管理・特別教室棟は、学校規模に合わせた間取りの改修を施し、2つの建物は広くて長い廊下で繋がっています。さらに敷地内には、郡上市における放課後児童クラブ活動の拠点となる「郡上市子育て活動拠点施設」と、地域の未就学児からお年寄りまで集うことができる「みんなの広場」を整備しました。建物の内装は、岐阜県産材・郡上市産材による内装木質化を図り、木の香のあふれるぬくもりのある学校施設となりました。

図 教育委員会教育総務課

67・1123

これまでの経緯

	ソフト事業	整備事業
令和2年度	7月 大和地域小学校統合準備委員会(以下、委員会)設立	基本設計業務(～3月)
	10月 第2回委員会開催(整備計画検討)	
	11月 第3回委員会開催(同上)	
	2月 第4回委員会開催(同上)	
令和3年度	5月 第5回委員会開催(部会の設置)	実施設計業務(～3月)
	6月 第6回委員会開催(校名募集)	
	10月 第7回委員会開催(校名決定)	
	3月 委員会開催(書面)	12月 プール解体開始 3月 プール解体完了
令和4年度	5月 第8回委員会開催(部会編成)	
		6月 屋内運動場建設開始
	7月 第9回委員会開催(校章デザイン募集)	
	11月 大和小学校校歌作成委員会を編成	8月 大和北小学校仮設校舎建設開始
	12月 第10回委員会開催(校章デザイン決定)	12月 大和北小学校仮設校舎完成
	仮設校舎へ引越	
	仮設校舎での生活開始	
		1月 既設普通教室棟解体開始
		3月 屋内運動場完成
		既設普通教室棟解体完了 普通教室棟建設開始
令和5年度	5月 第11回委員会開催(部会編成)	5月 管理・特別教室棟改修開始
		6月 外構工事開始
		大和北小学校屋内運動場解体開始
	8月 第12回委員会開催(バスルート確認)	8月 大和北小学校屋内運動場解体完了
	10月 第13回委員会開催(各部会報告、開校記念イベントについて)	
	11月 創作オペレッタ「東氏ものがたり」上演	2月 校舎完成
	3月 第14回委員会開催(最終報告)	3月 仮設校舎解体開始
	3/2 仮設校舎から引越(大和北小学校)	
	3/23・24 4校閉校式	
	3/26・27 3校からの引越	
令和6年度	4/1 大和小学校開校	(4月 仮設校舎解体完了)
	4/6 大和小学校開校式	(8月 外構工事完成予定)
	4/9 大和小学校入学式	

◆事業概要

○構造・規模

普通教室棟(鉄筋コンクリート造3階建て)	延床面積	2,284.52㎡(新築)
管理・特別教室棟(鉄筋コンクリート造2階建て)	延床面積	2,133.80㎡(大規模改修)
屋内運動場(鉄筋コンクリート造平屋建て)	延床面積	1,215.52㎡(新築)
仮設校舎棟(プレハブ2階建て)		

○総事業費：約24億円(外構工事の一部に繰越工事あり)

○補助金額内訳	公立学校施設整備費負担金(文部科学省)	201,106千円
	学校施設環境改善交付金(文部科学省)	111,100千円
	清流の国ぎふ森林・環境基金事業(岐阜県)	22,560千円
	森づくり振興基金繰入金(森林環境税と税を活用)	29,973千円
	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(環境省)	15,682千円



校歌について
(令和5年広報郡上12月号)

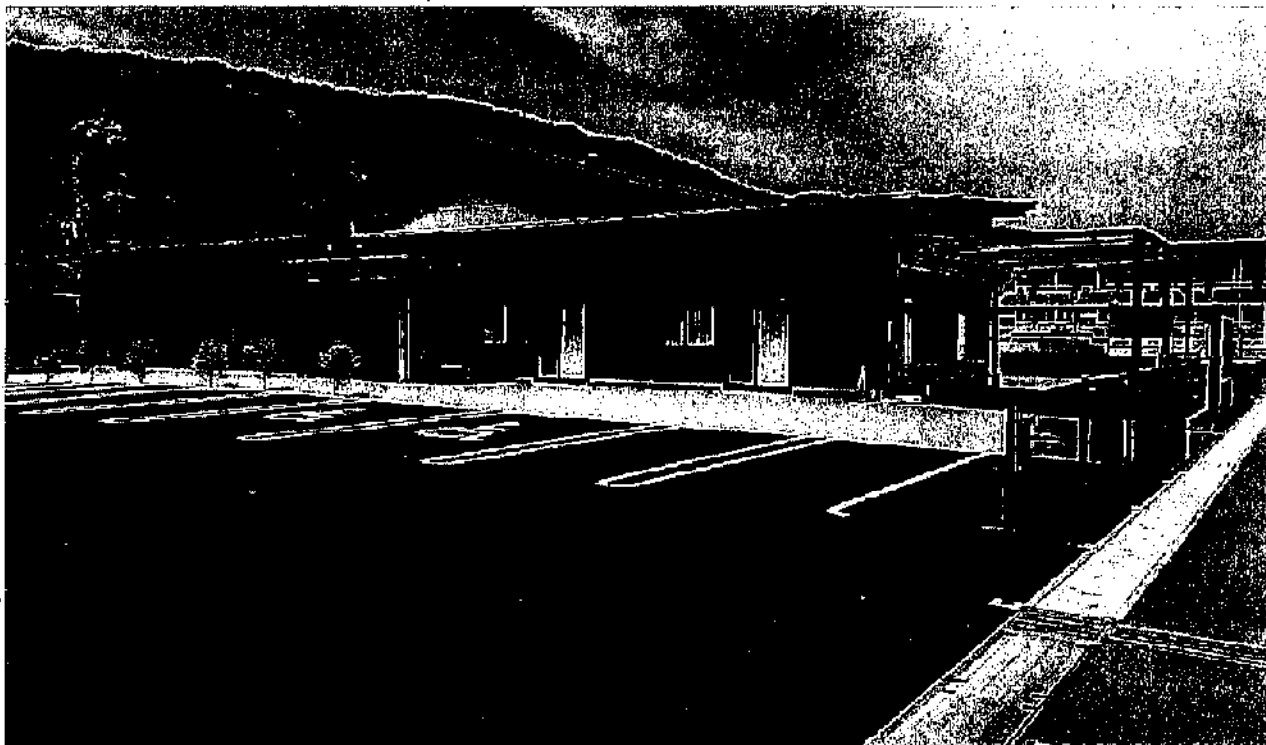


校章について
(令和5年広報郡上5月号)

郡上市子育て活動拠点施設

郡上市子育て活動拠点施設が、大和小学校の開校に合わせ利用開始となりました。

主に市全体の放課後児童クラブの運営拠点、大和放課後児童クラブの活動場所となるほか、土曜日、放課後児童クラブの活動がない時間帯は、子育て親子の活動に利用いただけます。



▲用途に応じて2つに分割できる多目的室



▲広い廊下（幅約2.5m）

◇開館時間

平 日：午前10時～午後6時
土曜日：午前9時～午後5時
春・夏・冬休み：午前8時～午後6時

◇休館日

日曜日・祝日
年末年始（12/29～1/3）
お盆（8/13～8/16）

◇事業概要

- 構造・規模 木造平屋建て 延床面積：215.31㎡（新築）
- 総事業費 約7,700万円
- 補助金額内訳

子ども・子育て支援施設整備交付金（子ども家庭庁）	11,476千円
子ども・子育て支援施設整備交付金（岐阜県）	11,476千円
森林・林業対策事業費補助金（岐阜県）	3,000千円

◇利用に関する予約等連絡先 TEL：0575-88-2310 FAX：0575-88-2311
（NPO法人郡上市放課後児童クラブが、施設の管理を行います）

大和地域小学校統合準備委員会活動報告

総務部会 活動内容報告（6回）

【協議内容】

■大和小学校校章選定

- ・募集期間：令和4年8月1日から9月30日
- ・周知方法：自治会配布（大和地域：全世帯 その他地域：回覧）、郡上市HP、新聞
- ・応募総数：179案
- ・選考方法：書類審査2回、協議審査1回（第4回総務部会：12月8日）
- ・郡上市教育委員会12月定例会、郡上市議会3月議会、市長報告
- ・安全帽子の校章シール作成

小中が、い、い、い
スクールバスを、い、い、い

（閉校の全学校を、い、い、い）
校章を、い、い、い
（地元の、い、い、い）

■大和小学校校歌作成（会議5回）

- ・校歌作成委員会の編成：統合準備委員会
(敬称略) 大和文化協会
短歌関係者
教職員
保護者(オペレッタ)
- ・校歌録音： 校歌揮毫： 校歌練習

■閉校記念事業打合せ（会議3回）

- ・大和地域内の小学校4校の学校運営協議会正副会長が主体となり、閉校事業実行委員会を編成し、記念誌作成や記念事業を企画
- ・4校の実行委員会による情報共有の場を設定し、記念誌の内容や変更記念事業等について情報共有
- ・大和西小学校は閉校式で記念誌を配布
- ・大和南小学校、大和北小学校、大和第一北小学校は閉校式の様子も収録して配布

通学安全部会 活動内容報告（5回）

【協議内容】

- ・現状の大和地域小中学校のスクールバス運行状況の把握
- ・新規運行ルート・運行時間の検討（公共交通の活用も検討）→小中学生同乗
- ・乗車数に合わせたスクールバスの検討 →大型5台、中型4台
- ・新規運行ルート実走調査（道路状況、全バス停位置等の目視確認）
- ・乗車児童・生徒の募集

P T A部会 活動内容報告（20回＋α）

【協議内容】

※当初の部会員に2校のP T A会長も加えて部会を開催

※大和小学校P T A役員も加えて協議

- ・現在の4校、大和中学校及び近隣小学校P T A規約の把握
- ・現在の4校P T A組織・活動内容の把握
- ・大和小学校P T A事業計画案の作成
- ・大和小学校P T A組織案の作成
- ・大和小学校P T A規約案の作成
- ・令和5年度P T A役員の選出確認と大和小学校P T A役員選出方法の検討
- ・現在の4校のP T A会計の把握と令和5年度の取り扱い検討
- ・大和小学校P T A会計の検討

今後のスケジュール：統合を視野に入れた令和5年度事業計画・会計案の検討

学校教育部会 活動内容報告

【協議内容】

- ・P T Aからの質問対応
- ・開校に向けた職員共通理解
- ・大和小学校学校 経営構想
- ・大和小学校学校 ビジョンシート
- ・学用品準備リスト
- ・生活の約束・マナー
- ・児童会 立上げ構想
- ・学級編成
- ・通学方法の決定
- ・入学説明会
- ・引越計画 他

令和6年 高島市議会 真志会 会派視察

磯部 亜希 澤本 長俊

10月3日(木) 岐阜県郡上市大和町 郡上市立大和小学校

10月4日(金) 岐阜県土岐市 土岐市立濃南小学校

視察の目的:先進事例の研究を行い、マキノ地域での3小学校の統合に生かすこと
(高島市では、人口の減少が進み、子どもの人口も減少傾向にあります。高島市の北部に位置するマキノ地域でも同様であり、3校ある学校での児童数の合計は令和6年度において160人という規模です。令和10年度ではそれが130人と予測されています。このままでは複式学級の増加は避けられません。そこで、現在あるマキノ中学校に隣接する形で、新設の校舎を建設し、3校を統合し令和10年度からの開校を検討されているところです。)

大和小学校

質問事項

・アンケートを保護者と
地域住民にした。
(役所ではなくPTAと(2))

1. 小学校を新設、開校されるまでの経過について教えていただきたいのですが、子どもたちや保護者、地域の方からはどのような意見がでましたか。またその意見集約はどのように行われましたか。

➡令和2年度から統合準備委員会を設置し、総務部会、通学・安全部会、学校教育部会、PTA 部会の4つの部会に分かれ統合に関する様々な項目を検討いただきました。令和4年度から本格的な建設工事に着手しました。その間、大和北小学校の児童は約1年2か月に渡り、仮設校舎で授業を行いました。建設した各クラスの教室が入る普通教室棟は、各階に多目的室、多機能トイレ、児童用トイレを備え、エレベータを設置しています。

(広報郡上6月号一部参照)

意見聴取や意見集約については、統合準備委員会にて行いました。(学校職員・PTA・自治会・関係団体・市議会等から組織)一番多い意見として、児童の安全・安心の確保は、もちろんのこと地域住民の安全にも配慮した、整備に努めてほしいという意見が多かったです。学校整備については、具体的には駐車場の確保について、要望が強く挙がりました。

② 開校記念史の執筆は、2年前から

2. 学校名、校章、校歌、体操服等はどのように決められましたか。移行にあたり、子どもたちや保護者に負担のかかる用品がありましたか。

➡令和2年度から統合準備委員会を設置し総務部会において、学校名、校章、校歌、校旗など検討いただき令和3年度に統合後の学校名を「郡上市立大和小学校」に決定した後、校章の選定や校歌の作成を行いました。用品については、帽子の校章マークは在校生には全員配布し、新1年生の児童から購入していただいた。

・校歌は1年前から在校生に募集した。

3. 通学に関して、通学路の選定、通学手段、見守り活動において、どのような議論が行われましたか。

➡令和2年度から統合準備委員会を設置し通学・安全部会において、通学方法及び通学路、スクールバス運行経路、バス乗降場所、交通指導など検討いただきました。

(スクールバスは通学路として確保)

4. 新設に向けて、どのような課題がありましたか。難しいと思われた点がありましたか。また、工夫された点がありましたか。

★ ➡①駐車場台数の確保 —— 児童数が増える分保護者同士の確保

②敷地内への乗り入れ箇所の決定

③家具の設置箇所、形状・色の決定。

①と②については、地域住民との協議・コミュニケーションが重要であること、③については、学校職員とのやり取りにより、業務について、効率化が大いに図れたものと考えています。

5. 建設に関わる費用において、財源、補助金等について伺います。

➡総事業費 約 2,480,000 千円(子育て支援活動拠点含む)

内訳	公立学校施設整備費負担金(文部科学省)	201,106 千円	増設教育・体育
	学校施設環境改善交付金(文部科学省)	111,100 千円	
	清流の国ぎふ森林・環境基金事業(岐阜県) (木沢利用)		
	(木の香る快適な公共施設等整備事業)	22,560 千円	
	森づくり振興基金繰入金(森林環境譲与税を充当)	29,973 千円	
	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(環境省)	15,682 千円	太陽光発電
	(地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業)		
	子ども・子育て支援施設整備交付金(こども家庭庁・岐阜県)	22,952 千円	
	森林・林業対策事業費補助金(岐阜県)	3,000 千円	

6. 高島市は約20年前に旧6町村が合併を行い誕生しました。旧6町村それぞれに必要な施設があるのですが、音楽活動を行える音楽ホールとしての施設がマキノ地域にはないことから、そういった施設の要望もあります。行政の財政計画や公共施設の再編計画(床面積において50%削減目標)から、今後、新設で公共施設の建設は難しい中での新設であり、他の公共施設の老朽化等も含めての検討が必要と考えています。小学校建設にあたり、周辺地域の文化施設等との集約の観点から工夫されたことがありましたら、教えてください。

➡学校の統廃合を進める関係で、文化施設等の集約や再編で考慮するような検討はしていない。

7. 昨今の異常気象への対応として、教室や体育館の冷暖房設備等、現段階で行われていることや今後検討されていることについて教えてください。

➡屋内運動場は災害時の避難所としても利用できるよう、防災備蓄倉庫、マンホールトイレなどを配置し、太陽光パネルと蓄電池を整備することで、発電した電気を平常時に学校で活用しつつ災害時は避難所で活用できるよう、防災機能の強化を図っています。屋内運動場への冷暖房設備等の設置はしていない。

8. 旧小学校の活用について、何か検討されていることや、決まっていることはありますか。

➡大和西小の活用方法については検討中だが、現地の出先機関となる振興事務所で公民館活動などで活用できないか検討している。大和南小では、学習支援センターやクラブ活動施設として利用している。大和第一北小は、活用方法は検討中である。

9. 統合される前の小学校において、特色のある活動もなされていたかと思いますが、統合された後も継続されている活動はありますか。

➡「短歌教育」、「創作オペレッタ郡上東氏ものがたり」

大和地域は和歌の街といわれ、統合前の小学校でも和歌に親しみ、和歌の歴史と文化を学んでいた。統合後も和歌の街の小学校として、短歌教育に力を入れている。また、統合時に4小学校で協力して作り上げた創作オペレッタ「東氏ものがたり」は、今後も歌い継ぐことで、大和小学校の新しい文化として位置付けていく。